

演保第一二四號

各 警 察 署 長

縣雇上自動車召集方ノ件

特別大演習並地方行幸ノ際縣ニ於テ雇上クヘキ自動車ニ關シテハ曩ニ車輛検査ノ上雇上證交付致置候處左記日時ニ各指定ノ場所ニ運送方示達セラレヘシ

追テ運送ニ當リテハ出發前嚴密車輛ノ點檢ヲ爲シ事故ノ爲ニ參運刻等無之樣嚴重注意スルト共ニ別記注意事項ノ周知徹底ヲ期セラレヘシ

昭和九年十一月五日

栃木縣警察部長

車輛主ニ對スル注意事項

- 一、出發前嚴密車輛ノ點檢ヲ爲シ事故ノ爲メ不參加又ハ指定ノ時刻ニ遅レルコトナキ樣嚴重注意スルコト
- 二、指定ノ場所ニ到着シタル時ハ曩ニ(車輛検査ノ際)交付シタル自動車雇上之證ヲ係員ニ提出シ認印ヲ受ケ保管スルコト
- 三、當日ノ使用ヲ終リタルトキハ各車輛毎ニ係員ヨリ使用済證ヲ交付スヘキニ付右使用済之證ヲ交付セラレタルトキハ車輛置場ニ到リ車輛係員ニ提出シ其ノ指揮ヲ受ケ自動車ニ貼付セル標識ノ抹消ヲ受ケ歸宅スルコト(車輛係員ヨリ指揮アルマテハ歸宅セサル樣注意ノコト)
- 四、運轉者ノ服裝ハ打合せノ際指示シタル處ヲ遵守スルコト
- 五、十一月十日使用ノモノニシテ同日午前六時迄ニ到着スヘキモノニ對シテハ朝食及晝食ヲ準備シ置クニ付食事ハ之ニ依ラシメ隨意ノ行動ヲ爲ササルコト
- 六、十一月十一日使用ノ自動車ハ十日午後十時迄ニ集合セシムルニ付其ノ運轉者ニ對シテハ宿舍(宿舍席料ハ當部員負擔トシ寢具ハ名札

ヲ附シ各自持參ノコト)朝食及晝食ヲ準備(實費ニ食付ニテ五拾錢程度各自自辨トシ當日持參ノコト)スヘキニ付食事ハ之ニ依ラシメ隨意ノ行動ヲ爲ササルコト

七、其ノ他ノ日ニ使用ノ自動車運轉者ハ各自食事ヲ携帯スルコト

更ニ注意事項印刷物ヲ各車輛主ニ發送セリ。

運轉者及車掌心得

- 一、常ニ係員ノ指揮ニ從ヒ職責ノ重大ナルヲ辯ヘ緊張ヲ失セスシテ誠實勤務ニ服スルコト
- 二、言語動作ヲ慎ミ互ニ和親共助ヲ念トシ不遜ニ亘ルカ如キ所爲ナキコト
- 三、係員ヨリ命セラレタル事項ハ速ニ遵守スルコト
- 四、自動車ニ關スル諸規則ヲ遵守スルノ他絕對ニ飲酒セサルコト
- 五、服裝ハ努メテ清潔ニシ帽子ヲ用ヒ見苦シカラサル樣常ニ注意ヲ怠ラサルコト
- 六、病氣其ノ他止ムヲ得サル事故ニ依リ勤務ニ支障ヲ生スル虞アルトキハ速ニ係員ニ届出ツヘシ
- 七、自動車ハ使用前必ス周密ナル検査ヲ爲シ些ノ故障ナキヲ期スルト共ニ常ニ給油ノ注意ヲ怠ラサルコト
- 八、車輛ヲ運轉シ所定ノ場所ヲ出發セムトスルトキハ係員ニ就キ克ク其ノ行先道筋等ヲ確ムルト共ニ乗用者ヲ記憶シ置クコト
- 九、自動車使用後ハ直ニ洗滌ヲ勵行シ清潔ヲ保ツコト
- 一〇、休憩中ハ靜肅ヲ保チ所定ノ場所ヲ離レムトスルトキハ其ノ都度係員ノ承認ヲ受クヘシ
- 一一、自動車ニ故障ヲ生シ使用上支障アリト認ムルトキハ速ニ係員ニ届出ツルコト
- 一二、運轉中故障ヲ生シタルトキハ荷モ列ヲ亂シ又ハ交通上支障ヲ及ホスカキコトナキ樣機宜ノ措置ヲ講シ速ニ係員ニ届出ツルコト
- 一三、車休附着ノ各種標識ハ係員ノ指示アル迄ハ之ヲ離脱セサルコト
- 一四、發着何レノ場合ヲ問ハス車輛ノ位置指定セラレタル後ハ係員ノ指揮ヲ俟タスシテ濫リニ變更セサルコト

- 一四、御列ニ加ハリ又ハ御列後尾ニ處從スルトキハ音響器ヲ鳴ラサス且前車トノ距離、進行速度等ハ豫メ係員ヨリ指示スル所ニ依ルコト
- 一五、出發ノ際交付スル使用傳票ハ當該係員又ハ乗用者ノ認印ヲ受ケ運轉終了後其ノ都度車輛係へ提出スルコト
- 一六、用済ノ上ハ直ニ所定ノ駐車場へ搬運シ運轉狀況ヲ係員ニ報告ノ後指揮ヲ受クルコト
- 一七、解散命令アル迄ハ濫リニ退散スヘカラサルコト
- 一八、車掌ハ運轉ニ關スル事ヲ除ク外前各號ノ事項ヲ遵守シ運轉者ノ補助ヲ爲スコト
- 一九、警衛上及車ノ行動ニ關スル秘密ハ特ニ嚴守シ他ニ漏洩セサルコト

2 交通ニ關スル事項

演習關係地ニ對シテハ、特ニ所轄警察署ヲシテ（各警察署長ヲシテ實施セシメタル事項中ニ詳記ス）交通保全ヲ圖ラシムル施設ヲナシムルト共ニ、毎月定期ニ訓練の交通取締ヲ執行セシメ、十月五日ニハ栃木縣自動車協會其ノ他各種、團體ト協力シテ交通宣傳ヲ執行シ交通道德ノ普及徹底ニ努メタル外、佐野・足利兩警察署管内道路ニ對シ、必要ナル場所ヲ九月初旬ヨリ實測ノ上、道路方向標及道路警戒標百二十一本ヲ増設シ交通ノ安全ヲ期シタリ。

交通宣傳實施計畫要項

主催栃木縣警察部、栃木縣自動車協會

- 一、實施期日（一日間）雨天順延ノコト
- 二、區 域 本縣下一圓（各支部管内ヲ單位トス）
- 三、宣傳方法
 - 1 宣傳隊ノ編成 自動車隊、自轉車隊ヲ編成シテ巡回宣傳ニ努メ辻講演（交通ノ妨害トナラサル様）ヲ行フコト

2 路上訓練

市街地樞要道路ニ各種團體員（肩掛ヲ着用セシムルコト）ヲ配置シ左記各項嚴行方督勵シテ道德養成ニ努ムルコト
 イ、左側通行 ロ、右大廻リ、左小廻リ ハ、自動車、自轉車ノ直前橫斷禁止 ニ、道路ノ並列行進禁止 ホ、道路ノ遊戯停止禁止
 止ヘ、道路愛護清潔ノ勵行

3 文書宣傳

表面ニ兒童ノ交通十訓、裏面ニハ授業時間割ヲ印刷セル乘テ小學校三、四、五、六年ノ兒童、高等小學校生徒ニ（十月五日）一齊ニ配布スルコト
 小學校長ニハ前回送付シタル教材ニ基キ兒童ニ對シ交通安全ニ關シ徹底セル訓話ヲ依頼スルコト

4 安全マーケ

安全マーケハ自動車ノ外部見易キ個所ニ貼付スルコト

5 宣傳印刷物

宣傳印刷（撒紙）ハ宣傳隊ニ依リ配布スルコト

6 ホスタ

ホスタ一ハ道路見易キ場所ニ揭示スルコト

7 タイトル

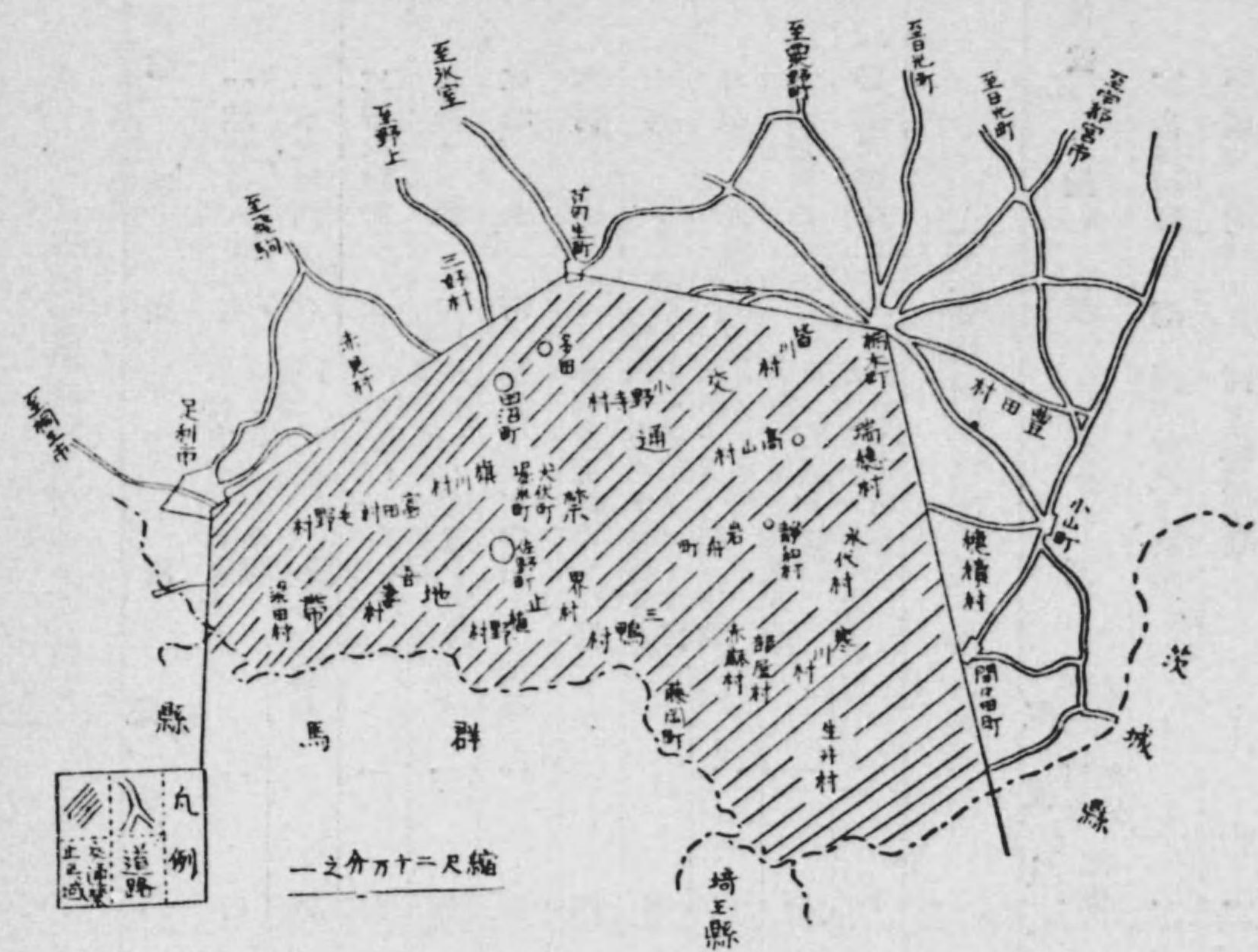
興行主ト交渉シ交通事故防止ニ關スル幻燈映寫ヲ行フコト

以上

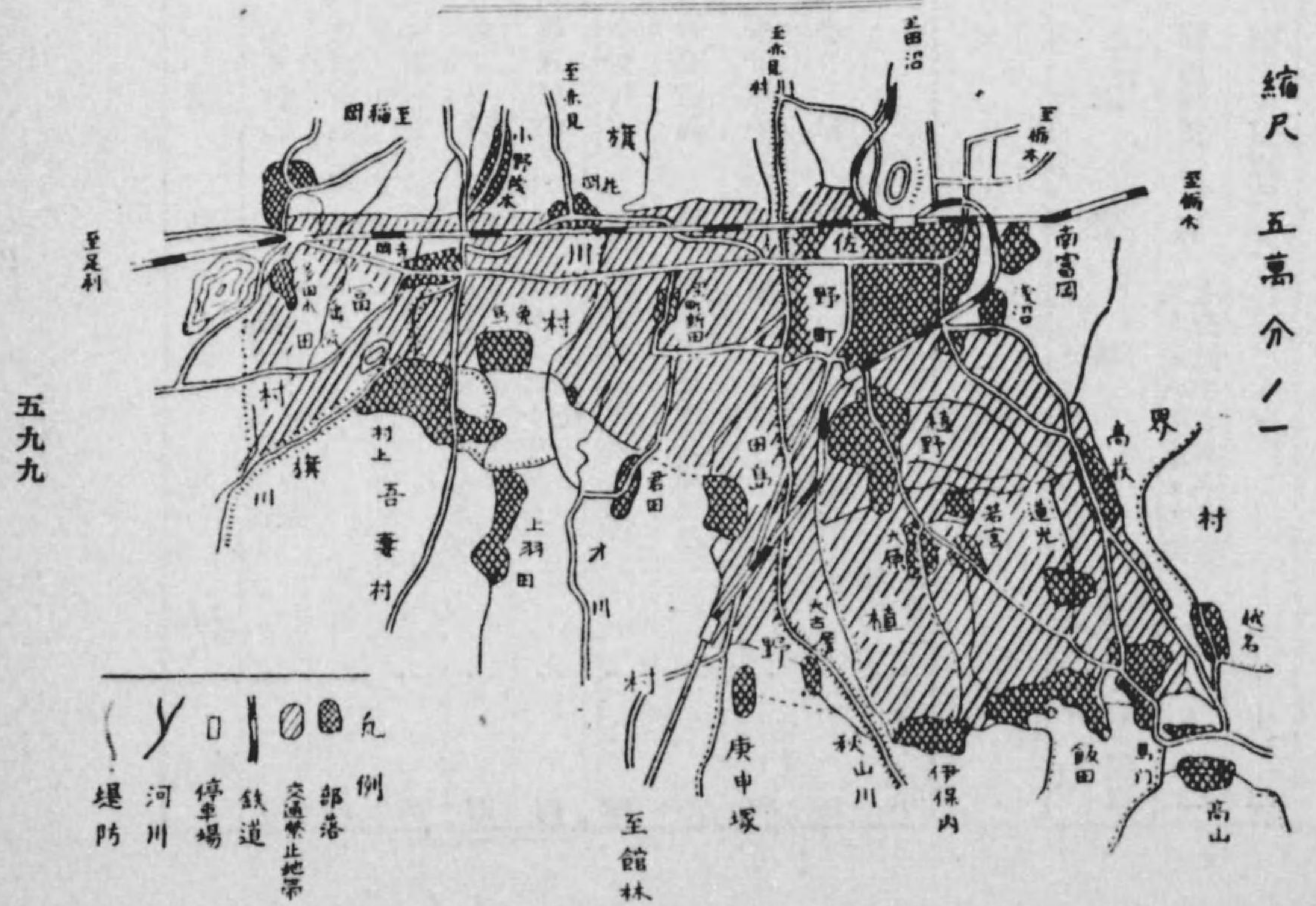
大演習關係地ニ於ケル交通禁止

大演習第一日タル十一月十一日ノ車馬交通禁止ニ付テハ、統監部ノ決定セル區域ニ付豫メ現地調査ヲ遂ゲ、交通禁止標札十九本ヲ立テ、更ニ別紙ノ通配置員ヲ定メテ人車馬ノ交通遮斷並ニ附近ノ交通整理ニ當ラシムルコト、セリ。

第一圖 車馬交通禁止區域



第二圖 一般交通禁止區域



五九九

栃木縣告示第五百八十六號

昭和九年陸軍特別大演習施行セラルルニ付道路取締令第十八條第一項ニ依リ左ノ通車馬及一般ノ交通ヲ禁止ス
昭和九年十一月五日

栃木縣知事 萱場 軍藏

五九八

- 一、交通禁止日時
 - (一) 車馬交通禁止(自轉車ヲ除ク)
昭和九年十一月十一日 自午前四時 至午後二時
 - (二) 一般交通禁止(人車馬)
昭和九年十一月十一日 自午前零時 至正午
- 二、交通禁止區域(別紙圖面)
 - (一) 車馬交通禁止區域第一圖
 - (二) 一般交通禁止區域第二圖

車馬交通遮斷箇所並配置員表

番號	遮斷箇所	配置員	番號	遮斷箇所	配置員
一	瑞穂村大字川連 水代方面ト和泉方面 トノ縣道分岐點	部長 一 補員 四	一一	赤見村市場 稻岡方面ト旗川村小 中方面トノ分岐點	部長 一 補員 四
二	水代村西水代 部屋方面ト小山方面 トノ縣道十字路	部長 一 補員 四	一二	足利市東橋際	部長 一 補員 六
三	野木村野木 國道ト部屋方面ニ至 ル縣道トノ丁字路	部長 一 補員 四	一三	毛野村岩井	部長 一 補員 四
四	藤岡町 新開橋際佐野方面ト 木方面トノ縣道十字路	部長 一 補員 四	一四	御厨町 足利方面ト梁田方面 トノ縣道丁字路	部長 一 補員 四
五	堀米町 妙顯寺前丁字路	部長 一 補員 四	一五	筑波村羽川 箱林方面ト中野方面 トノ分岐點	部長 一 補員 四
六	小學校際西南十字路	部長 一 補員 四	一六	久野村木戸 箱林街道矢場川岸	部長 一 補員 四
七	旗川村方面ト診療院前 ニ至ル道路トノ十字路	部長 一 補員 四	一七	吾妻村高橋 箱林街道渡良瀬川岸	部長 一 補員 四
八	朱雀町 田沼方面ト旗川方面 トノ十字路	部長 一 補員 四	一八	植野村小羽田同	部長 一 補員 四
九	沼沼町吉水 田沼方面ト葛生方面 トノ縣道分岐點	部長 一 補員 四	計		部長 一 補員 七 巡査 四
一〇	旗川村小 赤見方面ト花園方面 トノ丁字路	部長 一 補員 四			

交通整理員配置場所並配置員表

番號	配置場所	配置員	番號	配置場所	配置員
一	富田村富田驛 西方縣道上落切	警部 補 巡査 部長 一 巡査 一	三	富田村富田驛 西方足利街道ト多田 木街道トノ十字路	警部 補 巡査 部長 一 巡査 一
二	同 西方鐵道踏切	警部 補 巡査 部長 一 巡査 一	四	同 富田驛前	警部 補 巡査 部長 一 巡査 一

3 航空制限

栃木縣告示第五百四十四號

昭和九年十一月中旬主トシテ群馬埼玉栃木縣下ニ於テ陸軍特別大演習ヲ施行セラルルニ付左ノ通航空ヲ制限ス

昭和九年十月十二日

五	富田村足利街道 辨天橋際	元三大師ニ至ル分岐點	一五	佐野町足利銀行支店前丁字路	
六	同	旗川橋際	一六	堀米町朱雀町 田沼街道ト旗川街道 トノ十字路	
七	同	旗川堤防上	一七	佐野町元都役所前丁字路	
八	同	旗川堤防上	一八	佐野驛入口 下野自動車會社前丁 字路	
九	佐野町商業學校裏門		一九	同 佐野驛前 安田自動車前十字路	
一〇	同 大橋西方舊街道トノ分岐點		二〇	同 高砂町 藤岡街道入口	
一一	同 大町津久井方東方十字路		二一	同 相生町 栃木街道丁字路	
一二	同 東海銀行西十字路		二二	堀米町妙顯寺前丁字路	
一三	同 江戸町派出所前		計		
一四	同 東武佐野町驛前三叉路				

栃木縣知事 萱場 軍藏

一、航空制限區域

栃木縣 一四

二、航空制限期間

十一月十日ヨリ十一月十四日ニ至ル五日間

六〇二

右區域内及期間内ニ於ケル航空ハ之ヲ禁止ス但シ定期航空並新聞通信ニ任スルモノニシテ左記各號ヲ嚴守スルモノハ此ノ限ニ在ラス

(イ) 演習部隊ニ對スル空中寫眞ノ撮影及高度八百米以下ノ航空ヲ行ハサルコト

(ロ) 夜間飛行ヲ行ハサルコト

(ハ) 航空希望者ハ直接參謀本部ニ届出テ所要ノ指示ヲ受ケルコト

(三) 制限區域内及其ノ近傍ヲ航空スル一切ノ航空機ハ左右上翼上面及左右下翼下面ノ中央部ニ赤色塗料又ハ赤布ヲ以テ幅約三十種ノ一赤線ヲ機軸ニ沿ヒ劃スルコト

地方行幸時ノ航空制限

栃木縣告示第五百五十二號

來ル十一月十六日足利市上空及兩毛線足利驛ヨリ足利郡小俣町群馬縣界ニ至ル並東武伊勢崎線足利市驛ヨリ足利郡山邊村群馬縣界ニ至ル鐵道線路水平距離五キロメートル以内ノ航空ヲ禁止ス

昭和九年十月十九日

栃木縣知事 萱場 軍藏

飛行機不時着陸ニ對スル注意事項

飛行機空中ニ於テ故障ヲ生シ不時着陸ヲ行ハントスルトキハ左ノ件ニ注意セラレ度

1 飛行機低空ニ下リ同一地點ノ上空ヲ數回旋回スルカ或ハ螺旋機ヲ殆ト停止セントシ若クハ全ク停止シタル狀態ヲ以テ降下シ來ルハ

不時着陸ノ徵ナリ斯ル場合其附近ノ人々ハ最寄物件ニ身ヲ避ケルカ或ハ現在地ニ停止シテ低キ姿勢ヲ取り徒ラニ喧嘩混亂シテ飛行機ノ着陸ヲ妨害セサルコト

2 飛行機着陸セハ之カ停止スル迄近寄ルヘカラサルコト

飛行機着陸後ニ於テモ螺旋機突如廻轉シ往々不慮ノ危害ヲ及ホスコトアルヲ以テ螺旋機附近ニハ近寄ラサル如ク注意スルコト

3 飛行機着陸後搭乗者負傷等ノ事アル時ハ救急ノ處置ヲ講スルト共ニ速ニ警察電話若クハ電報等ノ急報手段ニ依リ左ノ件ヲ演習統監部又ハ飛行隊若クハ最寄軍隊ニ通知セラレ度

著陸地點、時刻、飛行機番號、搭乗者ノ狀態及飛行機損傷ノ程度等

4 搭乗者ノ指示スル場合ノ外濫ニ飛行機ニ觸ルルヘカラサルコト

5 飛行機ノ附近ニ於テハ火氣ハ嚴禁トス、喫煙焚火等ハ不測ノ災禍ヲ招キ易キニ付特ニ注意セラレ度

4 銃砲火藥類取締

銃砲火藥類ノ取締ニ關シテハ其ノ徹底ヲ期スル爲、昭和九年四月三十日ヨリ一週間各警察署取締主務者ヲ召集シ、取締上ノ注意及取締法規、技術上ノ知識等ニ關シ講習ヲ爲サシメ、五月ヨリ左記ノ通り保安課員ヲシテ縣下一圓ニ亘リ、保安係勤務細則取締要領ニ基キ臨檢取締ヲ執行シ取締上ノ完璧ヲ期シタリ。

銃砲火藥類ニ關スル視察取締

一、第一回

(イ) 區域

(ロ) 縣下全般

自五月二十一日

至六月二十日

(ハ) 視察對象

四六〇

二、第二回

六〇三

(イ) 區 域
佐野、足利、足尾、栃木各警察署管内一圓
期 間

(ハ) 自九月二十五日
至十月十七日
視察對象
一八四

銃砲火藥類取締ニ關シ、各廳府縣ニ左記ノ通照會ヲ發シ取締ノ共助ヲ求メタリ。
演保第三〇號

昭和九年九月十九日

警視廳保安部長
各廳府縣警察部長

栃木縣 警察部長

銃砲火藥類取締ニ關スル件

天皇陛下ニハ今秋北關東ニ於テ行ハセラレル陸軍特別大演習御統監ノ爲來ル十一月中旬本縣下ニ行幸被遊趣ニ有之就テハ警備警備上銃砲火藥類取締ニ關シ左記事項ニ付特ニ御配慮相煩度此段及照會候也

記

- 一、銃砲火藥類ノ讓渡ニ關シ
來ル十一月一日ヨリ同月二十日迄ノ間ニテ本縣内在住者ニ對シ銃砲火藥類(仕込刀劍其ノ他變裝戎器ヲ含ム)ノ讓渡ヲ爲シタル場合ハ其ノ都度左記事項ヲ
(一) 種類及數量特徵
(二) 讓渡年月日
(三) 讓渡人ノ住所、職業、氏名、年齢

(四) 其ノ他參考事項

二、拳銃、短銃、仕込刀劍其ノ他變裝戎器ノ攜帶旅行者、轉住者並所持者所在不明ニ關シ

右期間中拳銃、短銃、仕込銃、仕込刀劍其ノ他變裝シタル戎器ヲ攜帶シ本縣内ニ轉住シ若ハ旅行又ハ縣下ヲ通過セムトスルモノアルトキハ可成阻止セラレ阻止不能ノ者又ハ之等所持者ニシテ所在不明トナリタル場合ハ左記事項

- (一) 所持、攜帶ノ種類及數量特徵
(二) 旅行、通過及轉住者又ハ所在不明者ノ本籍、住所、職業、氏名、年齢及人相特徵等
(三) 旅行、轉住又ハ所在不明ノ年月日
(四) 旅行、轉住先通過經路並其ノ目的
(五) 其ノ他ノ參考事項

右緩急ニ應ジ電話其ノ他ニ依リ御通報相煩度

三、銃砲火藥類授受、運搬、攜帶ノ禁止ニ付テ來ル十一月五日ヨリ同月十八日迄ノ間當縣下足利市、足利郡、安蘇郡、下都賀郡、芳賀郡ノ一圓、河内郡ノ内上三川町、本鄉村、吉田村、藥師寺村、明治村ハ銃砲火藥類ノ授受、運搬、攜帶ヲ禁止スヘキニ付周知方御取計ヒ相成度就テハ右期間中當管内ニ到着シ又ハ管内ヲ通過スル火藥類ノ運搬ハ許可セサル機御取計ヒ相成度

銃砲火藥類ノ授受運搬攜帶ノ禁止

警備上必要アルヲ認メラレタル爲、左記ノ通り縣令ヲ以テ銃砲火藥類ノ授受運搬攜帶ヲ禁止シタリ。

栃木縣令第三十號

銃砲火藥類取締法第十二條ニ依リ左ノ通銃砲火藥類仕込刀劍其ノ他ノ變裝戎器及短刀七首ノ授受運搬攜帶ヲ禁止ス但シ所轄警察署長ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

昭和九年十月二日

一、禁止期間

自昭和九年十一月五日
至昭和九年十一月十八日

二、禁止區域

安 蘇 郡	一 四	足 利 郡	一 四
下 都 賀 郡	一 四	芳 賀 郡	一 四

河内郡ノ内上三川町、本郷村、吉田村、薬師寺村、明治村

銃砲火藥類等ノ授受運搬携帶ノ禁止期間中、縣令但書ニ依リ許可ヲ與フル標準ヲ左ノ通り各警察署長ニ達示シ取締ノ完壁ヲ期シタリ。

演保第四五號

各 警 察 署 長

銃砲火藥類及仕込刀劍其ノ他ノ變裝戎器等ノ授受運搬携帶禁止ニ關スル件

標記ノ件十月二日縣令第三十號ヲ以テ發令相成候ニ付左記ニ依リ取扱取締上遺憾ナキヲ期セラレハシ

追テ火藥類消費者ニ對シ別送注意書配付方取計ハルヘシ

昭和九年十月三日

栃木縣警察部長

記

一、但書ノ規定ニ依リ許可ヲ與フルハ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノニ限ル

(1) 火藥類消費者ニシテ禁止期間中消費スル火藥類ヲ本通牒ニヨリ火藥庫ニ委託貯藏スルコト能ハサル者若クハ貯藏所ヲ所有セザ

ル者カ其ノ消費スル火藥類ニシテ左ノ數量ヲ超エサルモノヲ授受運搬セムトスルトキ

爆 藥 二疋二五〇瓦 火 藥 三疋七五〇瓦

導 火 線 三十米 工業用雷管 五十個

(2) 本通牒ニヨリ火藥庫ニ貯藏ヲ委託セル者カ受託火藥庫ヨリ自己ノ火藥倉庫、假貯藏所若ハ消費現場ニテ運搬セムトスルトキ
(3) 乙種狩獵免狀ノ下付ヲ受ケタルモノカ狩獵禁止區域(本件禁止區域ニ同シ)外ニ於テ狩獵ヲ爲サムカ爲獵銃及所要火藥類ヲ携帶セムトスルトキ

(4) 學生、生徒若クハ青年訓練所員ニシテ演習、檢閱等ノ爲メ所要ノ銃砲火藥類ヲ携帶セムトスルトキ

(5) 前各號ノ外緊急ノ必要ニ依リ止ムヲ得サル事由アリト認ムル者ニ對シテハ稟伺ノ上許可スルコト

二、現ニ火藥類ヲ使用シツツアル者ニ對シテハ禁止期間中ノ所要數量ヲ成ルヘク禁止期間前讓受ノ上所定ノ貯藏所ニ貯藏セシムルコト若

シ其ノ貯藏所、火藥倉庫、假貯藏所ニシテ禁止期間中ノ所要數量ヲ貯藏シ得サル者ハ附近ノ火藥庫ニ委託貯藏セシムルコト

三、銃砲火藥類販賣業者、製造業者ニ對シテモ前號ニ準シ處理セシムルコト

四、火藥類消費所ニ於テ火藥係ハ火藥類直接取扱人トノ授受及其ノ貯藏所ト消費現場ニ到ル間ニ於ケル携帶運搬ハ禁止中ニ包含セサルモノトシテ取扱フコト

五、販賣業者、製造業者、消費者、狩獵免許者其ノ他關係間ニ對シテハ豫メ縣令並ニ本通牒ノ趣旨ヲ周知徹底セシメ違反ナキニ努ムルコト

六、別紙區域内ニ於テハ十一月十日ヨリ十一月十四日正午迄ノ間煙火打揚ノ許可ヲ爲ササルコト

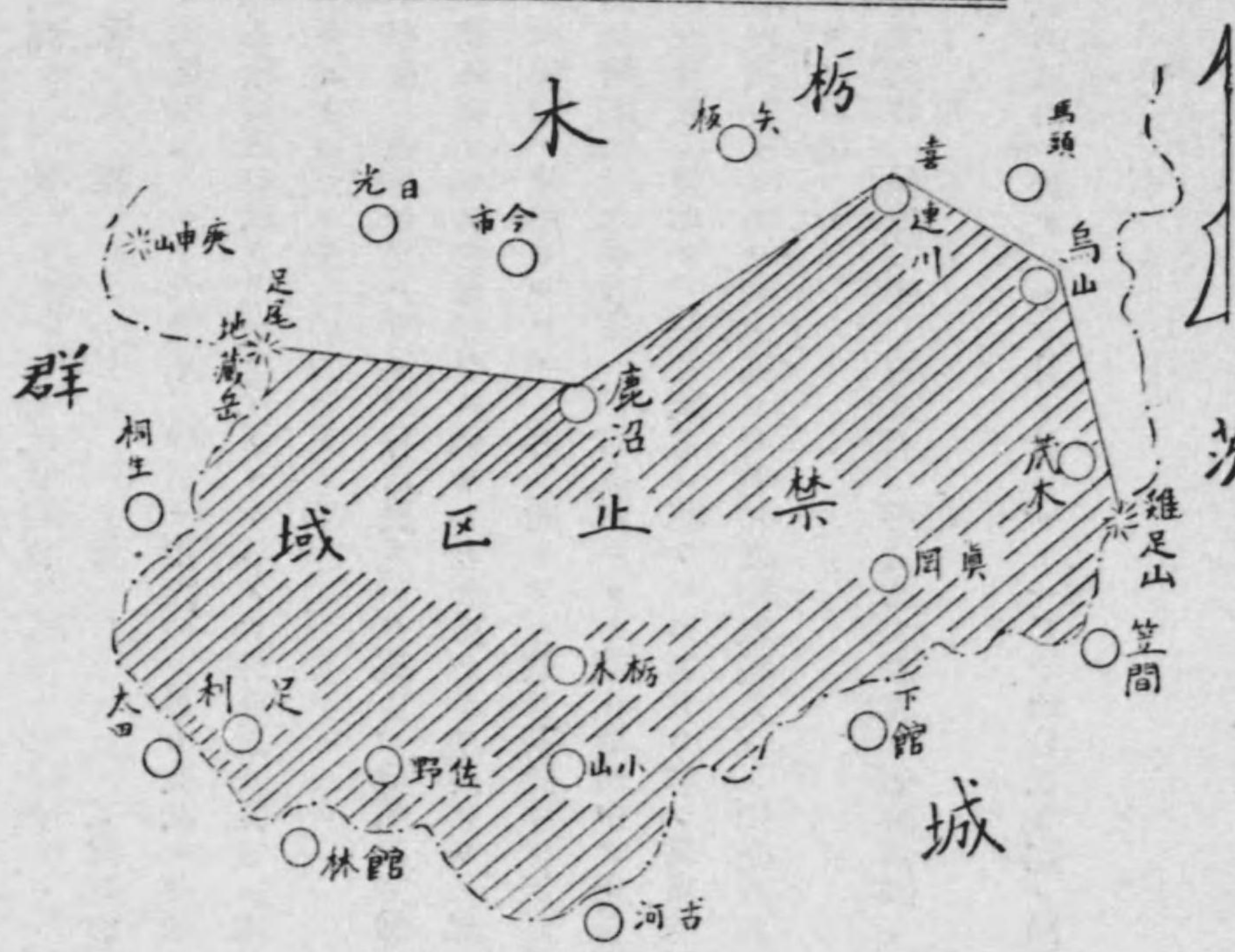
火藥類消費者へノ注意

來ル十一月月中旬本縣々南地方ニ於テ陸軍特別大演習舉行セラレ
 ルニ方リ此ノ間靜謐保持並軍ノ行動ニ聊モ支障無之ヲ期スルト同
 時ニ從來屢々發生セル火藥類ニ因ル不測ノ災害並盜難等ノ事故防
 止ノ爲本月二日付縣令ヲ以テ 自十一月五日 日間足利郡市、安蘇郡、
 下都賀郡、芳賀郡一圓河内郡ノ内上三川町、本郷村、吉田村、藥
 師寺村、明治村ノ區域内ハ火藥類ノ授受、運搬、携帶ヲ禁止セラ
 レマシタカラ御注意下サイ尙特ニ注意ヲ要スベキ事項ヲ左ニ掲ゲ
 マシタカラ熟讀セラレ事故防止ニ努メテ下サイ

昭和九年九月

栃木縣警察部

煙火打揚禁止區域



- 左記
- 一、貯藏ニ就テ
 - 1 貯藏所破損ノ箇所アラハ速カニ修繕シ盜難ヲ豫防スルコト
 - 二、讓受ニ就テ
 - 1 禁止期間中ハ已ムテ得サル事由アル者ニ對シテノミ左ノ豫防並危險防止ニ努ムルコト

栃木縣警察部

- 通少量ノ火藥類 (爆藥二底二五〇瓦 導火線三〇米以内) 工業用雷管五〇個以内) ニ限り授受 (讓受) ナ (既ニ讓受ノ許可ヲ受ケ居ルモノノ授受ニ付亦同シ) 許可シ其ノ他ノモノニ對シテハ許可セサルモノトス
- 2 禁止期間中事業上必要ナル火藥類ハ禁止期間前豫メ購入シ自己ノ貯藏所若ハ他人ノ貯藏所ニ委託貯藏スルコト (委託貯藏ハ所轄署ノ許可ヲ要ス)
 - 3 平素許可ヲ受ケスシテ讓受 (授受) ナシ得ル者ト雖モ禁止期間中ハ許可ヲ受ケスシテ授受スルコトヲ得サルモノトス
- 三、運搬ニ就テ
- 禁止期間中火藥類ヲ運搬シ得ル場合ハ自己貯藏所ト消費場間ノミニシテ其ノ他ノ場合ハ少量火藥類ト雖モ所轄警察署ノ許可ヲ要ス
- 四、使用ニ就テ
- 1 火藥類ノ使用ニ付テハ銃砲火藥類取締法施行取規則第三十七條所定事項ヲ遵守シ爆發災害ノ絶無ヲ期スルコト
 - 2 火藥係ヲシテ消費場ニ於ケル火藥類取扱及消費ニ付嚴重ニ監督セシメ火藥類ノ散逸ヲ防止スルコト
 - 3 警察署ニ届出タル火藥係及火藥直接取扱人以外ノ者ヲシテ絶對ニ火藥類ノ取扱ヒヲ爲サシメサルコト
 - 4 使用殘火藥類ハ毎日確實ニ貯藏所ニ收納スルコト
 - 5 銃 獵 取 締
- 陸軍特別大演習ハ狩獵期間中ナル爲、左記ノ通り銃獵取締方針ヲ確立シテ準備ヲ進メタリ。
- 狩 獵 取 締 方 針 (八月下旬決定)
- 一、銃 獵 禁 止
- 1 期 間 自十一月五日 至十一月二十日
 - 2 區 域 安蘇郡、足利郡、下都賀郡一圓

一、區域	
足利郡市	一 四
安蘇郡	一 四
下都賀郡	一 四
芳賀郡	一 四

銃獵禁止ノ周知徹底

銃獵禁止ノ告示ト共ニ各府縣ニ銃獵禁止ノ周知方照會ヲ發スルト共ニ、縣下各警察署長ニ達示シ左記印刷物ヲ狩獵者ニ配布セシメ其ノ趣旨徹底ニ努メタリ。

狩獵免許者ヘノ注意

來ル十一月月中旬本縣々南地方ニ於テ陸軍特別大演習舉行セラルル管ニ有之就テハ此ノ間靜謐保持並軍隊ノ行動ニ聊モ支障無之ヲ期スルト同時ニ從來屢々發生セル獵銃ニヨル不測ノ事故防止ノ爲特ニ左記事項ニ付テ周到ナル注意ヲ拂ハレ度

昭和九年十月

左記

栃木縣警察部

- 一、銃獵禁止區域ノ設定
 - イ、禁止區域 (足利市、足利郡、下都賀郡、芳賀郡一圓河内郡ノ内上三川町、明治村、本郷村、藥師寺村、吉田村)
 - ロ、禁止期間 (自昭和九年十一月五日二週間至昭和九年十一月十八日)
- 右ノ通銃獵禁止區域設定セラレタルニ付キ、之レニ背反スルコト無之ヲ期スルト共ニ可成禁止區域内ニハ銃砲火藥類ヲ運搬携帯セサルコト。

河内郡 上三川町、本郷村、吉田村、藥師寺村

(但既設銃獵禁止區域ヲ除ク) 明治村

二期間

自昭和九年十一月五日

至同年十一月十八日

二、出獵上ノ注意

銃獵禁止區域外ノ上都賀、那須、壺谷郡地方ト雖モ、可成演習期間中ハ出獵ヲ見合セラレタキコト。

三、銃器火藥類ノ取扱

銃器火藥類ノ携行運搬ノ際ハ必ス銃器ニ彈丸ヲ裝填セサルト共ニ、遺失等ノ失策ナキ様充分注意スルコト。

四、火藥類ノ讓渡實包製造ニ就テ

火藥類ノ讓渡數量及實包ノ製造ハ必要ナル最少限度ニ止メ、且實包製造ノ場合ハ必ス火氣ヲ嚴禁シ、毫モ過失ナキヲ期スルコト。

五、火藥類ノ讓渡嚴禁

所持スル火藥類ハ如何ナル事情アルモ、許可ヲ受ケス讓渡シテ爲ササルコト。

六、銃器火藥類ノ保管

銃器火藥類ノ保管ノ免許者自ラ之ヲ爲シ、實包ハ必ス銃器ニ裝填スル事ヲ嚴禁シ、之ヲ區別シテ施錠アル一定ノ個所ニ保管シ、盜難

遺失、其ノ他ノ事故ヲ發生セサル様細心ノ注意ヲ拂フコト。

七、實獵上ノ注意

實獵ニ從事スル場合ト雖モ發砲直前迄ハ必ス銃器ニ安全機ヲ施シ、且銃口ハ上向トスルコト。

八、其ノ他

- (イ) 狩獵者ハ協力連繫狩獵上過誤ナキ様諸般ノ點ニ注意警戒シ、尙違反其ノ他不審ノ行爲ヲ爲ス者ヲ發見シタルトキハ直チニ警察官吏ニ申告スルコト。
- (ロ) 警察官吏ヨリ免狀又ハ獵具並獲物ノ提示ヲ求メラレタル時ハ速ニ應答シ、苟モ不都合ヲ來タササルコト。

6 危險物取締

壓縮瓦斯液化瓦斯及危險物取締計畫

一、取締區域

佐野署管内 佐野町、植野村、旗川村
足利署管内 足利市、山邊村

二、取締期間

第一回 自八月十一日 間ニ於テ
至八月二十日
第二回 自九月六日 間ニ於テ
至九月十日

三、取締範圍

營業者、貯藏所、使用場所

四、取締方法

第一回ハ當部ヨリ技術官ヲ派遣シテ臨檢視察セシメ、危害豫防上改善ヲ要スト認ムルモノニ對シ期間ヲ指定シテ改善ヲ命シ竣工ヲ届出シメタリ。

第二回ハ前項届出ヲ俟テ改善ヲ命シタルモノニ付臨檢ヲ爲セリ。

第三回(前々日)ハ警防班ヲシテ沿道附近ノモノニ付視察取締ヲ爲セリ。

五、貯藏者、使用者ニ對スル注意警告

注意遵守スヘキ事項ノ印刷物ヲ作製配布シテ注意ヲ促セリ。

「アセチレン」及壓縮酸素ニ就テ

「アセチレン」瓦斯ハ酸素ト共ニ燃燒スルト二千四百度カラノ高熱ヲ發スルノテ金屬ノ熔接ニハ廣ク利用セラレルガ非常ニ爆發シ易イモノアリ又之ト一緒ニ使ハレル壓縮酸素モ取扱ガ惡イト爆發スルモノデアル。

從業者ガ之等ノ性質ヲ知ラナイノハ非常ニ危険ナコトデアルカラ解リ易ク説明シテ各位ノ參考トスル。

其ノ一 「アセチレン」瓦斯

(1) 「カーバイド」ニ水ヲ注グト「アセチレン」瓦斯ヲ發生スル、此ノ瓦斯ハ無色透明、不快ノ臭氣ヲ有シ點火スルト煤煙ヲ發シテ燃燒スル。

(2) 「アセチレン」瓦斯ニ酸素瓦斯又ハ燐化水素瓦斯ノ混ツタモノハ自然ニ爆發スル、實ノ惡イ「カーバイド」ハ「アセチレン」ノ外ニ之等ノ瓦斯モ出スカラ危険デアル。

(3) 「アセチレン」瓦斯ヲ(二氣壓以上ニ)壓縮スルト衝擊シタ丈ケテモ爆發スルカラ「アセチレンタンク」ノ上ニ重イ物ヲ載セルノハ危険デアル。

(4) 「アセチレン」瓦斯ト空氣トガ或ル割合テ混合シタモノハ、火ガ着クト直チニ爆發スルカラ火災ノ時ハ大イニ注意シナケレバナラナイ。

其ノ混合物ハ「アセチレン」瓦斯ガ極ク少イ場合デモ(空氣百ニ對シテ「アセチレン」三ノ容量)爆發スルガ、反對ニ「アセチレン」ガ非常ニ多クナルト(空氣容量ノ半數以上)却テ爆發シナクナルノデアルカラ火災ノ際ハ「アセチレンタンク」ノ「バルブ」等ヲ全開シテ一時ニ瓦斯ヲ放出スルノガ安全デアル。

(5) 「アセチレン」瓦斯ハ衛生上有害デアツテ若シ空氣中ニ混ツタ割合が多イ時ハ(四分ノ一以上)中樞神經ヲ犯サレ人ハ麻痺スルモノデアルカラ作業場ナドハ空氣ノ流通ヲ良クシナケレバナラナイ。

其ノ二 壓縮酸素

(1) 酸素ハ無色、無味、無臭ヲ物ノ燃燒ヲ盛ニスル性質ガアル、壓縮酸素ハ酸素ヲ強大ナ壓力(百三十氣壓乃至百五十氣壓)テ壓縮シ

堅固な容器ニ入レタモノデアルカラ金屬ヲ熔接スルニ方リ火口ニ故障ガアルト火ハ逆行シテ「アセチレンタンク」ニ向ヒ、若シ安
全器ガ不完全ナレバ爆發ヲスル。

(2) 火災ナドテ、壓縮酸素ノ容器ガ熱スルト中ノ酸素ハ膨脹シテ爆發スルカラ速ニ容器ノ「バルブ」ヲ開放シ酸素ヲ放出シナクレバナ
ラナイ。

其ノ三 熔接ニ方リ危害豫防上特ニ注意スベキ點

- 一、火口ニ故障ノナイコトヲ確メタ後使用スルコト。
- 二、安全器ノ水量ガ適當デアルカ否カヲ使用前検査スルコト。
- 安全器ノ水ガ凍ツテ居ルトキハ安全作用ヲ爲サナイカラ取り替ヘナクレバナラナイ。
- 三、安全器ハ信用ノアル物ヲ取付ケルコト、手製安全器ハ成ルベク使用シナイコト。
- 四、「アセチレン」瓦斯ノ臭基ダシイ時ハ火ヲ近ヅケナイテ先ヅ空氣ノ流通ヲ計ルコトガ必要デアアル。

昭和九年九月

栃木縣警察部

7 精神病者視察取締

行事計畫ニ基キ警察部員ヲ派遣シ、左記ノ通り保安係勤務細則取締要領ニ基キ視察取締ヲ行ハシメタリ。

精神病者視察取締概要

- 一、縣下精神病者現在數
 - 監置精神病者 一五一名
 - 非監置精神病者 一六七五名
- 二、第一回縣下一齊視察
 - (イ) 日 時 自五月二十五日 至六月十六日
 - (ロ) 視察所要延人員及日數

人員 二〇名
日數 九五日

(一日一人二十名視察ノ見込)

三、第二回視察取締

- (イ) 日 時 自十月一日 至十月十七日
- (ロ) 區域 安蘇郡、足利郡

上都賀郡、足尾町
下部賀郡、栃木警察署管内
視察所要延人員及日數 四名

- (二) 精神病者數 三二日
- 監置精神病者 五六名
- 非監置精神病者 六六九名

8 電氣工作物ニ對スル取締

陸軍特別大演習並ニ地方行幸時ニ於ケル電氣工作物取締ニ關シテハ主務省ト連絡ヲ執リ、四月末日ヨリ大演習關係地域
内全般ニ亘リ技術員ヲ派遣シ、別表ノ通り検査ヲ執行シタリ。而シテ第一回検査ノ結果電柱ノ腐朽、電線ト他ノ工作物ト
ノ接近セルモノ、電線被覆損傷甚ダシキモノ、或ハ需用者屋内電氣工作物ノ不良、不完全ナルモノニ付テハ夫々事業者ニ
指示シテ改修ヲ行ハシメ、更ニ御警衛ニ直接關係アル佐野町・足利市等ニ對シテハ第二回第三回ト反復検査ヲ執行シ、警
衛警備ノ萬全ヲ期セリ。

尙、大演習關係地域内一般需用者ニ對シ、別紙ノ如ク屋内電氣工作物ニ關スル注意事項書ヲ印刷配付シテ、注意ヲ喚起
セリ。

電氣工作物検査ノ概要

事業者名	第一回	第二回	第三回
東京電燈株式會社	至自四月二十六日日	至自七月十七日日	至自十月二十一日日
足利出張所		(足利市内)	
同野出張所	至自四月二十六日日	至自七月十九日日	至自十月十三日日
同佐野出張所		(佐野町内)	
同栃木出張所	至自五月二十四日日	至自十月十四日日	
同小山出張所	至自五月三十一日日		
兩毛電氣株式會社	至自五月十二日日		
下都賀郡豐田村營	五月二十五日		

屋内電氣工作物ニ關スル注意事項

電線及電氣機械器具ノ不備、不完全ナル修理又ハ取扱ヒ方法ノ不適當ナル場合ニハ漏電ニ因ル火災、感電死傷、不點等ノ電氣事故ヲ惹起スル原因トモナリ常ニ細心ノ注意ヲ要ス、尙今秋ハ特別大演習舉行セラレ其ノ間ハ特ニ之等ノ災害ヲ防止シ靜謐ヲ保持スルヲ要スル爲各家庭ニ於テ(イ)電線被覆ノ損傷、(ロ)電球線(コード)ノ被覆損傷、(ハ)開閉器、電球承口(ソケット)ノ破損、(ニ)其ノ他電氣機械器具ノ不備等アルトキハ速ニ電氣事業者ニ改修方申込ト共ニ危害豫防上常ニ左ノ事項ヲ心得ラレタシニ

記

- (一) 瓦斯管ニ屋内電線又ハ電球線ヲ接近セシメ或ハ電球線ヲ瓦斯燈ニ懸ケザルコト
- (二) 開閉器ノ可憐片(フューズ)ヲ他ノ金屬線ニテ代用シ又ハ勝手ニ取替ヘザルコト
- (三) 「コード」ヲ繼ギ足シ又ハ不完全ナル修理ヲナサザルコト
- (四) 電氣事業者ノ承認ヲ得ズシテ電氣行火、電熱器具ノ他ノ電氣機械器具ヲ使用セザルコト
- (五) 電燈ノ光線ヲ遮クル爲紙布其ノ他燃焼シ易キモノニテ電球ヲ覆ハザルコト
- (六) 「コード」ヲ直接釘、針金其ノ他金屬棒ニ引懸又ハ戸障子襖ノ間ニ挟マザルコト
- (七) 屋内配線又ハ引込線ニ金屬類又ハ燃焼シ易キ物品ハ勿論其ノ他ノ物品ヲ接觸セシメザルコト
- (八) 家屋ノ増築、修葺ノ際ハ左記事項ヲ注意スルコト
 - (イ) 屋内電線又ハ引込線ヲ直接壁ノ中ニ塗込、又ハトタン其ノ他ノ造替材ヲ直接貫カザルコト
 - (ロ) 引込線及屋内配線ヲ勝手ニ變更、又ハ屋内配線及開閉器ヲ裏板内ニ隠蔽セザルコト
- (九) 屋内電線及電氣機械器具ヲ濡手ニテ取扱ヒ又ハ土間ニアリテハ裸足ノ儘取扱ハザルコト
- (十) 入浴中湯槽ニ入りタル儘屋内電氣工作物ニ觸レザルコト 以上

昭和九年九月

栃木縣警察部

9 瓦斯事業者ニ對スル取締

瓦斯工作物ニ對スル事故防止ノ爲、足利瓦斯株式會社ノ供給區域全般ニ亘リ技術員ヲ派遣シ、瓦斯ノ漏洩其ノ他ニ因ル事故ナキ様遺憾ナキヲ期セリ。

検査結果概要

検査月日	改修ヲ要スト認メタル主タル事項	事業者ニ改修ヲ命シタル月日	改修終了届出
自六月二十七日 至六月二十八日	一、電線ト瓦斯管トノ距離五寸未満ノモノ百五箇所 二、瓦斯遮断装置ニシテ錆チ生シ効用ヲ爲サザリシモノ九箇所	七月五日	九月十九日

10 劇場其ノ他高層建築物ノ検査

保安課技術員ヲシテ、足利警察署及佐野警察署管内劇場及高層建築物ノ検査ヲ左記ニ依リ執行セシメ、災害ノ豫防ニ努メタリ。

一、期日	二、検査ヲナシタル建物
七月二十日	足利警察署管内
七月二十一日	佐野警察署管内

11 防火運動

毎年恒例トシテ十二月一日ニ實施シ來レル防火運動ヲ十一月一日ニ繰上ゲ、栃木縣警察部栃木縣消防義會共同主催ノ下ニ左記計畫ニ基キ、火災豫防・防火大運動デーヲ實施シ、警火思想ノ普及啓發ニ努メテ大演習ノ整備ニ備ヘタリ。

防火運動實施計畫

- 一、主催 栃木縣警察部 栃木縣消防義會

- 二、實施月日 昭和九年十一月一日
- 三、實施區域 栃木縣一圓
- 四、實施方法

(イ) 新聞紙ニ依ル宣傳

- 1 保安課ニ於テハ縣下ノ日刊新聞社及縣下ニ在ル各新聞社支局ニ對シ後援ヲ乞フ
- 2 保安課ニ於テハ十月二十日及十一月一日ノ新聞紙ノ登載セラレル様各社ニ資料ヲ提供ス

(ロ) 防火講演

- 1 警察署ハ各學校ト聯絡チ執リ警火思想ノ普及向上ヲ圖ル爲、學校長又ハ其ノ代理者ニ於テ防火ニ關スル講話ヲ行ヒ其ノ際全兒童ヲシテ消防歌ヲ合唱セシムル様學校當局ト交渉スルコト
- 2 出來得レハ處女會員其ノ他ノ爲ニ特ニ講演ヲ行フコト

(ハ) 興行場並「デパート」等ニ依ル宣傳

- 1 警察署ハ管内ノ活動寫眞館、劇場、寄席等ニ於ケル各種興行ニシテ防火運動ニ利用シ得ヘキ題材ハ努メテ之ヲ行ハシムル様豫メ當業者ト懇談ヲ遂クルコト
- 2 警察署ハ消防義會ヨリ送付スヘキ「スライド」ヲ適宜興行場ニ貸與シ當日數回映寫セシムルコト
- 3 警察署ハ管内百貨店、大商店、會社等ト交渉シ防火ニ因ム陳列又ハ窓裝飾ヲ爲サシムルコト

(ニ) 自動車ニ依ル宣傳

消防用自動車ヲ所有スル組ニ在リテハ之ヲ利用シ適當ナル宣傳ヲ行フコト

(ホ) 横斷幕、旗、印刷物等ニ依ル宣傳

- 1 各市町村要所ニ立看板、横斷幕(地上十五尺以上ノ所ニ)等ヲ設置シ通行者ニ對スル宣傳ニ努ムルコト
- 2 各火ノ見ニ「火ノ用心」ト大書シタル旗ヲ吊ルコト

- 3 縣ヨリ送付スル防火印刷物ハ當日適當ニ配布スルコト
- (ハ) 警 鐘
- 各消防組ハ防火テールコトヲ周知セシムル爲當日午前六時及午後六時ノ二回縣下一齊ニ警鐘(知ラセ十點)ヲ打鳴スコト
- (ト) 取締、検査
- 1 各警察署ハ署員、消防組員ヲシテ各種取締營業者、工場、病院、劇場、百貨店、學校、幼稚園、高層建築物其ノ他多數ヲ收容又ハ出入スル場所ニ於ケル防火裝置並消火、避難ノ設備ニ關スル一齊検査ヲ實施シ不備ノモノニ對シテハ適當ノ措置ヲ爲サシムルコト
- 2 警察署員及消防組員ハ協力シテ各世帯ニ於ケル火氣取扱所ノ一齊検査ヲ行ヒ不備ノモノニ對シテハ適當ノ措置ヲ爲サシムルコト
- (チ) 其ノ他
- 1 兒童ノ防火ニ關スル優秀ナル作文、各種團體ノ所感、意見等アラハ本運動終了後保安課宛送付セシムルコト
- 2 本件施行ニ付テハ市町村長、學校長ト聯絡ヲ保ツコト

12 工場ノ災害豫防

大演習關係地タル安蘇・足利兩郡下ハ縣下唯一ノ機業地ニシテ適用工場千六百餘ニ及ビ、之等工場ノ靜謐保持ハ警衛警備ニ及ボス影響尠カラザルヲ以テ、七月中工場安全週間ヲ催シ、關係係官ヲ派遣シテ指導督勵ニ努メ、更ニ演習關係地方工場ニ對シテハ十一月六日ヨリ十八日迄ノ間ニ亘リ第二回安全週間ヲ催シ、災害ノ豫防並ニ衛生ノ保持ニ努メタル結果、良好ノ成績ヲ得タリ。

第二回特別安全週間ニ實施シタル要項ハ左記ノ通りナリ。

工場特別安全週間實施要項

一、準備期間(五日間)

十一月六日(火) 検査研究日

- 1 安全委員會ノ組織ナキ工場ニ在リテハ週間中ノ安全係又ハ安全委員ヲ選任スルコト
 - 2 原動機、動力ニ依リ運轉スル機械及動力傳導裝置ノ危險箇所ニ設ケタル柵圍被覆等ノ完否ヲ検査スルコト
 - 3 原動機ノ應急停止裝置並信號裝置ノ完否ヲ検査スルコト
 - 4 高所ヨリ物体墜落ノ虞ナキヤ否ヲ検査スルコト(石灰工場ニ於テ殊ニ必要ナリ)
 - 5 作業服、帽子、履物、保護具等ノ適否ヲ検査スルコト
 - 6 ホンプ、消火器、消火栓等ノ完否ヲ検査スルコト
 - 7 非常避難裝置(避難通路、避難階段、避難口等)ノ完否ヲ検査スルコト
 - 8 職工ヨリ其ノ受持機械ノ安全裝置ノ不備ノ點ニ關シテ意見ヲ申告セシムルコト(安全申告箱ニ依ル)
 - 9 其ノ他工場及附屬建設物ノ安全検査ヲ爲スコト
 - 10 各般ノ事項ニ就キ災害原因ノ調査研究ヲ爲スコト
- 十一月七日(水) 施設改善日
- 1 検査ノ結果ニ基キテ安全裝置ヲ研究シ適當ノ設備ヲ爲スコト
 - 2 検査ノ結果ニ基キテ既設安全裝置ノ修理改善ヲ爲スコト
- 十一月九日(金) 實施宣傳日
- 1 安全マークノ佩用及安全旗、安全飾物、安全揭示板ヲ設クル等諸準備ヲ完了スルコト
 - 2 工場安全ニ關スル各種ノ懸賞募集ヲ發表スルコト
 - 3 安全功勞者ノ表彰方法ヲ發表スルコト

- 4 安全統計圖表ヲ掲出スルコト
- 5 其他適當ノ方法ニ依リ職工全員ニ安全週間實施ノ内容ヲ周知セシムルコト

十一月十日(土) 安全訓練日

- 1 安全委員ヲ招集又ハ安全委員會ヲ開催シ安全週間實施ノ最モ効果的方法ニ就キ協議ヲ爲スコト
- 2 安全委員及係員ヲ職責別ニ區分シ夫々ノ委員ニ於テ職工ニ對シ機械ノ操作並其ノ安全動作、衛生、防火等ニ就キ教示シ指導訓練スルコト
- 3 作業上信號ヲ要スル場合ハ信號又ハ合圖方法ヲ教示シ連絡ヲ密ニスルコト

二、實施事項及日割

第一日(十一月十一日 日曜日) 安全祈願デー

(工業主及職工ニ對スル參考事項例示)

- 1 早朝(定刻) 庭前(雨天ノ際ハ室内)ニ集合シ日章旗及安全旗ノ掲揚式ヲ行ヒ君ケ代及産業安全歌ヲ齊唱シタル後「ラヤオ」体操ヲ行フコト
- (所要時間三十分以内トス)
- 2 神社佛閣其ノ他適當ナル箇所ニ集合シ從業員ノ安全祈願ヲスルコト
- 3 工場ニ於テ業務上死亡シタル職工ノ慰靈祭ヲ行フコト
- 4 非常時日本ノ認識ヲ深メ且精神修養ニ資スル講演會ヲ開催スルコト
- 5 日章旗及安全旗ヲ下シツ、君ケ代ヲ齊唱ス
- 6 此日從業員ハ必ズ父母兄弟姉宛安全通信ヲ爲スコト
- 7 夕食後約二十分間民謡体操ヲ行フコト(伊勢津小唄及龍峽小唄)

第二日(十一月十二日 月曜日) 清潔整頓デー

第三日(十一月十三日 火曜日)

- 1 二日共早朝(定刻) 庭前ニ集合シ日章旗及安全旗ノ掲揚式ヲ行ヒ君ケ代及産業安全歌ヲ齊唱シタル後「ラヤオ」体操ヲ行フコト
 - 2 作業場、寄宿舍、食堂、其ノ他附屬設備ノ清潔ヲ保持スルコトニ努ムルコト
 - 3 下水及塵埃捨場等ニハ石油乳劑ヲ撒布スルコト
 - 4 寢具ノ日光消毒及食器類ノ熱氣消毒ヲ勵行スルコト
 - 5 原料及製品等取扱物品ヲ良ク整頓スルコト
 - 6 作業場内通路ノ明示並清掃ヲ爲スコト
 - 7 救急箱ノ内容ヲ整備スルコト
 - 8 チフスノ豫防接種ヲ勵行スルコト
 - 9 トヲホームノ檢診又ハ健康診斷ヲ勵行スルコト
 - 10 寄宿舍内ノ寢具、衣類、所持品等ヲ整頓スルコト
 - 11 日章旗及安全旗ヲ下シツ、君ケ代ヲ齊唱ス
 - 12 二日共終業後庭前ニ集合シ約二十分間民謡体操ヲ行フコト(第二日 伊那節及大日本國民歌、第三日 木曾節及非常時音頭)
- 第四日(十一月十四日 水曜日) 危害豫防デー
- 第五日(十一月十五日 木曜日)
- 1 二日共早朝(定刻) 庭前ニ集合シ日章旗及安全旗ノ掲揚式ヲ行ヒ君ケ代及産業安全歌ヲ齊唱シタル後「ラヤオ」体操ヲ行フコト
 - 2 機械ノ運轉中ハ危険ナル部分ノ掃除注油修繕等ヲ爲サザルコト
 - 3 原動機運轉開始前ノ合圖ヲ確實ニ勵行スルコト
 - 4 工場備付ノ各種保護具(マスク、防塵又ハ遮光眼鏡、保護手袋、保護靴等)ヲ有効ニ使用スルコト
 - 5 溢ニ危害豫防裝置ヲ取外シ又ハ其ノ効力ヲ失ハシメザルコト
 - 6 自己受持以外ノ不馴ナル機械ニ手ヲ出サザルコト

- 7 圓鋸機ニ木材ヲ送給スル場合ニハ特ニ注意スルコト
 - 8 其ノ他安全委員ノ指導ニ基キ安全動作ヲ嚴守スルコト
 - 9 日章旗及安全旗ヲ下シツ、君ケ代ヲ齊唱ス
 - 10 二日共終業後庭前ニ集合シ約二十分間民謡体操ヲ行フコト(第四日 昭和音頭及佐渡おけさ、第五日 伊勢津小唄及火華音頭)
- 第六日(十一月十六日 金曜日) 防火避難デー
第七日(十一月十七日 土曜日)
- 1 二日共早朝(定刻)庭前ニ集合シ日章旗及安全旗ノ掲揚式ヲ行ヒ君ケ代及産業安全歌ヲ齊唱シタル後「ラザオ」体操ヲ行フコト
 - 2 適當ノ場所ニ喫煙所ヲ新設若ハ指定スルコト
 - 3 油ニ汚染シタル磁器、紙屑等ハ不燃質ノ容器ニ收メ適當ナル處置ヲ爲スコト
 - 4 引火シ易キ物品ノ貯藏及取扱ニ注意スルコト
 - 5 消防演習及避難演習ヲ實施スルコト(サイレン、警鐘、警報器等ヲ鳴ラザルコト)
 - 6 消防隊ヲ組織シ並之ガ訓練ヲ爲スコト
 - 7 數組ノ夜警番ヲ設置シ交替ニ工場内外(要スレバ社宅附近ヲモ含ム)ヲ巡廻セシムルコト
 - 8 日章旗及安全旗ヲ下シツ、君ケ代ヲ齊唱ス
 - 9 二日間共終業後庭前ニ集合シ約二十分間民謡体操ヲ行フコト(第六日 日ノ丸音頭及瀬戸ノ島々、第七日 大日本國民歌、上州小唄)
- 第八日(十一月十八日 日曜日) 安全祭
- 週間中無事故ノ場合ニ終業夕食後之ヲ行フコト。先ヅ一同ニテ安全祈願祭ヲ行ヒタル神佛開ニ至リテ禮拜シタル後實施後ノ従業員ノ感想及意見ヲ聽取スル目的ヲ以テ勞資懇親ノ茶話會ヲ開催シ席上更ニ安全委員會長ヨリ週間中ノ實施成績ニ就キ講評ヲ爲シ成績優良ナリシ者並安全功勞者ニ褒賞ヲ授與スルコト

三、施設事項

工場法第一條及規則第二十七條ノ適用ヲ受クル工場主ハ安全週間實施前豫メ危害豫防、清潔整頓、防火避難、其ノ他ニ關スル施設ヲ爲シ其事項ヲ左表ニ依リ十一月七日限り知事及所轄警察署長ニ届出ヅルコト

四、實施方法

工業主ハ安全週間中ハ毎日就業前ニ従業員全部ヲ集メ其ノ日ノ實施事項、注意事項、從業者心得等ヲ懇切明瞭ニ訓話スルコト

五、實施後ノ狀況

- 1 常時五十人以上ノ職工ヲ使用スル工場ニ在リテハ災害件數並災害率及施設事項ヲ調査シ別表「安全週間成績調査」ニ記載ノ上十一月二十五日限り知事ニ届出ヅルコト
 - 2 工業主ハ安全週間實施ニ當リ特ニ職工ニ配布シタル印刷物等アルトキハ之ヲ送付シ揭示、催物、講演、懸賞募集ニシテ優秀ナルモノハ其ノ記事又ハ寫眞ヲ十一月二十五日迄ニ知事ニ送付スルコト
- 昭和九年十月 日

主 催 栃 木 縣 警 察 部
栃木縣工場懇話會聯合會

工場特別安全週間實施ニ關スル施設事項届(安全週間ノ機會ニ於テ新設又ハ改善シタルモノ)

危 害 豫 防	保 健 衛 生	防 火 避 難	其 他
施設事項 又ハ個數	施設事項 又ハ個數	施設事項 又ハ個數	施設事項 又ハ個數

右之通施設致候條此段御届候也

昭和九年十一月 日

栃木縣知事 齋場 軍藏 殿

工場名
工業主

工場特別安全週間實施ニ關スル施設事項届 (安全週間ノ機會ニ於テ新設又ハ改善シタルモノ)

施設事項	又ハ個數	衛生	防火	避難	其他
施設事項	又ハ個數	又ハ個數	又ハ個數	又ハ個數	又ハ個數
施設事項	又ハ個數	又ハ個數	又ハ個數	又ハ個數	又ハ個數
施設事項	又ハ個數	又ハ個數	又ハ個數	又ハ個數	又ハ個數
施設事項	又ハ個數	又ハ個數	又ハ個數	又ハ個數	又ハ個數
施設事項	又ハ個數	又ハ個數	又ハ個數	又ハ個數	又ハ個數
施設事項	又ハ個數	又ハ個數	又ハ個數	又ハ個數	又ハ個數
施設事項	又ハ個數	又ハ個數	又ハ個數	又ハ個數	又ハ個數
施設事項	又ハ個數	又ハ個數	又ハ個數	又ハ個數	又ハ個數
施設事項	又ハ個數	又ハ個數	又ハ個數	又ハ個數	又ハ個數
施設事項	又ハ個數	又ハ個數	又ハ個數	又ハ個數	又ハ個數

右之通施設致候條此段及御届候也

昭和九年十一月 日

工場名
工業主

警察署長 殿

第二款 警察署ヲシテ實施セシメタル事項

大演習並ニ地方行幸時ニ於ケル各警察署ニ於テ實施セシムル事項ニ關シテハ、七月二日付ヲ以テ警備ニ關スル大綱ヲ訓

達シ、地方ニ適合セル細部ノ取締計畫ヲ樹立セシメ、保安課ニ於ケル取締ト連絡ヲ嚴密ナラシメ取締ヲ實施セシメタルニ、警衛警備上些ノ過誤ナキヲ得タリ。

各警察署ヲシテ實施セシメタル概要ヲ舉グレハ左ノ如シ。

保親第三一號

各警察署長

陸軍特別大演習時ニ於ケル警備方ニ關スル件
今秋縣南地ニ於テ舉行セラルヘキ陸軍特別大演習時ニ於ケル警備方ニ就テハ別紙要綱ニ基キ嚴密取締ヲ執行シ警備上遺憾ナキヲ期セラ

昭和九年七月二日

栃木縣警察部長

取締要綱目次

- 1 水火災警防
- 2 交通取締
- 3 銃砲火藥類取締
- 4 精神病者視察取締
- 5 狩獵取締
- 6 諸營業者取締

1 水火災警防要領

- 一、警防區域
 - 第一區 足利郡、安蘇郡、(別ニ特別警戒區域ヲ設ク)下都賀郡、芳賀郡ノ内真岡警察署管内、河内郡ノ内上三川警察署管内
 - 第二區 第一區域ニ屬セサル全部
- 二、警防方法

- 1 機械器具検査
 - 消防組ノ唧筒其ノ他ノ機械器具ヲ點檢シ不備ノモノニ對シテハ相當措置シ運用上支障ナカラシムルコト
 - 2 火氣取扱場所ノ検査
 - 消防組員ト連絡ヲ採リ、竈、火焚場、風呂場其ノ他燃料置場等ノ検査ヲ爲シ不完全ナルモノハ相當改造又ハ修繕ヲ爲サシメ火災豫防上ノ注意ヲナサシムルコト
 - 3 消防組員ノ充實
 - 消防組ニシテ欠員アルモノハ之ヲ補充スル等其ノ充實ヲ圖リ活動上支障ナカラシムルコト
 - 4 第一區域ニ在リテハ自十一月九日各消防組ヲシテ各部毎ニ詰所ヲ設ケ適當ノ人員ヲ配置シテ晝夜巡察警戒セシムルコト
 - 5 第一區域ニ在リテハ唧筒其ノ他機械器具ハ詰所其ノ他適當ノ場所ニ配置シ有事ノ際迅速使用シ得ル標準備シ置カシムルコト
 - 6 軍隊宿營セル場合ニ於テハ特ニ人員ヲ増置シ警戒ノ周密ヲ期スルコト
- 特別警戒區域ノ設定並ニ勤務方法ニ付テハ別ニ定メ追テ達示ス
- 三、防火宣傳
- 消防組其ノ他各種團體ト協力シ民衆ノ防火思想ノ普及及涵養ヲ圖ルコト
- 2 交通取締要綱
 - 一、交通取締ノ勵行
 - 昭和九年一月二十六日付保發第一、四一一號通牒ニ基キ交通取締ヲ勵行シ民衆ノ交通訓練ニ努ムルコト
 - 二、交通宣傳ノ實行
 - 各種團體ト連絡ヲ保チ適當ノ方法ニ依リ民衆ノ交通道德ノ涵養ヲ圖ルコト
 - 三、演習關係地ニ於ケル特別取締

- 演習關係地(足利、佐野、栃木、小山、真岡、上三川警察署管内以下單ニ演習關係地ト稱ス)ニ在リテハ前各號ノ外左ノ各號ニ依リ設備ヲ要スルモノニ在リテハ十月末日マテニ夫々完了セシムルコト
- (1) 原野田圍其ノ他路傍等ニ於ケル廢井、野井戸、肥料壺等ヲ遺漏ナク調査シ危險ノ虞アルモノニ對シテハ其ノ周圍ニ抗ヲ立テ之ニ繩張ヲ爲シ夜間ニテモ認識シ得ル様白布類ヲ添付スル等危險ナキ様措置セシムルコト
 - (2) 軍隊ノ通過スヘキ滑道ニ於ケル家屋、塙壁、軒端、看板、物干、日除、軒燈其ノ他ノ物件ニシテ顛倒、墮落等危險ノ虞アルモノナキヲ調査シ危險ノ虞アルモノニ對シテハ撤去又ハ相當ノ防備ヲ施サシムルコト
 - (3) 軍隊ノ通過スヘキ滑道ニ於ケル廣告物看板其ノ他裝飾物等ニシテ交通上支障ヲ生スルノ虞アルモノナキヲ調査シ必要ニヨリ修理又ハ撤去セシムルコト
 - (4) 軍隊ノ通過スヘキ滑道ニ於ケル電線ハ各事業者ヲシテ其ノ架線中危險ヲ生スルノ虞アルモノナキヲ調査セシメ危險ノ虞アルモノニ對シテハ改修又ハ豫防ノ措置ヲ講セシムルコト
 - (5) 軍隊ノ通過スヘキ滑道ニ於テ竹木其ノ他ノ物件ヲ立テ置クモノハ強靱ナル繩索ヲ以テ之ヲ纏束シ又新炭其ノ他ノ物件ヲ堆積スルモノハ顛倒セサル様措置セシムルコト
 - (6) 軍隊ノ通過スヘキ道路橋梁等ニシテ破損其ノ他交通上支障ヲ生スル虞アル箇所アリタルトキハ速ニ管理者ニ通報スルコト
 - (7) 演習地域内ニ於テ道路ヲ經テ建物ヲ移シ又ハ道路ヲ堵塞スヘキ長大物件ノ運搬ハ演習期間中可成許可セサルコト

3 銃砲火藥類取締要綱

一、取締期間

第一期	自八月二十一日	至自八月三十一日
第二期	自九月十六日	至自九月三十日
第三期	自十一月五日	至自十一月十五日

- 二、取締従事員ニ對シ取締法令、取締要領等取締上必要ナル事項ヲ反覆訓授シ取締ノ徹底ヲ期スルコト
- 三、銃砲火藥類製造者、販賣者、貯藏所、消毒所各係員、所持者等ノ名簿ヲ整備シ且異動ノ整理ヲ嚴密勵行スルコト
- 四、銃砲火藥類所持者ニシテ所在不明及拳銃、短銃、仕込銃、仕込刀劍携帯許可者ノ名簿ヲ七月二十日現在ニ依リ別記様式ニ依リ調製シ其ノ寫ヲ七月三十一日マテニ警察部ニ報告スルコト爾後所在不明者ノ發見ニ努メ發見シタルトキ又ハ新ニ所在不明トナリタル者及携帶許可者ノ異動アリタルトキハ警察部ニ速報シ尙捜査ノ狀況ヲ時々報告スルコト（別記様式ハ省略セリ——編者附記）
- 五、盜難紛失其ノ他ノ事故發生シタルトキハ即時届出方彙メ使用者所持者ニ諭示警告シ置クコト
前項ノ届出アリタルトキハ警察部ニ速報スルコト
- 六、無届所持者ノ發見ニ努ムルタメ印刷物ヲ別途送付スヘキニ付受持巡查ヲシテ
自七月十日間ニ各戸ニ配布セシメ之カ届出ヲ勵行スルコト

第一期 取締

- 一、軍用銃砲、短銃、拳銃、仕込銃並同買包空砲、仕込刀劍其ノ他ノ變裝戎器等ノ所持者又ハ携帶許可者ニ對シテハ嚴密ナル視察取締ヲ勵行シ之カ盜難紛失等ノ事故防止ヲ期シ其ノ保管方法ニ就テハ特ニ注意スルコト
- 二、火藥類貯藏所
 - (1) 火藥類製造所及煙火製造所並火藥類貯藏所（規則第二十七條第二號ニ依ルモノヲ含ム）ニ對シテハ鎖鑰其ノ他建造物ニシテ破損ノ箇所ナキヲ精密調査テ途々危険又ハ盜難豫防上不備ノ點ニ對シテハ即時改修セシメ構造設備ノ完備ヲ期スルコト
 - (2) 細則第四十一條、第四十二條ノ規定ニ依リ貯藏火藥類變敗ノ狀態ニ注意スルコト
 - (3) 帳簿貯藏現品トナシ其ノ出納狀況ヲ監督シ正確ヲ期スルコト
- 三、火藥類所持者
 - 乙種狩獵免許者、威銃許可者其ノ他少量火藥消費者等ノ所持セル火藥類ノ種類數量ヲ調査シ安全確實ナル保管方法ヲ講セシムル（狩獵期間外使用許可者等ノ殘存火藥ハ可成取纏メ最寄ノ貯藏所ニ保管ヲ委託セシムルコト）コト

四、火藥類消費者及消費場所

- (1) 鑛山、工事場等ニシテ火藥類ヲ消費スル者ニ對シテハ火藥類讓受許可者ト火藥類使用従事者間ニ於ケル火藥類ノ授受並ニ其ノ受扱狀況ニ嚴密ナル注意ヲ拂ヒ火藥係員ヲシテ火藥類使用ノ現場ニ就キ其ノ使用狀況ヲ監督セシメ尙時宜ニ依リ坑夫ノ居室臨檢、身体檢査等ヲ爲シ不正授受隱匿等ノ餘地ナカラシムルニ努ムルコト
- (2) 火藥係、火藥類直接取扱者ノ届出ヲ勵行セシメ其ノ性行（特ニ取扱手續第十六條第四號第五號ノ事項）前科ノ有無等ヲ精密調査シ他ノ者ヲシテ使用セシムルカ如キコトナキヲ留意スルコト
- 五、銃砲火藥類販賣業者
 - 銃砲火藥類販賣業者ニ對シテハ銃砲火藥類讓受許可證又ハ火藥類讓受證ト帳簿トヲ對照シ尙帳簿面現在高ト現品數量トヲ照合スル等讓受渡ノ實況ヲ精密監査スルコト
- 六、銃砲製造並修繕業者
 - 銃砲製造並修繕業者ニ對シテハ製造高又ハ修繕高ヲ調査シ現在品ト帳簿面トヲ對照シテ出納狀況ヲ監査シ現在品ニ就テハ安全ナル保管方法ヲ講セシムルコト
- 七、仕込刀劍並變裝戎器製造販賣業者
 - 仕込刀劍並變裝戎器製造、販賣業者ニ對シテハ取引ノ狀況及保管方法ニ就キ嚴密視察取締ヲ勵行スルコト
- 八、短刀、匕首其ノ他類似ノ戎器製造、販賣業者
 - 前號ニ準シ視察取締ヲ爲シ尙古物商ニ對シテモ之等戎器ノ取引ニ就キ特ニ視察ヲ勵行スルコト
- 九、爆發質物品及其ノ原料トナルヘキ藥品
 - 藥種商其ノ他ノ者ノ販賣スル爆發質物品又ハ其ノ原料トナルヘキ左記藥品ノ讓受渡ノ實況ニ關シ周密ナル視察ヲ爲スコト

(左記ハ省略セリ—編者附記)

第二期取締

(第一期ニ同シ)

第三期取締

第一期取締ノ外

一、火薬類貯蔵所

火薬類貯蔵所ニ對シテハ大正十一年二月保收第九一三號火薬類貯蔵所警戒警備ニ關スル件通牒(保安類典八八頁參照)ニ依リ至十一月二十日ノ間巡回看守ノ周密ヲ期セシムルコト

警察官ハ右期間中三日ニ一回以上臨檢視察ヲ爲シ前記巡視及看守ノ確否ヲ監督スルコト

二、銃砲仕込刀劍其ノ他變裝武器

銃砲仕込刀劍其ノ他變裝武器所持者ニ對シテハ一層視察ヲ周密ニシ其ノ保管方法ニ留意セシメ封印ヲ爲シ(本年狩獵ニ於テ乙種狩獵免狀ヲ受ケタル者ヲ除ク)安全ナル場所ニ保管セシメ不法ニ授受、運搬携帯シ或ハ盜難、紛失ヲ發生セシメサルコト

三、自十一月一日間銃砲火薬類、仕込刀劍其ノ他ノ變裝武器授受運搬携帯ハ之ヲ許可セサルコト但シ販賣業者、火薬類消費者等ニシテ事情已ムテ得サル場合ハ此ノ限ニ在ラス

四、煙火打揚

演習關係地ニ於テハ自十一月九日間煙火打揚ハ之ヲ許可セサルコト

4 精神病者取締要綱

一、臺帳ノ整理

八月二十日マテニ管内ニ於ケル精神病者ノ視察取締ヲ執行シ所在不明者ニ對シテハ同日現在ニ於ケル之レカ名簿ヲ調製シ其ノ寫ヲ警

察部ニ送付シ所在ノ發見ニ努ムルコト

二、監護義務者ニ對スル監護ノ督促

監護義務者ニ對シテ精神病者ヲシテ溢リニ外出セシメサル様監視方奮勵スルコト

三、視察取締ノ勵行

演習關係地ニ在リテハ別記要領ニ依リ左記ノ通り視察取締ヲ勵行スルコト

第一期	自八月十一日	至八月二十日
第二期	自九月六日	至九月十日
第三期	自十一月五日	至十一月十日

前項以外ノ各署ニ在リテハ規定ノ視察回数ヲ勵行スルコト

四、非監置精神病者ニシテ監置ノ必要アルモノハ演習期日前ニ監置ヲ爲サシムルノ方法ヲ講セシムルコト

五、監置ヲ廢止シタル精神病者並ニ外出ノ癖アル病者ニ對シテハ演習期間中外出セシメサル様特ニ看護義務者ニ注意シ請書ヲ徴スルコト

5 狩獵威銃取締要綱

一、出願者ノ性行調査

乙種狩獵免許、威銃使用出願者ニ對シテハ精密其ノ性行ヲ調査シ左記各號ノ一ニ該當スト認ムルトキハ免許許可ヲ爲ササルコト

(1) 精神ニ異常アル者

(3) 危險思想ヲ抱持スル者

(2) 自動粗暴過激ニ亘ル者

(4) 管内ニ現住セサル者

二、火薬類ノ保管
演習ハ狩獵期間内ニ於テ行ハルルヲ以テ乙種狩獵免許者ニ對シテハ其ノ所持スル火薬類ノ保管方法ニ關シ嚴重注意ヲ與ヘ盜難紛失其ノ他散逸セサラシメ尙視察ヲ勵行スルコト

三、殘存火藥ノ處置

前年度狩獵免許ヲ受ケ本年免許ヲ受ケサル者及威銃使用ノ許可ヲ受ケ使用期ヲ經過シタル者ノ所持スル殘存火藥ハ其ノ量目ヲ調査シ之ヲ取纏メ火藥庫火藥倉庫ニ保管ヲ託スルコト

四、乙種狩獵免許ノ際銃獵禁止期間區域及免許者トシテ遵守事項ヲ印刷配付ノ見込ニ付キ之ノ徹底ヲ期シ違反ナカラシムルコト

五、演習關係地ニ在リテハ演習期間中威銃ノ使用ハ之ヲ許可セサルコト

6 諸營業 取締要綱

一、自動車營業

(1) 規定ニ適合セス若ハ破損又ハ体裁見苦シキ車蓋ハ廢車又ハ改善ヲ爲サシムルコト

(2) 乗合自動車營業者ニ對シテハ營業所並駐車場ニ營業路線、發着時間又ハ運行間隔、賃金表ヲ表示セシムルコト

(3) 乗合並貸切ニ使用スヘキ自動車ニハ其ノ區別ヲ尙乗合ニ在リテハ行先地ヲ表示セシムルコト

二、宿屋、料理屋、貸座敷、飲食店、湯屋營業其ノ他

(1) 防火設備ヲ調査シ不完全ナルモノニ對シテハ改築又ハ修繕ヲ爲サシムルコト

(2) 消火器ハ演習開始前藥品ノ入替ヲ爲シ且家人ニ其ノ使用方法ヲ會得セシムルコト

(3) 盜難豫防上不完全ト認メラルモノハ適當ノ改修又ハ設備ヲ爲サシムルコト

(4) 飲食料金ヲ統一セシメ之ヲ表示セシムルコト

(5) 雇人ノ届出ヲ勵行セシメ(演習間際臨時ニ雇入ルヘキモノニ在リテハ可成事前ニ決定セシメ)身元調査ヲ速ニシ容疑者ニ對シテハ解雇セシムルコト

三、前項(2)(4)(5)號ハ主トシテ演習關係地ニ於ケル取締事項トス

銃砲火藥類無届所持者ヘ

次ノ様ナ品物ヲ所持スルトキハ所轄警察署ヘ届出ルコトニナツテ居リマスノテ毎年御注意申上ケテ居リマスガ未ダ届出シテオラヌ方ガアル様デアリマス届出ノシテナイ方ハ下ノ所持届ニ必要ナル事項ヲ記入ノ上本年七月三十日迄ニ所轄警察署又ハ最寄駐在所ヘ御届下サイ右期日迄ニ届出ヲ忘リ後日發覺シタル時ハ處罰セラレマス

昭和九年七月

栃木縣警察部

一、軍 用 銃

二、拳 銃

三、短 銃

四、仕 込 銃

五、青年訓練所等ニ用フル教練銃

六、獵 銃

七、獵銃ノ取締ヲ受ケヘキ空氣銃

八、仕 込 刀 劍

九、獵銃用殘火藥

十、威銃用殘火藥

十一、煙火打揚用殘火藥(煙火製造販賣業者ヲ除ク)

十二、工事若ハ工業用殘火藥

署別	軍用銃	非軍用銃	短銃	軍用仕込銃	教練銃	獵銃	銃	空氣銃	砲	仕込刀劍	計
喜連川	1	4			1	1	1	1		5	34
矢板					77					1	91
足尾					22					10	72
日光	2	5						4		1	30
鹿沼		1						4		2	160
足利	1	2			140			4		3	168
佐野								2		1	158
小幡								5		3	158
上三川											37
宇都宮	4	13								7	37
計											

六三九

(一) 銃砲

第一期銃砲火藥類一齊取締ニ於ケル銃砲或器不法所持者發見數

警察署長

殿

(住所) (氏名)

右所持致居候間此段及御届候也
昭和九年七月 日

區分	銃	數	器	實	包	空	量	包
軍用銃			挺					
拳銃			挺					
短銃			挺					
仕込銃			挺					
青年訓練所等ノ教練銃			挺					
獵銃			挺					
獵銃ノ取締ヲ受クヘキ空氣銃					個			
仕込刀劍								
狩獵用殘火藥								
威銃用殘火藥								
煙火打揚用殘火藥								
工事若ハ工業用殘火藥								

所持屆

六三八

右者ヨリ十一月十日ヨリ十一月十六日マテノ間ニ於テ行幸ノ際ニ於ケル御行動ヲ謹寫セルモノ及ヒ陸軍特別大演習ノ狀況ヲ映寫セル活動寫眞「フィルム」ノ檢閲方出願アリタル場合ハ別記檢閲上ノ注意事項ヲ留意シ左記ニ依リ檢閲セラルヘシ

昭和九年十一月七日

栃木縣警察部長

記

- 一、豫メ巡查部長以上ノ者ヨリ検査主任者ヲ定メ置クコト
- 二、檢閲ノ上支障ナシト認メタルモノニ對スル檢閲官廳ノ檢印（説明書本ニ檢印シ「フィルム」ノ檢印ハ省略スルコト）ハ同封ノ別紙ヲ使用シ説明書本毎葉ノ契印ハ便宜警察署印ヲ押捺スルコト
檢印下付ノ際ハ別紙ニ
全一卷 何米 又ハ全何卷ノ内第何卷何米
ト記載スルコト
- 三、縣印ヲ押捺セル用紙不要トナリタルトキハ返戻スルコト
- 四、地方憲兵隊長ニハ當部ヨリ立會方通報濟
- 五、檢閲ノ際映寫設備ハ出願者ニ於テ爲サシムルコトニ當部ヨリ示達ス
（檢閲上ノ注意事項ハ省略セリ——編者附記）

大演習並地方行幸實寫「フィルム」檢閲成績

出願人	題名	卷數	米數	出願人	題名	卷數	米數
東京日々新聞社	大元帥陛下 前橋行幸	一	三〇〇	東京日々新聞社	陸軍特別大演習 觀兵式	一	三〇〇
同	陸軍特別大演習 第一報	一	三〇〇	同	聖上陛下地方行幸 第一報	一	三〇〇
同	同 第二報	一	三〇〇	同	同 第二報	一	三〇〇
同	同 第三報	一	三〇〇	計		七二	一〇〇〇

第六節 特別警防隊及交通補助員

1 沿道附近警備要綱

- 一、沿道附近ノ警備ニ任スル爲「特別警防隊」ヲ設置ス
- 二、「特別警防隊」ハ消防組員ヲ以テ組織シ保安係長之ヲ指揮ス
關係地各消防組頭ハ保安係長ヲ補佐シ其ノ所轄内ヲ擔當スル警防隊員ヲ監督ス
- 三、警備區域並詰所設置箇所

詰所設置箇所	町村名	詰所設置箇所	町村名	詰所設置箇所	町村名
同上警備區域	高砂町	同上警備區域	金吹町	同上警備區域	堀米町
同上	伊賀町	同上	特設警備所	同上	役場附近
同上	大戸町	同上	淺沼	同上	植野村
同上	佐野町	同上	上	同上	田島
					同
					上

界村	高越馬高飯伊大	蔭名門山田內屋	同	上	吾妻村	富田村	旗川村
第一	第二	部部	上	同	同	同	同
上	上	上	上	上	上	上	上
菱村	三重村	山邊村	足利市	同	同	同	同
黒川	今福	田假八宿幡	第三部	第四部	第五部	第三部	第四部
同	同	同	同	同	同	同	同
上	上	上	上	上	上	上	上

六四四

四、警備期間

十一月九日 自午後六時 至午前六時
 十一月十日 自午後六時 至午前六時
 十一月十一日 自午前六時 至午後二時

五、配置人員

詰所一箇所ニ付

小頭一名、消防手九名

六、配置器具

唧筒一臺 其ノ他附屬器具
 傳令用自轉車 一輛

七、勤務方法

提灯 若干

イ、巡邏線路ヲ定メ二時間毎ニ巡邏警戒スルコト

ロ、出火通報及相互連絡係ヲ定メ置クコト

十一月十一日ハ左記ニ依ルコト

ハ、出火出場ハ受持警戒區域内ノミニ限リ受持區域外ニハ出場セサルモノトス、但シ特別ノ指揮アル場合ハ此ノ限ニアラス

ニ、出場ニ際シテハ可成サイレン其ノ他警報器ヲ使用セサルコト

ホ、火災ヲ発見スルモ保安係長ヨリ特命ナキ限リ警鐘ヲ打鳴セサルコト

特別警戒隊員服務心得

第一條 特別警戒隊員ハ本心得ニ據リ勤務スヘシ

第二條 警戒隊員ハ光榮アル任務ト重大ナル職責トヲ自覺シ至誠以テ其ノ任ニ當リ全力ヲ竭シテ火災警防ニ努ムヘシ

第三條 警戒隊員ハ紀律ヲ嚴守シ凡テ指揮者ノ命令ニ依テ活動シ輕率盲動ノ所爲アルヘカラス

第四條 警戒隊員ハ指定ノ詰所ニ集合シ指示セラレタル區域内ヲ警戒スルモノトス

小頭ハ部下隊員ヲ指揮監督ス

第五條 警備期間中ハ何時ニテモ出動シ得ル準備アルヲ要ス

第六條 勤務中ハ制規ノ服裝ヲ爲シ且ツ左腕ニ所定ノ腕章ヲ附スヘシ

第七條 勤務中ハ左ノ事項ヲ遵守スヘシ

一、和衷協同ヲ旨トシ各自耳目ヲ敏活ニシ周到ナル注意ヲ以テ火災ノ防止ニ努ムルコト

二、勤務中ハ喧嘩又ハ不体裁ノ行爲ハ勿論飲酒若クハ濫リニ人家ニ立寄雜談等ヲ爲ササルコト

三、勤務中ハ監督者ノ許可ナクテ詰所ヲ離レサルコト

第八條 火災ニ際シテ左ノ事項ニ注意スヘシ

六四五

- 一、消防活動ニ從事スルトキハ敏速靜肅ヲ旨トスルコト
- 二、巡邏中火災ヲ發見シタルトキハ電話其ノ他便宜ノ方法ニ依リ敏速詰所ニ急報シ鎮壓ノ方法ヲ講スルコト
- 三、出火ニシテ受持區域外ノ場合ハ特ニ應援出場ノ命ナキ限り出動セサルコト(十一月十一日ニ限ル)

2 特別警防隊並交通補助員選任

沿道附近警備要綱ニヨリ特別警防隊ヲ組織スルト共ニ、交通禁止地帯ニ於ケル警察官補助員ヲ專任スルコト、ナリタル關係上左記ニ依リ所轄警察署長ニ命ジ人選セシメタリ。

演保第一四號

佐野、足利、栃木、小山各署長

特別警防隊員及交通補助員選定方ノ件

陸軍特別大演習時ニ於テ特別警防區域内ニ於ケル火災警防ニ當ルヘキ特別警防隊員及車馬交通遮斷ヲ行フ場所ニ於テ交通取締ノ補助ニ從事スヘキ交通補助員ハ消防組員中ヨリ選任致度ニ付左記ニ依リ別表所要人員ヲ各所屬組員中ヨリ思想堅實、身体強壯ナル者選拔ノ上其ノ職氏名ヲ本月末日マテニ報告セラルヘシ

昭和九年八月十日

栃木縣警察部長

記

- 一、所屬組頭ト協議ヲ遂クルコト
- 二、特別警防設置地ニ於ケル正副組頭ハ之カ監督ニ當ルモノナルヲ以テ除クコト
- 三、特別警防隊員ハ十名ノ内一名ハ小頭(部長タル小頭ヲ含ム)トスルコト
- 四、交通補助員ハ小頭、消防手何レニテモ可ナルモ可成備考欄記載ノ者ヲ選任ノコト

- 五、特別警防隊員ハ勤務數日ニ亘ルモ期間中同一人ヲ以テ終始セシムルニ付途中ニ於テ交替スルコトナキ様此ノ點豫メ特ニ注意シ置クコト
- 六、特別警防隊員(關係地正副組頭ヲ含ム)及交通補助員ニハ辭令、記念章ヲ交付シ尙勤務當日ハ辨當料ヲ支給ス

保安係補助員選任表

所屬署	消防組	人員		備考
		特別警防隊員	交通補助員	
小山	野小	一〇	一六	小學校附近及朱雀町
栃木	藤水 瑞	五〇	四〇	四市小 四小羽田
	岡代 穂	四〇	四〇	四市小 四小羽田
	新開橋	四〇	四〇	四市小 四小羽田
	四水代	四〇	四〇	四市小 四小羽田
	四川連	四〇	四〇	四市小 四小羽田
	四須賀町	四〇	四〇	四市小 四小羽田
	四松原	四〇	四〇	四市小 四小羽田
計		三三〇	七八	四〇八
	足利	五〇	六	五六伊勢町
	毛野		四	四岩井
	御野		四	四八木
	筑波		四	四羽刈
	久野		四	四下日向
	吾妻		一四	一四高橋
	富田		三〇	三〇
	山田		三〇	三〇
	菱邊		一〇	一〇

外ニ堀米、犬伏、旗川、植野、界、佐野、足利、吾妻、富田、山邊、菱ノ各正副組頭二十二名

交通補助員心得

- 第一條 交通補助員ハ保安係交通班ニ屬シ保安係長其ノ他交通係員ノ指揮ニ從ヒ交通遮斷及交通整理ニ關スル補助ヲ爲スモノトス
- 第二條 交通補助員ハ其ノ任務ト職責ノ重大ナルヲ自覺シ至誠以テ任務ノ遂行ヲ期スヘシ
- 第三條 交通補助員ノ服裝ハ左ノ各號ニ依ルヘシ
 - 一、總テ制服トシ短靴(編上深護謨ヲ含ム)
 - 二、勤務中ハ物品ヲ携帯セサルコト
 - 三、降雨ノ際ハ適當ナル雨具ヲ用フルコト
 - 四、交通補助員タル胸章ハ左腕ニ附スルコト
- 第四條 交通補助員ハ左ノ事項ヲ遵守スヘシ
 - 一、獨斷越權ノ行爲ハ嚴ニ之ヲ慎ミ總テ關係警察官ノ指揮ニ從フコト
 - 二、互ニ他ノ係員ト連絡協調ノ保持ニ努ムルコト
 - 三、公衆ニ對シテハ努メテ親切丁寧ヲ旨トシ苟モ威權ヲ弄シ反感ヲ招クカキコトナキコト
 - 四、警衛上及軍ノ行動ニ關スル事項ハ警察官ニ報告スルノ外他ニ漏洩セサルコト
- 第五條 交通ノ整理ハ左ニ依ルヘシ
 - 一、交通遮斷線ニ配置セラレタル者ハ通行者ニ對シ迂回路ヲ示シテ之ヲ誘導シ一所ニ佇立停滯セシメサル様努ムルコト
 - 二、宮内省軍部其ノ他別ニ定ムル標識ヲ附スルモノ並郵便集配人及郵便車又ハ消防車ニ對シテハ警衛警備上支障ナキ限り通行ヲ妨ケザルコト
 - 三、一般交通ノ整理ハ道路ノ中央適切ナル箇所ニ佇立シ其ノ整理ハ簡明的確ナル方法ニ依ルコト
 - 四、前項以外ノ事項ハ所屬係員ノ指示ニ從フコト

第六條 任務終了シタルトキハ保安係長ノ指揮ニ從ヒ所定ノ場所ニ集合シ命令ヲ俟ツテ解散スヘシ

3 特別警戒隊員並交通補助員囑託辭令交付並實地指導

關係警察署長ノ上申ニヨリ左記ノ通囑託辭令交付式ヲ行ヒタル後、別記ノ如キ警察部長訓示ヲナシ、引續キ配置位置現地ニ付實施指導ヲ行ヒタリ。

記

一、日時場所

日	時	場	所	召	集	區	域	備	考
十月二十四日		佐野商業學校		佐野町、堀米町、大伏町、田沼町					
十月二十二日		足利市小學校		赤見村、旗川村、界村、植野村、足利市、久野村、筑波村、御厨町、毛野村、山邊村、菱村、吾妻村、富田村					
十月二十一日		小山警察署		小山町、野木村					
十月二十一日		栃木警察署		瑞穂村、水代村、藤岡町					

前記召集區域内ノ交通補助員特別警戒隊員及特別警戒隊區域ヲ管理スル消防組頭ヲ召集ス。

二、囑託辭令書式

1 交通補助員第一號樣式

2 特別警戒隊員第二號樣式

三、警察部長訓示

六五〇

本日茲ニ各位ノ會同ヲ求メマシタ次第ハ、九千万國民ガ滿腔ノ赤誠ヲ以テ尊崇敬慕シ奉ル 天皇陛下ニハ、此ノ兩野ヲ中心トシテ舉行セラルル陸軍特別大演習ヲ御統監遊バサレ、引續キ地方事情御視察ノ御思召ヲ以テ足利市ニ行幸在ラセラル旨御治定相成リマシタノデアリマス。就キマシテハ大演習當時ニ於ケル警衛警備上ニ關シマシテハ、平素私共ノ最モ信賴シテ居リマス消防組各位ノ絶大ナル助力ニ俟ツベキモノガ尠クナイノデアリマス。

御警衛ニ付キマシテハ既ニ計畫ヲ樹立シマシテ消防組員中ヨリ千貳百餘名ノ方々ニ警衛ノ補助員トシテ勤務ニ服シテ戴クベク囑託シ、去ル十二日佐野商業學校ニ御集ヲ煩ハシマシテ夫々詳細ニ説明申上ゲ御了解ヲ願ヒマシタ次第デアリマスカラ、本日ハ警衛補助員トハ別箇ノ勤務、即チ御警衛ノ万全ト併テ軍隊ノ圓滿ナル行動ヲ期セムガ爲ノ交通取締ニ服シテ戴クベク、交通補助員並警衛上最モ緊要ナル區域ニ特別警防隊ナルモノヲ組織シマシテ、警衛中ニ於ケル靜謐保持ノタメノ警戒勤務ニ當ル所ノ特別警防隊員トナツテ活動ヲ願フ方々ニ對シマシテ之ガ囑託ノ辭令ヲ交付シ、尙服務上ノ御注意ヲ申上ゲルコト、尙大演習終了後地方行幸ノ御砌公設消防組ノ御親臨ヲ仰グ光榮ニ浴スベキ受閱者各位ニ、受閱上ノ注意並豫行演習ヲ致スベク御集ヲ願ツタノデアリマス。

扱テ今回ノ大演習ハ其ノ參加部隊及演習ノ内容等ニ於テ大規模デアリ、又關係地域モ極メテ廣イ範圍ニ亘ル模様デアリマシテ、軍部ニ於テハ其ノ結果ニ對シテ非常ナル期待ヲ有シテ居ルノデアリマス。

此ノ廣汎ナル演習地帯ノ警衛ノ完璧ヲ期シ、且軍ノ行動ヲ圓滿ナラシメ、演習ノ妨害ヲ除去スルコトニ付キマシテハ慎重考慮致シタノデアリマスガ、數ニ限リアル本縣警察官ノミニテハ滿全ヲ期スルコトハ至難ナノデアリマシテ、相

當多數ノ應援ヲ他府縣ヨリ求メネバナラスノデアリマスガ、色々ト考ヘマシタ結果應援警察官ニ頼ルコトナク、本縣警察官ノ全勢力ヲ之ニ注グコトハ勿論デアリマスガ、平素警察ノ補助的立場ニ於テ熱誠ヲ以テ犧牲奉公ノ實ヲ舉ゲ、且規律訓練ニ於テ他ノ各種團體ニ冠タルノミナラズ、演習地ノ地理人情ニモ良ク通曉シテ居リマス消防組員各位ノ熱心ナル協力ヲ得マシナラバ、此ノ大任モ無事終了シ得ルコトト確信致シタノデアリマス。

コノ確信ノ下ニ生レマシタ今日ノ計畫ハ、未ダ嘗テ其ノ例ヲ見ナイノデアリマシテ、此ノ結果ニ付キマシテハ關係方面ヨリ多大ノ關心ヲ以テ之ヲ眺メラレテ居ルモノデアリマス。從ツテ只今辭令ヲ御受ケニナラレタ方々ハ、所謂衆人環視ノ裡ニ此ノ大任ヲ遂行スルノデアリマスカラ、其ノ任務ノ重大ナルコトニ思フ致サレタイノデアリマス。

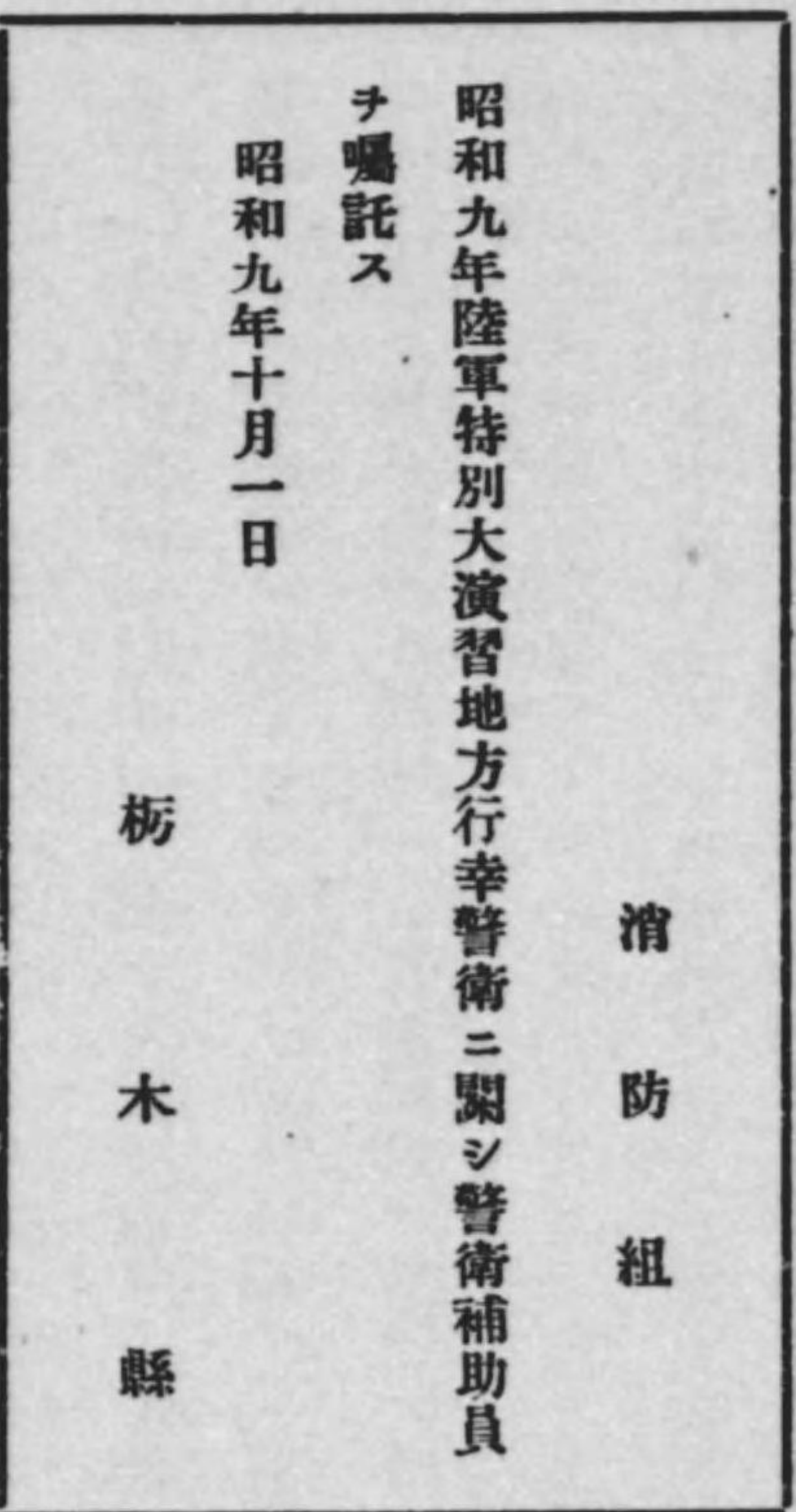
今回多數ノ消防組員ニ色々ノ任務ヲ御願ヒ致シマシタガ、其ノ勤務ハ一様デナク、亦部隊ニヨリマシテ相當遠隔ノ地ニ配置セラレマシテ、甲乙ノアリマスコトハ己ムヲ得ナイノデアリマス。此ノ點特ニ御了解ヲ願ツテ置キマス。

各位ハ多數ノ消防組員中ヨリ選バレテ光輝アル任務ニ服サレルノデアリマスカラ、嚴格ナル規律ト整然タル統制ヲ維持セラレ、警察官ノ指示ニヨリ、之レト圓滿ナル協調連絡ヲ遂グルト共ニ、一面民衆ニ對シテハ言動ニ付キ特ニ慎重ナル注意ヲ拂ハルルト同時ニ、充分健康ニ留意セラレテ、些ノ遺算ナク此ノ大任ノ終了ヲ得マシル様全幅ノ御努力ヲ切望致ス次第デアリマス。

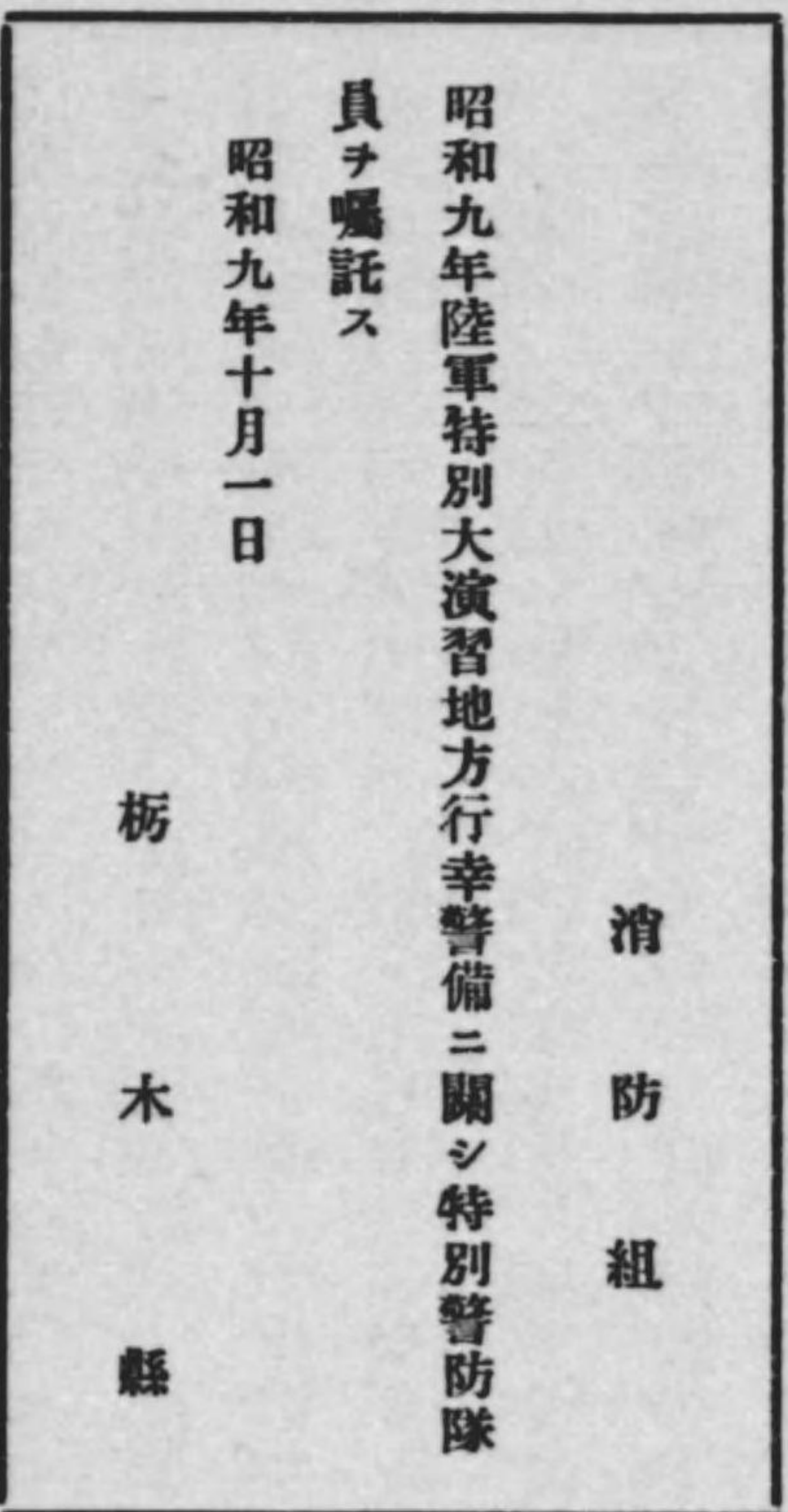
(中略)

以上申上ゲタ所ハ交通補助員、特別警防隊員ノ各位ニハ光榮アル任務ト重大ナル職責トヲ自覺セラレテ、至誠ヲ以テ任務ノ遂行ニ全力ヲ竭サレムコトヲ御願シ本日ノ挨拶ト致シマス。

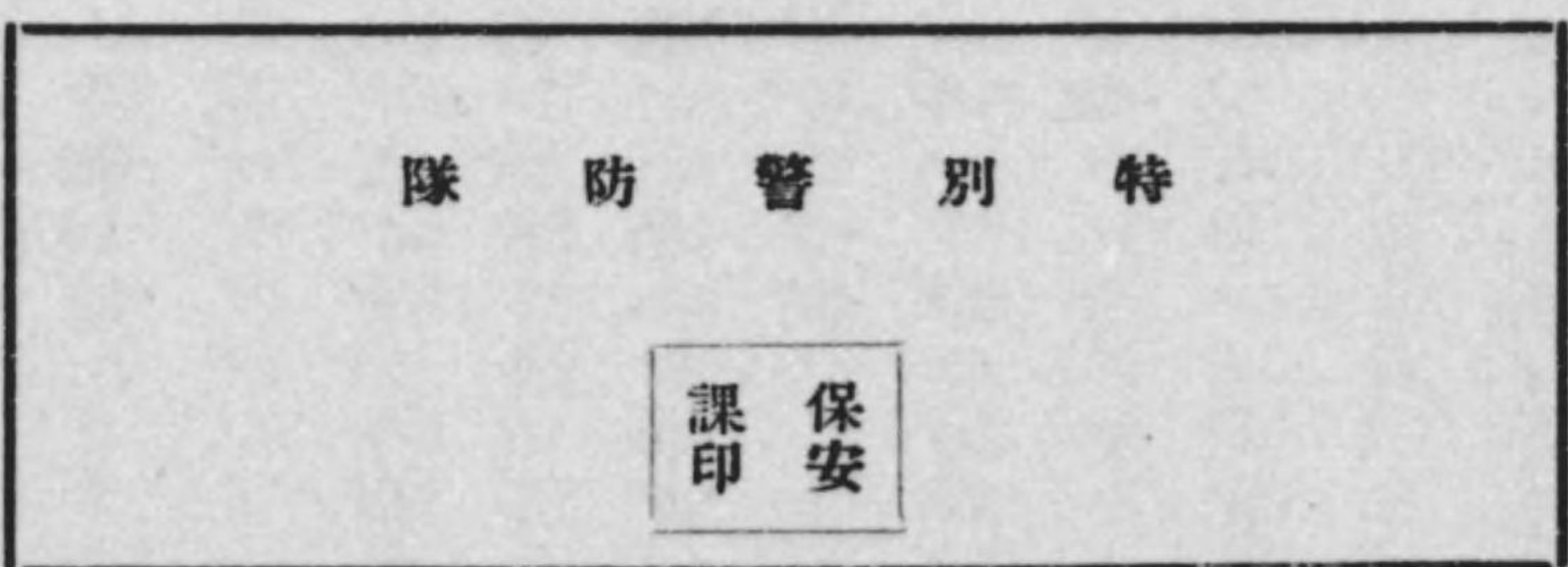
(第一號樣式)



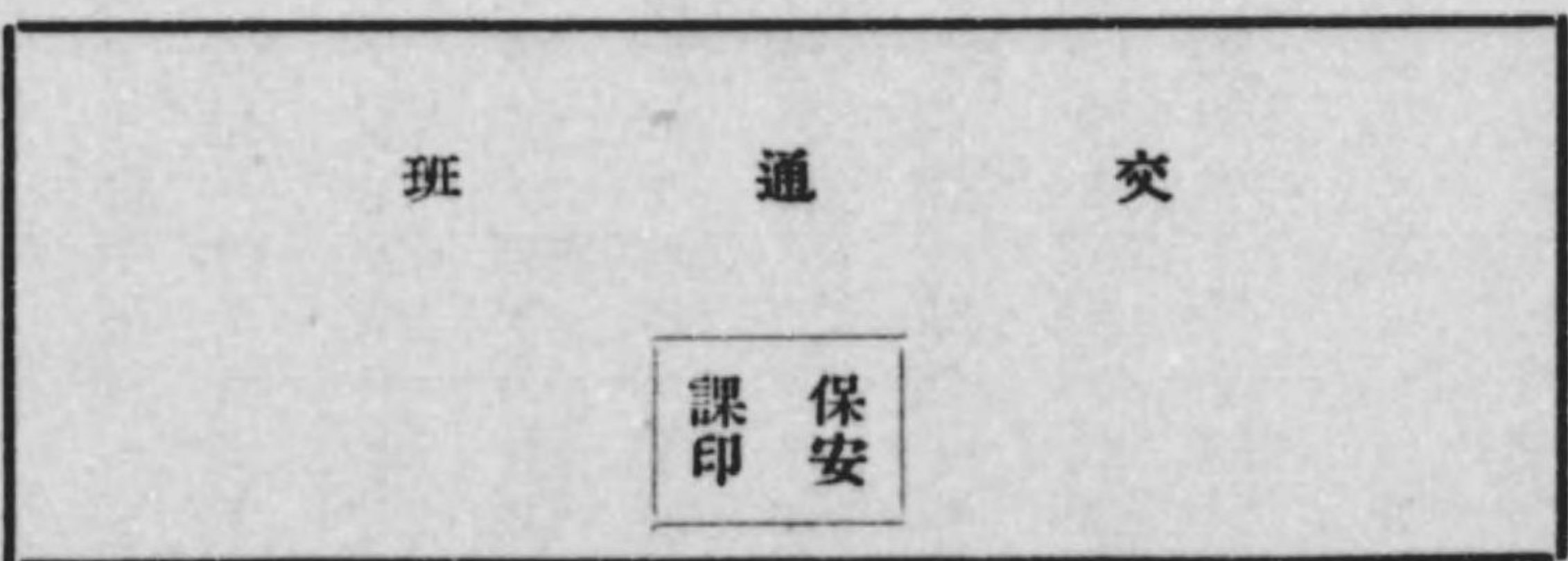
(第二號樣式)



特別警防隊並交通班腕章



白地ニ
赤文字



白地ニ
綠文字

大サ
巾
長 一尺五寸 三寸

第七節 地方警備

陸軍特別大演習並地方行幸ノ際警備ノ爲縣下警察官ノ大部分ハ關係地ニ集中セラレ、從ツテ其ノ他地方ハ警察力稀薄トナリ治安保持上特ニ考慮ヲ要スベキモノ有リタルヲ以テ、消防組員ノ一部ヲシテ所轄警察署長又ハ其ノ代理者ノ指揮下ニ屬セシメ、其ノ管内ノ警戒ニ當ラシムルコト、シ、別紙計畫ヲ樹テ所轄警察署長ヲシテ人選セシメ警備ニ當ランメタリ。

地方警備計畫

一、地方警備員トシテ助力ヲ求ムル團體各消防組
二、所要人員

イ、一駐在所(駐在所數三一九)毎ニ五名

但シ瑞穂、富山、靜和、岩舟、水代、穗積、三鴨、藤岡、梁田、毛野、旗川、赤見ノ各町村ハ大演習當日ニ限り外ニ二十四名

此ノ合計 一、七六三名

ロ、警察署所在地 一〇名

此ノ合計 一七〇名

ハ、正副消防組頭 三〇〇名

合計 二、二三三名

三、勤務方法

イ、駐在所チ單位トスルモノハ一名ハ駐在所ニ在リテ電話其ノ他ノ連絡ニ當リ残り殘ル四名ハ二名一組トナシ樞要地區内チ巡邏シ火災並盜

難ノ警戒ニ當ルコト

ロ、二ノイ號但書ノ各町村ノ十四名ハ大演習當日二名チ一組トシテ軍ノ行動ニ支障ナカラシムルタメ雜踏取締及演習拜觀者ノ誘導ニ當

ルコト其ノ方法ハ十一月十一日午前四時ヨリ午後二時マテノ間主トシテ其ノ町村ノ幹線道路ニ定置又ハ移動シ道路上ニ群衆ヲ佇立セシメ或ハ佐野町方面ニ移動集中ヲ防止スルコト

ハ、署在地ニアリテハ四名ヲ署内ニ待機セシメ残ル六名ハ二名一組トシテ市内ヲ巡邏シ火災並盜難ノ警戒ニ當ルコト

ニ、勤務期間ハ大演習當時並地方行幸ノ際警察官召集ノ時ヨリ歸任マテトス

ホ、正副組頭ハ之レカ監督ニ任スルモノトス

三、待遇方法

終了後警察部長名ノ感謝狀ニ記念章ヲ添へ各人ニ贈ル但シ警衛補助員又ハ特別警防隊員ニ囑託セラレタルモノニハ交付セス

四、人選方法

イ、志操健實ニシテ勤務期間中一貫シテ勤務ニ堪ユル者

ロ、期間中同一人ヲ以テ終始シ途中ニ於テ他ノ者ト交代セシメザルコト

五、其ノ他

イ、勤務ニ服スルモノニ對シテハ出勤手當ヲ給與セラレル様市町村長ト協議スルコト

ロ、人選決定シタルトキハ市町村別ニ其ノ數ヲ當部ヘ報告ノコト

地方警備隊員調

警察署名	地方警備隊員	正副組頭	備	考
宇都宮署	一九二	二八		
上三川署	五〇	一〇		
栃木署	三九六	四二		
警察署名	地方警備隊員	正副組頭	備	考
小山署	九五	一九		
佐野署	一五八	一八		内七名ハ特別警防隊監督ニ當リシ者ヲ含ム
足利署	一六三	三二		内一名十同上

鹿沼署	一三五	三〇			黒磯署	七〇	一一		
日光署	一〇九	一八			川西署	六〇	一〇		
足尾署	六〇	二			烏山署	一三一	二一		
矢板署	八〇	一四			眞岡署	一四八	二六		
喜連川署	六七	一一			茂木署	七五	一四		
大田原署	六三	一五			計	二、〇五二	三二一		

地方警備員ニ對スル感謝狀交付

陸軍特別大演習並地方行幸ニ際シ地方警備隊員トシテ勤務シタル消防組員ニ對シ、左記記念章並感謝狀ヲ交付シタリ。

記

感謝狀

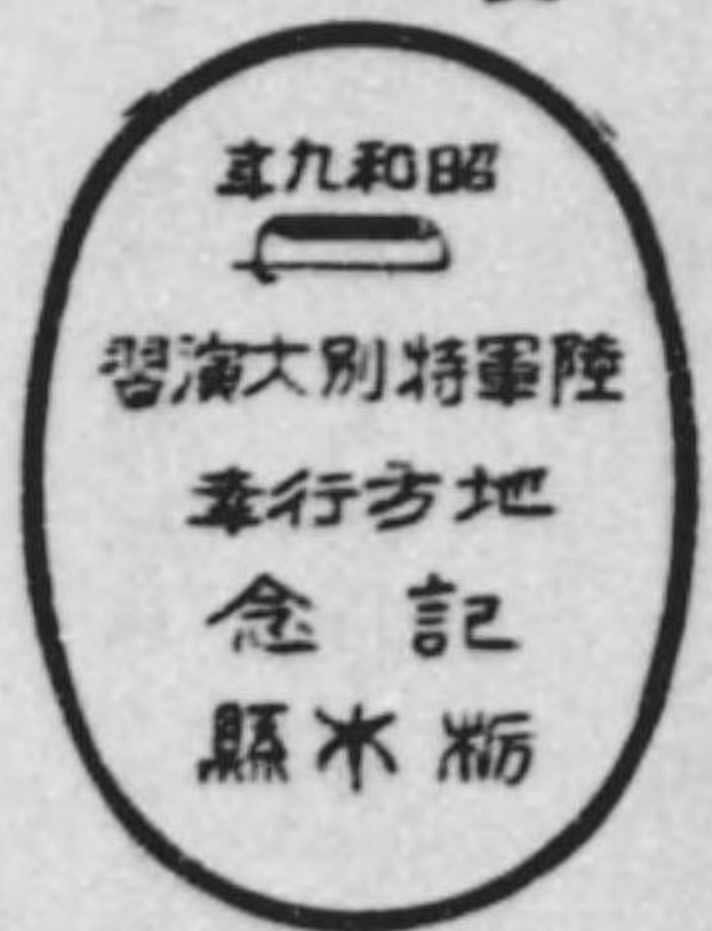
消防組名

職名 氏名

昭和九年十一月舉行セラレタル陸軍特別大演習並地方行幸ニ際シ地方警備隊員トシテ郷間ノ靜謐保持ニ盡力シタル功績尠カラス仍テ茲ニ感謝ノ意ヲ表ス

昭和九年十一月三十日

栃木縣警察部長 内藤 三郎



第八節 昭和九年陸軍特別大演習 栃木縣下地方行幸 保安係實施計畫

保安係要員

班別	人員		演習		地方		行幸	
	警部	警部補	巡查部長	巡查	警部	警部補	巡查部長	巡查
車	1	3	5	10	1	3	2	3
交	1	1	4	15	1	1	3	6
警	1	1	1	22	1	1	1	1
御	4	6	5	6	1	1	1	1
其	1	1	1	1	1	1	1	1
計	6	11	14	34	1	4	6	9

大演習第一日(十一月十一日)ノ計畫

一、車輛班

- (イ) 車輛班ハ統監部車輛係ト連絡ヲ保チ鹵蕪編成自動車ノ整理並廳内各部ノ使用スヘキ車輛ノ準備配給ニ當ラシム
- (ロ) 縣ニ於テ廳上クヘキ車輛ハ特種ノモノヲ除キ十一月十一日午前二時マテニ佐野電氣館前車輛置場へ集合セシメ車輛並運轉者ノ點檢ヲ爲サシム
- (ハ) 前項ノ車輛ハ廳内各係別ニ配置整理セシム(整理ニ便ナラシムルタメ係別ノ票札ヲ樹ツ)
- (ニ) 廳上自動車ニシテ皇族ノ御使用並宮内省用ノ車輛ハ衛生救護班ト連絡シ消毒及運轉者健康診斷ヲ行ハシム
- (ホ) 佐野電氣館前配置員ニハ廳中電燈ヲ携帶セシム
- (ヘ) 車輛班員ノ配置並其ノ要員

配置場所	人員		警部		警部補		巡查部長		巡查		計
	警部	警部補	警部	警部補	巡查部長	巡查	巡查部長	巡查			
佐野 驛 構内	1	1	1	1	2	4	1	1	1	1	7
佐野電氣館前車輛置場	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	7
御野立第一車輛置場	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	7
同 第二車輛置場	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	7
富田 驛 構内	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	7
道光園 薄立替所	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	7
界小學校車輛置場	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	7
計	6	11	14	34	1	4	6	9	1	1	18

(ト) 以上各場所ニハ警察電話ヲ架設ス
班員ノ宿泊ハ總テ佐野町トス

二、交通班

(イ) 交通班ハ左記場所(別圖添付)ニ十一月十一日午前四時定配置置シ主トシテ車馬ノ交通遮断並ニ其ノ附近ノ交通整理ニ當ラシム但
 シ上早川田、下早川田ノ配置點ニアリテハ人ノ交通モ遮断ス

車馬交通遮断箇所並要員

番號	遮断箇所	配置	補助員	備考
一	瑞穂村川連 水代方面ト和泉方面トノ縣道分岐點	巡查	一	
二	水代村西水代 部屋方面ト小山方面トノ縣道十字路	巡查部長	一	
三	野木村野木 國道ト部屋方面ニ至ル縣道トノ丁字路	巡查	一	
四	藤岡町 新開橋際、佐野方面ト栃木方面トノ縣道十字路	巡查部長	一	
五	堀米町 妙顯寺前丁字路	巡查部長	一	
六	同 小學校際西南十字路			
七	同 旗川村方面ト診療院前ニ至ル道路トノ十字路			
八	同 朱雀町 田沼方面ト旗川方面トノ十字路	巡查	一	
九	田沼町吉水 田沼方面ト葛生方面トノ縣道分岐點	巡查	一	
一〇	旗川村小中 赤見方面ト花岡方面トノ丁字路	巡查	一	
一一	赤見村市場 稻岡方面ト旗川村小中方面トノ分岐點	巡查	一	
一二	足利市 吾妻橋際	巡查部長	一	

三、警防班

(イ) 警防班ヲ特別警防隊、地方警備隊(地方行幸ノ場合亦同シ)ニ分ツ
 特別警防隊ノ區域委員並勤務

(ロ) 交通遮断箇所ニハ十一月五日一齊ニ交通遮断ノ目的物、方向、日時ヲ表示ス

(ハ) 上早川田、下早川田ノ配置員ヲシテ其ノ附近ノ演習拜觀者ハ渡良瀬川右岸堤防上ニ整理セシム

(ニ) 堀米町役場前ニ於ケル配置員ヲシテ演習拜觀者ヲ佐野診療院方面ニ誘導セシメ同配置點ヨリ南下スルモノヲ防止セシム

(ホ) 配置員ニハ交通取締ノ腕章ヲ附セシム

(ヘ) 配置員ニハ日出前提灯ヲ携帯セシム

(ト) 配置員ハ十一月十日ニ配置點附近ニ宿泊セシム

番號	配置員	備考
一三	毛野村岩井	巡查 一
一四	御厨町 足利方面ト梁田方面トノ縣道丁字路	巡查 一
一五	筑波村羽刈 箱林方面ト中野方面トノ分岐點	巡查 一
一六	久野村木戸 箱林街道矢場川岸	巡查 一
一七	吾妻村高橋 箱林街道渡良瀬川岸	巡查 一
一八	植野村小習田 同上	巡查 一
一九	小山町	巡查部長 一
計		七 八

區域	人員	警	部	警	部	補	巡	查	部	長	巡	查	消	防	組	員	計
佐野町一	四		一													七七	
大伏町役場附近																一〇	
同 淺沼																一〇	
堀米町役場附近																一〇	
植野村 植野																一〇	
同 赤坂																一〇	
同 田島																一〇	
同 大古屋																一〇	
同 伊保内																一〇	
同 飯田																一〇	
界村 高山																一〇	
同 馬門																一〇	
同 越名																一〇	
同 高萩																一〇	
旗川村 花岡																一〇	
同 免鳥																一〇	
計		一		一								二				二六七	二七一

富田村 多田木																一〇	一〇
同 稻岡																一〇	一〇
同 寺岡																一〇	一〇
吾妻村 村上																一〇	一〇
計		一		一								二				二六七	二七一

(ロ) 警備期間

十一月九日 自午後六時 至午後六時
 十一月十日 自午前六時 至午前六時
 十一月十一日 自午後二時 至午前六時

(ハ) 勤務方法

- A 巡邏線路ヲ定メ二時間毎ニ巡邏警戒セシム
- B 出火通報及相互連絡係ヲ定メシム
- C 十一月十一日ハ左記ニ依ラシム

出火出場ハ受持警戒區域内ノミニ限リ受持區域外ニハ出場セシメス但シ特別ノ指揮ヲ爲シタル場合ハ此ノ限ニアラス
 出場ニ際シテハ可成「サイレン」其ノ他警報器ヲ使用セシメス

(ニ)

火災ヲ發見スルモ保安係長又ハ所轄警察署長ノ特命ナキ限リ警鐘ヲ打鳴セシメス
 特別警防隊服務心得ハ別ニ定ム
 地方警備隊ノ區域要員並ニ勤務別記ノ通

四、御親閉班

御親閉ニ關スル事項別記ノ通

地方行幸(十一月十六日)ノ計畫

一、車輛班

(イ) 車輛班ハ宮内省車輛係ト連絡ヲ保テ肅簿ノ編成自動車ノ整理並廳内各部ノ使用スヘキ車輛ノ準備配給ニ當ラシム

(ロ) 縣ニ於テ履上クヘキ車輛ハ特種ノモノヲ除キ當日午前六時マテニ足利市六丁目買場内車輛置場ニ集合セシメ車輛並運轉者ノ點檢ヲ爲サシム

(ハ) 履上自動車ニシテ皇族ノ御使用並宮内省用ノ車輛ハ衛生救護係ト連絡シ消毒及運轉者ノ健康診斷ヲ行ハシム

(ニ) 車輛班員ノ配置並其ノ要領

配置場所	人員				計
	警部	警部補	巡查部長	巡查	
兩毛足利驛	1	1	1	1	4
配水池	1	1	1	2	5
工業學校	1	1	1	1	4
東武足利市驛	1	1	1	1	4
西買場	1	1	1	1	4
計	3	2	3	3	11

二、交通班

(イ) 交通班員ヲ左記場所ニ定置並移動配置シ車馬ノ迂回及其ノ附近ノ交通整理ニ當ラシム

交通班配置箇所並要員別記ノ通

(ロ) 配置箇所中左記場所ヨリ渡良瀬橋方面ヘノ車馬ノ交通ハ正午十二時ヨリ遮斷シ迂回路ニ依ラシム

(ハ) 足利市本通(永樂町四ツ角並大日大門四ツ角)ニニテ所ノ車馬ノ指定橫斷道路ヲ設ケ他ノ街角ハ車馬ノ交通ヲ遮斷ス

(ニ) 配置員ニハ交通整理ノ腕章ヲ附セシム

三、警防班

(イ) 特別警防隊ノ區域要員並勤務

區域	人員	巡查部長	消防組員	計
足利市	1	1	50	51
山邊村田中	1	1	10	11
山邊村八幡	1	1	10	11
同假宿	1	1	10	11
菱村黒川	1	1	10	11
計	1	1	90	91

(ロ) 警備期間

十一月十五日 自午前六時 至午後六時
 十一月十六日 自午前二時 至午後六時

(ハ) 勤務方法

- A 巡邏線路ヲ定メ二時間毎ニ巡邏警戒セシム
- B 出火通報及相互連絡係ヲ定メシム
- C 第二日目タル十六日出火アリタルトキノ出場ハ受持警戒區域内ノミニ限リ受持區域外ニハ出場セシメス但シ特別ノ指揮ヲ爲シタル場合ハ此ノ限ニアラス
- D 火災ヲ發見シタルトキ並出場ニ際シテハ「サイレン」警鐘ノ類ヲ使用セシム

第九節 署長會議ニ於ケル(保安係)知事訓示指及示事項

知事訓示

御警衛ノ真ノ目的ヲ達成シ其ノ萬全ヲ期スルニハ、事前ニ於ケル一般視察警戒ノ周到ヲ期セナケレバナライノデアリマシテ、即チ精神病者ノ視察取締ハ嚴密ニ之ヲ勵行シテ其ノ言動ニ不斷ノ注意ヲ拂ヒ、以テ視察外ニ逸脱シテ不敬行爲等ノ所爲ニ出デントスル者ヲ早期ニ之レガ發見ニ努メ、銃砲火藥類其ノ他危險物等ノ取締ニ付テモ些ノ間隙ヲ生ズルコトナク苟モ其ノ取締ノ欠陥ニ乘ゼラレテ之ヲ惡用セラルルガ如キ事端ノ發生ヲ絕對ニ防遏シ、火災ノ豫防警戒ニ付テハ關係地ハ勿論縣下一圓ニ亘リ、警衛期間中必ズ火災ヲ發生セシメズ、能ク靜謐保持ニ努メ、又大演習期間中ハ殆ド全警察官ハ關係地方ニ集中セラレテ他ノ地方ハ警察力稀薄トナルヲ以テ、消防組員ト協力シ、民衆ノ自警心ヲ喚起シテ隣保相戒メ、各自警戒シテ治安ノ維持ヲ圖ルノ方途ヲ講ズル等、間接警衛ニ關シ萬遺漏ナキヲ期セナケレバナライノデアリマス。

各位ハ能ク思フ茲ニ致シ、曩ニ達示シ置キマシタ處ノ大綱ニ基キ、既ニ夫々實施中デアリマスガ、尙後刻指示スル處ニ隨ツテ周到適切ナル計畫ヲ樹立シ、其ノ執行ニ當リテハ形式ノ末ニ拘泥シテ其ノ大本ヲ逸シ、或ハ嚴ニ過ギ苛察ニ涉リテ

徒ニ民衆ノ怨嗟ヲ招來スルガ如キコトナキ様、能ク部下吏僚ヲ指揮督勵シ、消防組其ノ他ノ各種団体ト連絡協調ヲ密ニシ以テ警衛警戒ノ完璧ヲ期セラレタイノデアリマス。

指 示 事 項

- 一、火災警戒ニ關スル件
- 二、精神病者視察取締ニ關スル件
- 三、銃砲火藥類其ノ他危險物取締ニ關スル件
- 四、交通禁止區域ノ周知方ニ關スル件
- 五、民衆ノ自警心喚起ニ關スル件
- 六、演習參加飛行機ノ不時著陸ニ際シ警戒及保護ニ關スル件
- 七、消防組御親閱ニ關スル件

指 示 注 意 事 項

- 陸軍特別大演習關係
- 一、御行動豫定
- 二、供奉宮扈從者及陪觀者行動要領
- 三、奉拜者整理計畫
- 四、車輛班ニ關スル事項
- 五、交通班員配置場所及配置時刻
- 六、交通整理及演習參觀者ノ誘導ニ關スル事項
- 地方行幸關係
- 一、御行動豫定
- 二、奉拜者ノ整理方法
- 三、車輛班ニ關スル事項
- 四、交通班ニ關スル事項

陸軍特別大演習保安係配置表

保安係 係長 保安課長

係長付 笹川警部補

交通班 班長 伊藤警部

一、瑞穂村大字川連(關口踏鐵工前)

(栃木) 巡 查 駒場 喜三

補助員(瑞穂) 大豆生田英一 (同)大豆生田傳右衛門

(同) 大豆生田万之助 (同) 熊倉 誠一

二、水代村西水代(下駄商倉島吉三郎方前)

(栃木) 巡 查 金澤 留吉

補助員(水代) 池田 光市 (同) 茂呂 松吉

(同) 小森谷善之助 (同) 富永 德一

三、野木村大字野木松原(永田勝次方前)

(小山) 巡 查 篠崎 只次郎

補助員(野木) 鈴木 幸太郎 (同) 山中 秀吉

(同) 青木 善吉 (同) 三浦 文彌

四、藤岡町藤岡(新開橋)(飲食店宮崎平吉方前)

(栃木) 巡 查 部長 武田 林三郎

補助員(藤岡) 郡 清藏 (同) 阿部 興三郎

(同) 大塚 保藏 (同) 平岡 政雄

五、堀米町(妙顯寺前)

(鳥山) 巡查部長 遠藤 省二

補助員(堀米) 若月 佐吉 (同) 尾島 增二

(同) 長島 寅吉 (同) 小林 作造

六、堀米町(學校附近)(學用品商高橋嘉七方前)

補助員(堀米) 櫻井 由二 (同) 桂野 晴次

(同) 蓮見 平一 (同) 竹澤 儀一

七、堀米町(思田アドウ屋北方 丁字路)

補助員(堀米) 坂田 文藏 (同) 笠原 靜四郎

(同) 五箇 利七 (同) 入澤 政治

八、堀米町朱雀町(煙草屋本郷繁次郎方前)

(佐野) 巡 查 吉田 榮三郎

補助員(堀米) 本郷 繁次郎 (同) 羽鳥 留藏

(同) 町田 喜右衛門 (同) 荒居 市郎

九、田沼町吉水地内

(佐野) 巡 查 大島 萬平

補助員(田沼) 金子 清作 (同) 柴田 德次郎

(同) 篠崎 善次郎 (同) 金子 由三郎

一〇、旗川村小中(煙草屋萩原良次方前)

(佐野) 巡 查 松本 丁三

補助員(旗川) 高岡 寛 (同) 河上 平八

(同) 中里 武三郎 (同) 坂原 作太郎

一一、赤見村市場(鐵骨火の見 須藤福太郎方前)

(佐野) 巡 查 石田 春三郎

補助員(赤見) 吉澤 定右衛門 (同) 關口 佐助

(同) 阿由 葉重利 (同) 伏島 梅次郎

一二、足利市伊勢町(東橋西方)

(真岡) 巡查部長 藤原 磯吉

補助員(足利) 關根 重五郎 (同) 渡邊 延藏

(同) 板橋 清六 (同) 櫻村 十四丸

一三、毛野村岩井(八ッ口橋附近)(染物屋荒川清三郎方前)

(足利) 巡 查 間 彦 秀雄

補助員(毛野) 松崎 傳四郎 (同) 小泉 兵二

(同) 中村 藤太郎 (同) 渡邊 仙太郎

一四、御厨町八木(飲食店三辻屋前)

(足利) 巡 查 齋藤 廣吉

補助員(御厨) 笠原 幸一 (同) 松崎 義知

(同) 齋藤 直一郎 (同) 田沼 一二

一五、筑波村羽刈(桃太郎ウツヤ脇)

(足利) 巡 查 野澤 敬壽

補助員(筑波) 川島 榮一 (同) 齋藤 直一

(同) 本島 金藏 (同) 深野 一三

一六、久野村下日向(飲食店須藤學次方前)

(足利) 巡 查 濱野 藤治

補助員(久野) 小林 三重郎 (同) 石川 富士男

(同) 星野 勝太郎 (同) 齋藤 吉藏

一七、香妻村高橋(渡良瀬川岸)

(足利) 巡 查 松本 光悦

補助員(香妻) 島田 好市 (同) 川田 源作

(同) 小倉 要 (同) 荒川 清市

一八、植野村田島(渡良瀬川岸)

(佐野) 巡 查 大橋 廣太

補助員(植野) 淺野 清一郎 (同) 福地 和一郎

(同) 勝呂 正勝 (同) 渡邊 西三郎

一九、小山町須賀町(關醫院前)

(宇都宮) 巡 查 荒井 捨次郎

補助員(小山) 高橋 定吉 (同) 田村 三四郎

(同) 鈴木 藤吉 (同) 長澤 貞三郎

交通整理

監督(栃木) 巡查 龜田 彌三郎

水代村 補助員 十四名 瑞穂村 同 十四名

富山村 同 十四名 靜和村 同 十四名

岩舟村 同 十四名

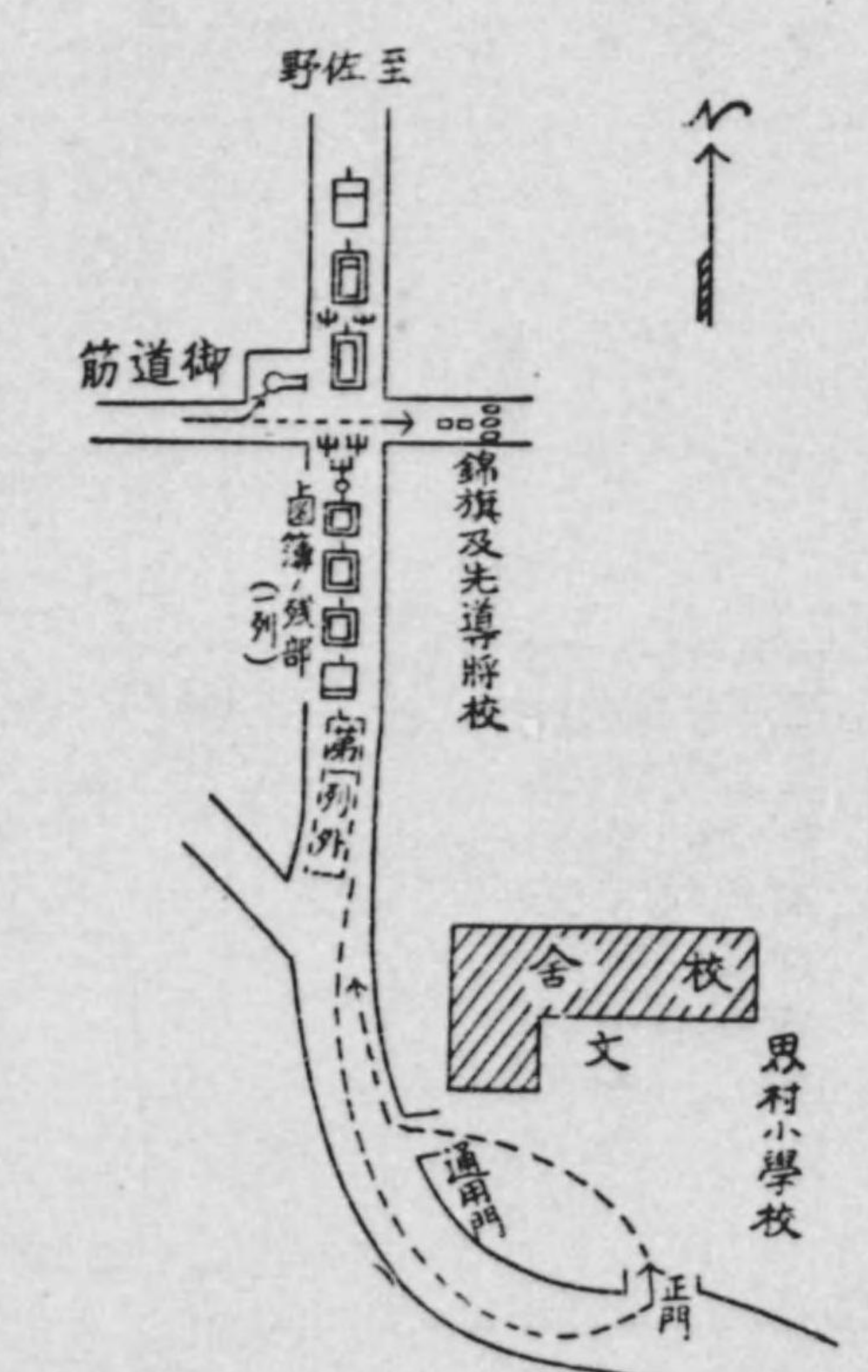
監督(栃木) 巡查 青柳 儀平


藤岡町 補助員 十四名 三鴨村 同 十四名

旗川村 同 十四名 赤見村 同 十四名

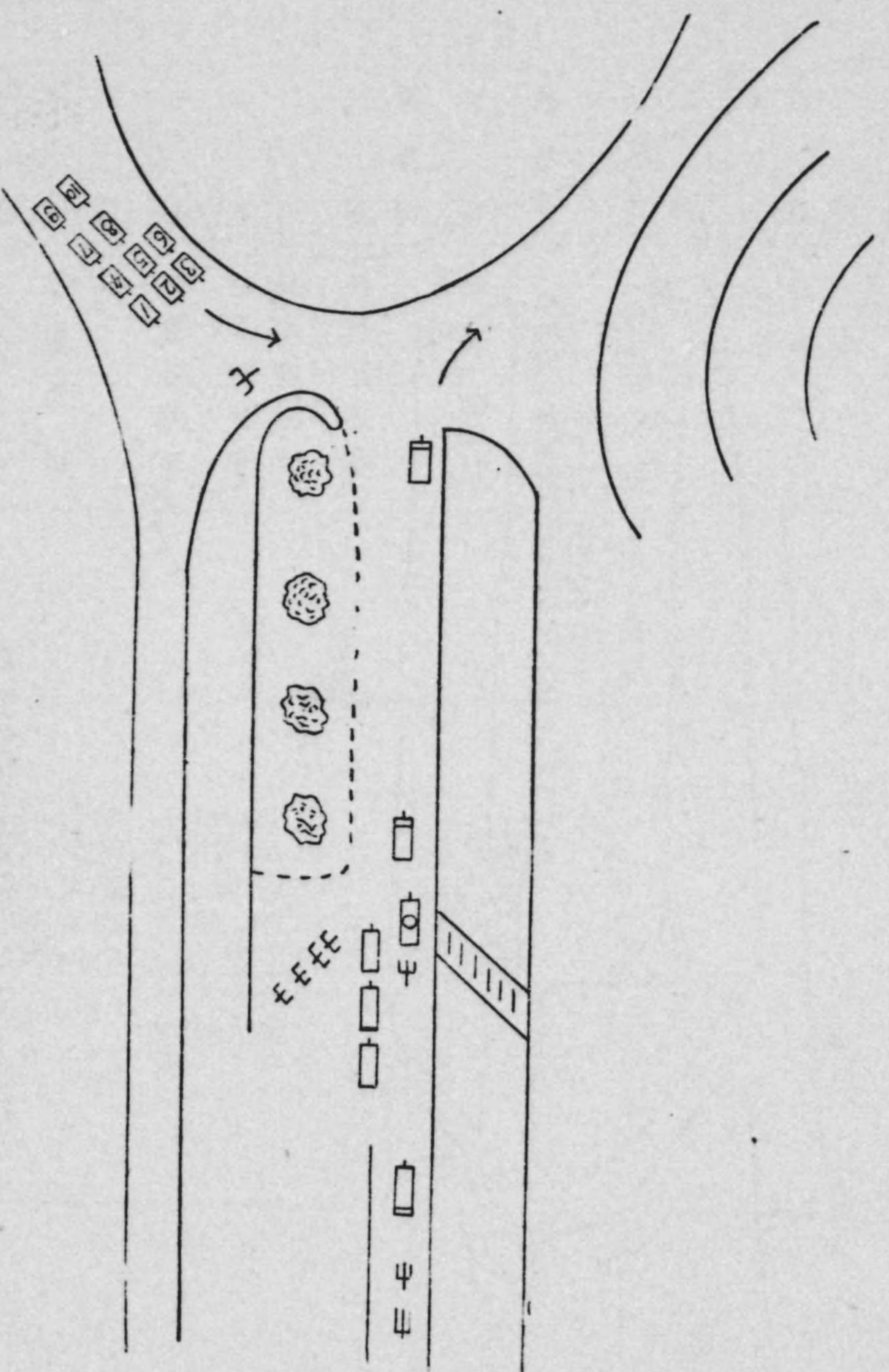
梁田村 同 十四名 毛野村 同 十四名

車輛班 班長 横堀 警部補

日次	場所	車種別数	業務時刻 整理並 員	整理要領
第一日 (十一月十一日)	道光立替所御發	皇 2 皇 3 統 10 宮 1 宮 1	二名 午前九時ヨリ	 <p>戦線御巡視ニ扨從ノ車ハ車輛掛ニテ準備ス 佐野驛ニ至ル道路ノ先拂 (御發約三十分前、車輛掛ニテ)</p>

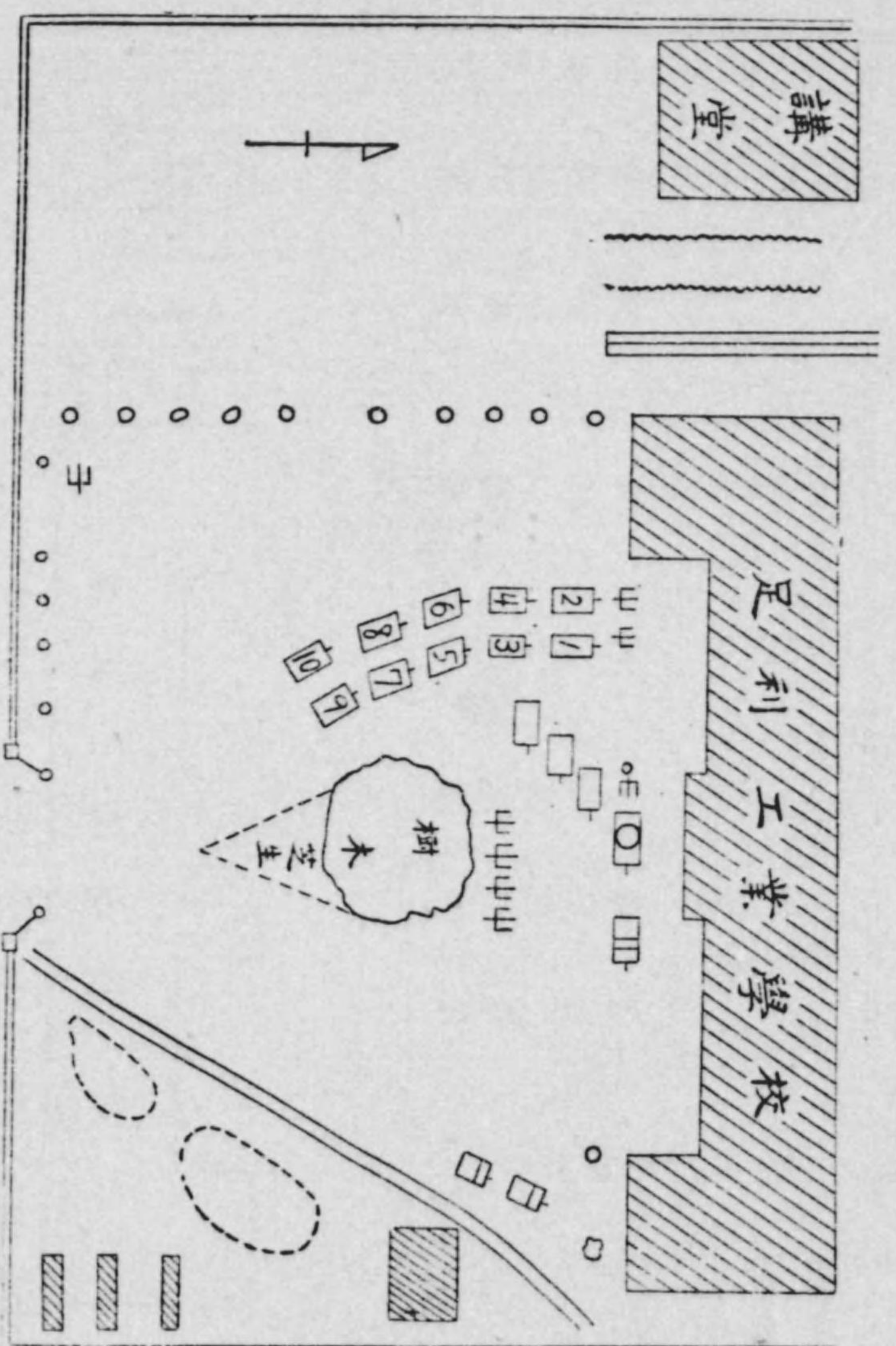
日次	場所	車種別数	業務時刻 整理並 員	整理
第一日 (十一月十一日)	寺岡野外統監部御發着	皇 4 皇 10 親 2 幕 3 統 10 宮 1 宮 1 新 5	五名 御着四十分前ヨリ	 <p>(一)戦線御巡視御取止ノ場合 要圖ノ位置ニ待機シ三十分前路上ニ配列ス (二)鹵簿御發着隊形ハ別計畫ニ據ル (三)第一車輛置場ノ狀況ニ依リ或ハ第一列外ヲ第二 置場ニ置クコトアルヘシ (四)バス五輛ハ富田驛ニ準備シ列車到着前、三輛ヲ驛前ニ殘リノ二輛ヲ貨物ホーム西側空地 ニ置ク</p>

(日六十月一十) 發御池水配道水利足



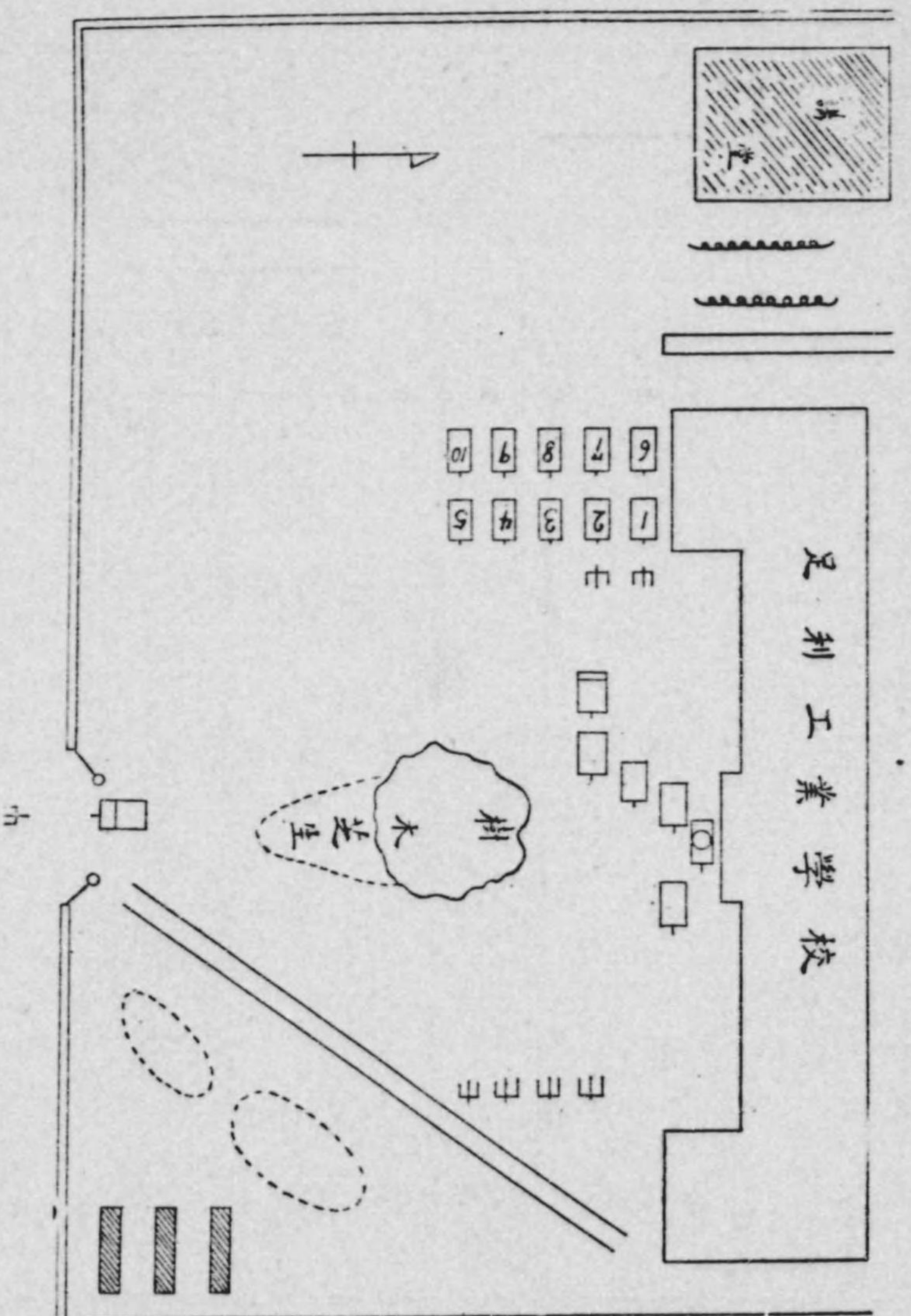
- 1 宮内高等官
- 2 栃木縣知事
- 3 憲兵司令官
- 4 師團長
- 5 內務大臣
- 6 宮内大臣
- 7 栃木縣官房主事
- 8 內務秘書官
- 9 鐵道局長
- 10 豫備車

(日六十月一十) 着御校學業工利足



- 1 宮内高等官
- 2 栃木縣警察部長
- 3 憲兵司令官
- 4 師團長
- 5 內務大臣
- 6 宮内大臣
- 7 內務秘書官
- 8 內務事務官
- 9 鐵道局長
- 10 豫備車

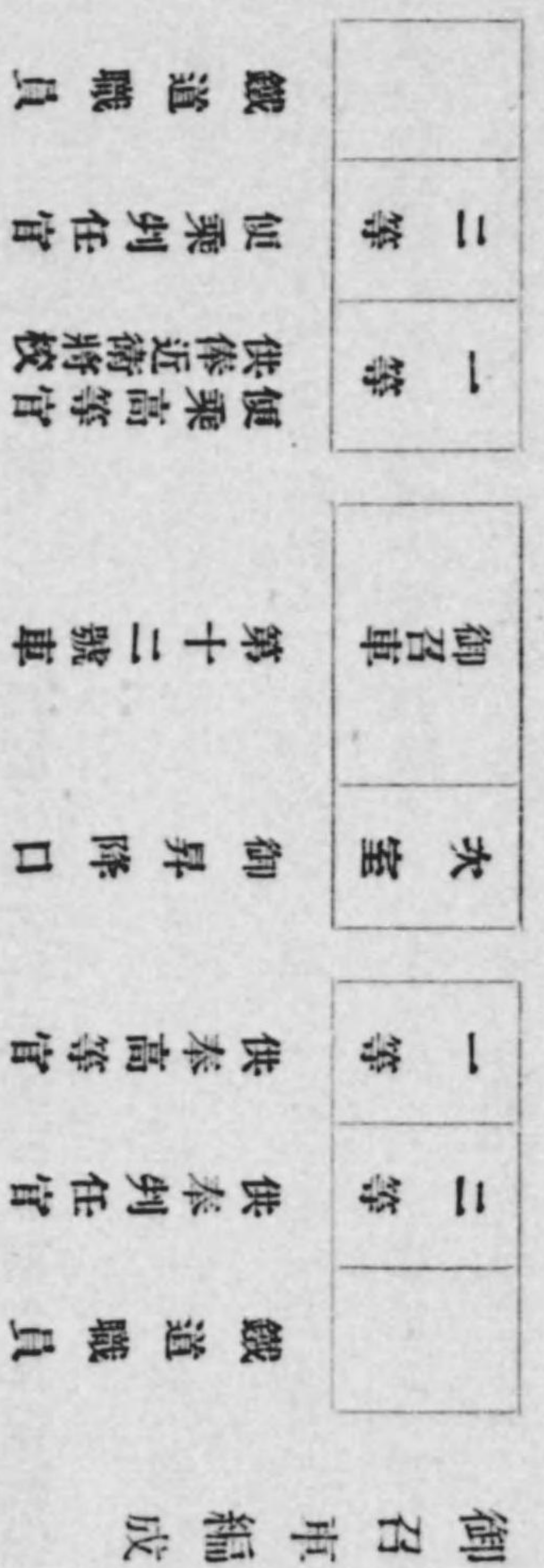
足利工業學校發御(日六十月一十)



- 1 宮内高等官
2 栃木縣知事
3 憲兵司令部長
4 師團長
5 警保局長
5 宮内大臣
6 後援
7 栃木縣官房主事
8 内務事務官
9 鐵道局長
10 豫備車

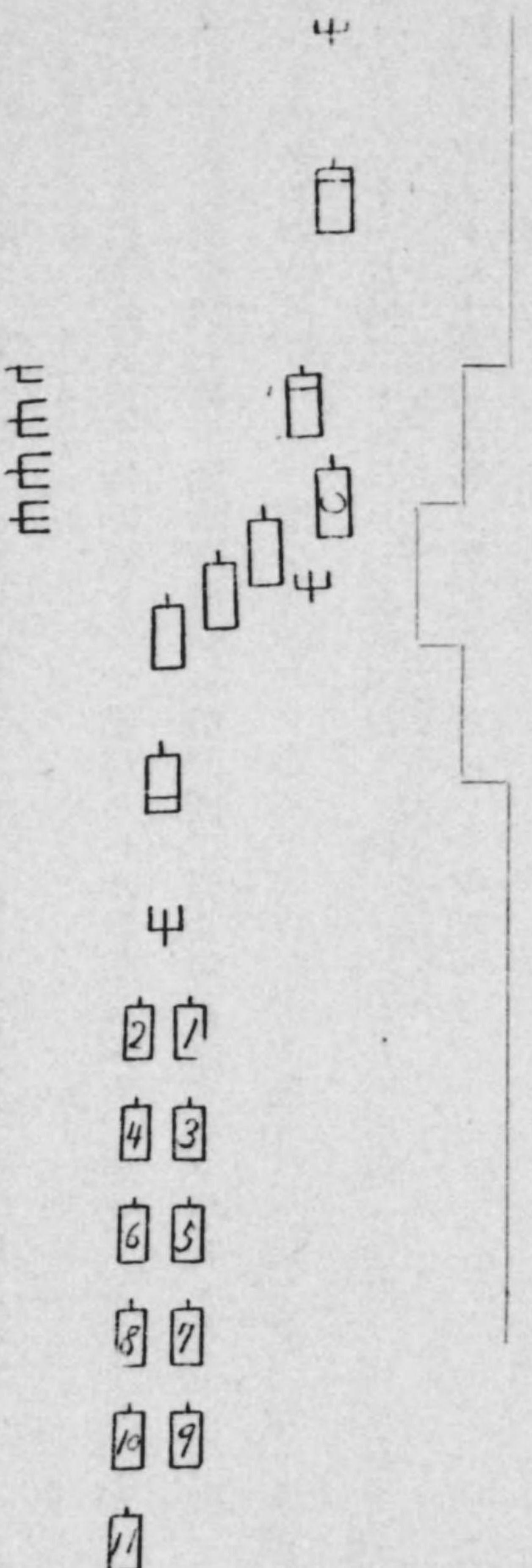
六二八

東武足利市驛發車(日六十月一十)



田太 →

備考 列外員ニテモ御進入口ヨリ進入ノコト



- 況例
1 宮内高等官
2 栃木縣知事
3 憲兵司令部長
4 師團長
5 警保局長
6 宮内大臣
7 栃木縣官房主事
8 内務事務官
9 鐵道局長
10 豫備車
11 群馬縣知事

六二九

第十節 保安係員ニ對スル訓示指示及豫行演習

大演習並地方行幸時ニ於テ保安係トシテ勤務スヘキ警察官四十二名ヲ十月二十日午前十時栃木縣警察官練習所ニ召集シ、前掲警察署長會議ニ於テ訓示指示セルト同様、保安係實施要項ヲ車輛・交通・警防ノ各班ニ分テ詳細訓示シテ各員ニ意得セシメタリ。

更ニ十月二十一日同二十四日ニハ交通班員ヲ、同二十三日ニハ車輛・警防ノ兩班員ヲ現地ニ召集、各自分擔事項ニ付認識ヲ深カラシメタル上豫行演習ヲ實施シテ過誤ナキヲ期セリ。

第十一節 大演習及地方行幸當日ニ於ケル保安係ノ活動

一、特別大演習

大演習第一日ニ保安係トシテ勤務スベキ警察官ニ對シテハ、十一月十日午前八時三十分佐野町第一小學校ニ召集、午前中知事並警察部長ノ訓示及保安係長詳細ナル指示ヲ與ヘ、午後最後ノ豫行演習ヲ實施シタルモ全員緊張事ニ當リ、而モ綽々タル餘裕ヲ見セ良好ナル成績ヲ得タリ。而シテ豫行演習終了後ハ夫々所定宿舍ニ就カシメ、待機セシメタリ。交通班ハ十一月十日ハ午後六時ヨリ實施計畫中ニ在ル交通禁止線ノ重要地點ニ若干ヲ配置シテ交通整理ニ當ラシメ、午後十時ニ其ノ數ヲ増加シ禁止線侵入ノ警戒ニ當ラシメタリ。十一月十一日ハ午前四時一齊ニ全線ノ配置ヲ完了スル計畫ナリシモ、一般奉拜者ノ出足早ク交通禁止地帯ヘノ潜入ス

ルモノナキヲ保シ難キ狀況ニアリシ爲、交通班員ニ對シテハ午後十一時全員配置ヲ完了シタリ。

交通補助員ハ十一月十一日午前四時配置ノ計畫ナリシモ、之亦前示事由ニヨリ一時間繰上ゲ午前三時各部署ニ就カシメ、警察官ト共力警備ニ當ラシメタリ。

車輛・警防・特別各班員ハ實施計畫ニ基キ、夫々所定時刻ニ配置ニ付キ、全員一丸トナリ與ヘラレタル任務ノ遂行ノ爲精魂ヲ傾ケテ警衛警備ノ万全ヲ期シタリ。

二、地方行幸

地方行幸時ニ於ケル保安係警察官ハ十一月十五日午前九時足利市柳原小學校ニ召集、午前中知事並警察部長ノ訓示、保安係長ヨリ最後ノ指示注意ヲ與ヘ、午後豫行演習ヲ實施シタリ。

十一月十六日ハ實施計畫ニ基キ各班夫々任務ヲ遂行、警衛警備上些ノ過誤ナキヲ得タリ。

第十二節 公設消防組御親閲

公設消防組御親閲ニ關シテハ昭和九年八月ヨリ調査準備ヲ進メ、九月十日ニ至リ御親閲ヲ受クベキ割當人員決定シタルヲ以テ、九月十三日左記ノ通り御親閲計畫ヲ樹立シタリ。

消防組御親閲計畫

- 一、御親閲豫定期日 十一月十六日
- 二、受閱豫定人員 一、五四七名消防組員 一、一名警察官

各署別割當人員 別表ノ通

(消防組ノ部一部ニ付一名ノ割)

- 三、受閱者ノ人選 1 各警察署長ニ一任

2人 選標準

- (イ) 役員タルト消防手タルトヲ問ハス
- (ロ) 身体強壯(特ニ傳染性疾患ノ) 行狀方正、思想健實ナル者
- 四、受閱者ノ服裝
 - 1 甲種トシ手袋(白色)著用スルコト但シ不得巳モノハ乙種ニテモ差支ヘナシ
 - 2 甲種ハ卷脚袴、短靴(何レモ黑色)又ハ長靴トス
 - 3 乙種ハ腹掛バンド(黑色)ヲ著用シ 黑色短靴又ハ地下足袋トス
 - 4 携帶品ハ携帶セサルコト
- 五、部隊編成
- 六、豫行演習
 - 各警察署毎ニ集合セシメ
 - 1 服裝點檢
 - 2 部隊編成ノ場合ノ所屬部隊、指揮者受閱上ノ注意
 - 3 輸送方法、集合場所等ノ指示ヲ爲ス
 - 4 日時場所別紙ノ通り
 - 七、輸送計畫
 - 前日別表ノ場所ニ集合セシムルコト
 - 當日臨時列車ニヨリ桐生市ニ出發輸送ニ關シ鐵道ト打合
- 打合事項
 - (イ) 賃金ノ割引
 - 各自ノ發車驛ヨリ桐生市往復

乗車券有効期間二日間
 (ロ) 輸送區間
 東北本線宇都宮驛ヨリ兩毛線桐生驛ニテノ間
 人員一、五五八人
 (ニ) 一列車ニテ輸送シ能ハススレハ
 宇都宮驛ノ兩驛ヨリ發車
 小山驛ノ兩驛ヨリ發車
 八、受閱後解散
 任意トス任意トスル場合歸途ノ列車ヲ如何ニスルヤ
 各署別受閱者割當人員

署名	人員	員	署名	人員	員
宇都宮	一五三	矢板	六三		
上三川	五五	喜連川	六四		
栃木	二五〇	大田	六九		
小野	一一五	黒磯	五三		
佐野	八七	川口	五六		
足利	八〇	鳥山	八八		
鹿沼	一三四	眞岡	一一九		
日光	八二	茂木	七二		
足尾	八	計	一、五四七		

部隊編成
 一個大隊
 九個中隊
 二十七個小隊
 三個小隊ヲ以テ一中隊トシ九個中隊ヲ以テ一大隊トス

大隊長 保安課長
 大隊付副官

中隊長 警部補
 小隊長 消防組頭

先發
 渡邊警部補、景山技手、石場技手ノ三名ハ先發トシテ十一月十四日桐生市ニ赴キ隊員ノ誘導其ノ他關係縣トノ聯絡協調ニ從事シタリ。

消防組御親閱者ノ選定

前記受閱者割合ニ基キ縣下各警察署長ニ左記ノ通り達示シテ内申セシメ、受閱者ノ決定ヲ爲シタリ。
 演保第三七號

本秋行ハセラルル陸軍特別大演習ノ際消防組員ニ對シ十一月十六日(時間未定) 群馬縣桐生市ニ於テ御親閱行ハセラルルヤニ付テハ其ノ署管内各消防組ヨリ別紙員數ノ受閱組員ヲ左記ニ依リ嚴選シ十月十五日迄ニ別表ニヨリ内申セラルヘシ
 昭和九年九月二十六日
 栃木縣警察部長

- 記
- 一、受閱組員ハ左記ニ該當セサル者ナルコト
 - 1 宮内傳染病患者(家族中ニ罹病者アル場合モ含ム)
 - 2 思想言動奇矯過激ナルモノ又ハ志操健實ナラサル者
 - 3 警察上注意ヲ要スル者
 - 4 事物ニ感激シ易キ者

- 5 團体的行動ヲ爲スニ適セサル者
- 6 數時間直立ニ堪エサル者
- 7 其ノ他不適當ト認ムル者
- 二、同一部ヨリ選出スル受閱者數ハ一名トス
- 三、汽車賃(多少割引セラルル見込) 其ノ他ハ總テ各自辨トス
- 尙受閱者ニ對シテハ一又ハ數個ノ警察署管内ヲ合シ豫行ヲ爲ス見込ナリ
- 四、受閱者ノ心得集合ノ日時、場所等ハ追テ通知ス
- 五、服裝ハ甲種トス但シ事情已ムテ得サル者ハ乙種ニテモ差支ヘナキ見込ナルモ施行細則ニ定ムル服裝ナルコト
- 六、輸送方法ハ目下鐵道ト打合中ニ屬スルモ大体臨時列車ヲ編成ノ見込

消防組御親閱受閱者報告 (様式)

消防組名	階級別	氏名	年齢	服装	乗車希望
計 消防手	組頭	(小頭ニ在リテハ副組頭、部長、小頭ノ別ヲ記載スルコト)			
	副組頭	(内甲種)			
	部長	(同)			
	小頭	(同)			
	消防手	(同)			

右各警察署長ノ内申ニ基キ左表ノ通り部隊ヲ編成シタリ。

部隊ノ編成

栃木大隊編成表

隊中	隊中	隊中	隊中	名
第四隊	第三隊	第二隊	第一隊	中隊
日光 鹿沼 小光 小來川	小山 野姿 木	宮都 横古 川里	川原 大田 伊金 野王	第一小隊
加北西 蘇大南 野一六 川二六 今市 一八	野姿 木 二二 三三 三三 三三	宮都 横古 川里 野一 二二 三三	伊金 野王 一七 二七 三三 三三	隊員
名一〇一	名八九	名四〇一	名四〇一	第二小隊
栃木 日光 赤藤 麻岡	栃木 大南 宮生	眞岡 茂根 木澤	矢板 川西 野矢	第三小隊
赤藤 麻岡 八三 三三 三三 三三	大南 宮生 一〇 一〇 一〇 一〇	眞岡 茂根 木澤 三三 三三 三三	野矢 崎上 三三 三三 三三 三三	隊員
名〇〇一	名九九	名〇〇一	名二〇一	第四小隊
佐野 新植	栃木 生瑞 井尾	眞岡 中足 尾川	川喜 阿上 久江	隊員
佐野 新植 七二 六六 六六 六七	生瑞 井尾 二二 三三 三三 三五	中足 尾川 三三 三三 三三 三五	川喜 阿上 久江 津川 三三 三三 三三	隊員
名〇〇一	名九九	名〇〇一	名四〇一	第四小隊
足利 毛野	鹿沼 菊板 澤荷	小山 間々 山田	眞岡 水益 橋子	隊員
足利 毛野 九九 二二 四四 四四	鹿沼 菊板 澤荷 二二 三三 三三 三三	小山 間々 山田 三三 三三 三三 三三	眞岡 水益 橋子 七七 一一 一八 三三	隊員
名〇〇一	名〇〇一	名一〇一	名四〇一	隊員
佐野 富水 野田	鹿沼 南清 摩洲	川上 上明 三治	眞岡 水益 橋子	隊員
佐野 富水 野田 六九 九九 二二 五〇	鹿沼 南清 摩洲 二二 三三 三三 三三	川上 上明 三治 三三 三三 三三 三三	眞岡 水益 橋子 七七 一一 一八 三三	隊員
名〇〇一	名〇〇一	名一〇一	名四〇一	隊員
足利 毛野	鹿沼 南清 摩洲	川上 上明 三治	眞岡 水益 橋子	隊員
足利 毛野 九九 二二 四四 四四	鹿沼 南清 摩洲 二二 三三 三三 三三	川上 上明 三治 三三 三三 三三 三三	眞岡 水益 橋子 七七 一一 一八 三三	隊員
名一〇四	名六九三	名五〇四	名四一四	計

第五中隊	足利 山小梁 邊侯前田 七六四二 三三 和鹿重 六五六	名六三	川西 伊野 兩上 湯津 親圖 大田 原山 烏山 荒川 清原 八四六	名三〇一	宇都 城山 平田 加藤 富野 久野 四三五	名六〇一	二七 七 二〇	名五四二
------	---	-----	---	------	---	------	---------------	------

参考 (大隊長 警部 朝比奈太郎、副官 警部補 笹川幸藏、第一中隊長 警部 大貫隣四、第二中隊長 警部補 荒井彰、第三中隊長 警部 齋藤直、第四中隊長 警部 吉村角三郎、第五中隊長 警部補 佐山要三)

受 閱 者 注 意 事 項

- 一、受閱者心得(公設消防組御親閲要項以下單ニ要項ト稱ス)ヲ遵守スルコト。
- 二、各部隊長ノ指揮命令ヲ遵守スヘキハ勿論御親閲式關係官吏及警衛警備ニ服スル警察官吏ノ指示ニ從フコト。
- 三、服装ハ要項第六條ニ依ルコト。
- 四、受閱者輸送ハ臨時列車ニヨルニ付左記ニ注意スルコト。
 - イ、發車着刻二十分前マテニ乗車驛ニ集合スルコト。
 - ロ、乗車券ハ成ルヘク各組毎ニ取纏メ購入シ混雜セサル様秩序ヲ保ツコト。
 - ハ、部隊長點呼ヲ爲ストキハ部隊編成表氏名ノ上部ニ記載セル番號ニヨルヘキヲ以テ自己ノ番號ヲ記號シ置クコト。
 - ニ、乗車ノ際ハ部隊長ノ指示スル車室ニ入り乗車後ト雖モ濫リニ車室ヲ變更セサルコト。
 - ホ、列車乗降ハ小隊ノ順ニ依リ秩序整然ト爲スコト。

- ハ、桐生驛ニ到着シタルトキハ部隊長ノ指揮ニ依リ各小隊毎ニ降車シ整列シテ集合所ニ至ルコト。
- ト、輸送列車ハ第一列車第二列車ノ二列車トシ
 - 第一列車ハ白河驛始發ニシテ白河—小金井間各驛ニ於テ乗降スルモノトシ
 - 第二列車ハ小山驛始發ニシテ兩毛線小山—小俣間各驛ニ於テ乗降スルモノトス。
 但シ栃木署管内受閱者中栃木驛ヨリ乗車スヘキ栃木、壬生、稻葉、南大岡、大宮、家中(以上第三中隊第二小隊)赤津、吹上、寺尾、皆川、瑞穂、中、生井、國府(以上第三中隊第三小隊)ノ各消防組員ハ栃木驛ニ於テ第一列車ニ乗車シ歸路モ第一列車ニ乗車スルモノトス。
- 日光署、鹿沼署管内受閱者ハ東武線ニヨリ栃木驛ニ到着シ栃木驛ニ於テ第二列車ニ乗車スルコト。
- 往路第一列車ニヨリタル者ハ歸路モ第一列車ニヨリ往路第二列車ニヨリタルモノハ歸路モ第二列車ニヨルモノニシテ彼此變更シ又ハ普通列車ニ依リ歸還シ得サルモノトス。
- チ、各驛發着時刻ハ別記ノ通り。
- リ、輸送列車車輛ノ配給ニ關シテハ鐵道側ト極力交渉ニ努メタルモ充分ナル配給ヲ受クルコト能ハサリシヲ以テ座席ニ不足ヲ生シ櫻掛ク得サル者ヲ生スヘキニ付豫メ諒解セラレ度。
- 五、式終了後ハ部隊長ノ指揮ニ依リ一旦集合所ニ到リ解散シ所定ノ列車發車時刻三十分前マテニ南小學校ニ集合シ部隊長ノ指示スル車室ニ乗車歸還スルコト。

東武日光線									
日下	下板	新板	新板	新板	新板	新板	新板	新板	新板
日光市	代市	荷代	沼代	山代	崎代	中代	中代	中代	中代
栃新	新合	合家	家金	金檢	檢樞	樞新	新板	板下	下日
木	木	木	木	木	木	木	木	木	木
午六前									
二、五〇	二、四七	二、四四	二、四一	二、三八	二、三五	二、三二	二、二九	二、二六	二、二三
午六後									
二、四〇	二、四四	二、四七	二、五〇	二、五三	二、五六	二、五九	三、〇二	三、〇五	三、〇八

注意 一、受閱者注意事項「四ノト」ヲ参照ノコト
二、停車時間ハ各驛概テ三十秒ナルヲ以テ乗降ハ敏速ニスルコト

部 隊 長 心 得

- 一、各部隊ハ御親閲要項、受閱者注意事項部隊編成表(三種)等ニ通曉シ隊員ノ指揮監督上遺憾ナキヲ期スヘシ
- 二、各部隊長ハ自己ノ勤務署管内受閱者ノ指揮監督ニ就テハ所屬部隊長トノ連絡共助ニ努ムヘシ
- 三、各部隊長ハ指定(別表)ノ乗車驛ヨリ乗車シ列車内ニ於テ各驛ヨリ乗車スル所屬隊員ノ氏名點呼(編成表氏名上部記載ノ番號ニ依ルヲ便宜トス)服裝點檢ヲ爲シ所定(部隊名ヲ車室ニ掲出ス)ノ車室ニ位置セシムヘシ
- 四、氏名點呼、服裝點檢ヲ終リタルトキハ其ノ結果ヲ大隊長又ハ副官ニ報告スヘシ

- 一、(大隊長ハ宇都宮驛ヨリ第一列車ニ乗車シ栃木驛ニ於テ第二列車ニ乗換フ副官ハ白河驛ヨリ第一列車終始乗車ス)
- 二、第二中隊第三小隊中尾署管内ノ十名ハ前夜桐生市宿泊、第九中隊第三小隊中尾署管内菱村ノ四名ハ陸路桐生市ニ至ルヲ以テ所屬部隊長ハ桐生市集合所ニ於テ氏名點呼及服裝點檢ヲ爲スヘシ
- 三、第三中隊第一小隊長ハ小山驛ヨリ乗車スル第二中隊第四小隊所屬隊員中小山、石橋、間々田ノ三消防組員三十五名及第三中隊第二小隊所屬隊員中思川驛ヨリ乗車スル豐田消防組二十名ニ對シ第三號ノ指揮ヲ爲シ桐生市集合所ニ於テ所屬小隊長ニ引繼クヘシ
- 四、第三中隊第二小隊長ハ栃木驛ニ於テ第一列車ニ乗車シ第三號ノ指揮ヲ爲シ豐田消防組員二十名ニ對シテハ桐生市集合所ニ於テ第一小隊長ヨリ引繼テ受クヘシ
- 五、第三中隊第三小隊長ハ栃木驛ニ於テ第一列車ニ乗車シ第三號ノ指揮ヲ爲スヘシ
- 六、第五中隊長ハ栃木驛ニ於テ第二列車ニ乗車シ同第一小隊、及第三小隊員中栃木、富田、足利ノ各驛ヨリ乗車スル者ニ對シ第三號ノ指揮ヲ爲シ桐生市集合所ニ於テ所屬小隊長ニ引繼クヘシ
- 七、第五中隊第三小隊長ハ黒田原驛ヨリ第一列車ニ乗車シ第五中隊第二小隊及同第三小隊員中宇都宮署管内ノ者ニ對シ第三號ノ指揮ヲ爲スヘシ
- 八、各部隊長ハ列車桐生驛ニ到着シタルトキハ各小隊毎ニ降車セシメ隊伍ヲ整ヘ集合所ニ引率スルモノトス
- 九、集合所ニ到着シタルトキハ編成表ノ定ムル所ニ依リ整列セシメ人員並ニ服裝ノ點檢ヲ爲シ休憩セシムヘシ
- 一〇、第五中隊長ハ同第二小隊第三小隊所屬受閱者中甲種服裝ニ變更シタル者アリタルトキハ編成表ニヨラス凡テ第一小隊ニ編入スヘシ
- 一一、午前七時各小隊毎ニ二列横隊ニ整列セシメ點呼ノ上四列縦隊トナシ左記隊形ヲ編成シ大隊長ノ指揮ヲ待ツヘシ



一五、大隊長ヨリ命令アリタルトキハ四列縦隊ノ儘第一中隊第一小隊ヨリ順次行進シ式場ニ入り第一中隊ヲ右翼トシ順次要項附録第二表ノ位置ニ着カシメ大隊長ノ指揮ヲ待ツヘシ

一六、式終了後解散ノ命令アリタルトキハ各部隊長ハ式場參入ノ順序ニヨリ四列縦隊ニテ集合所ニ引率シ一旦解散スルモノトス

一七、各部隊長ハ歸路列車出發時刻三十分前マテニ隊員ヲ集合所ニ集合セシメ引率シ部隊順ニ依リ整然ト乗車セシムヘシ

一八、各部隊長ハ別表歸路降車驛ニ至リタルトキハ隨意歸署スルモノトス

中小隊長乗車驛表

列車別	往路乗車驛	歸路降車驛	中隊名	小隊名	勤務署	官職名	氏名
一	黒磯	西那須野	一	一	大田原	警部	大貫 隣四
一	西那須野	字都宮	一	二	日光	警部補	手塚 要
一	矢板	字都宮	一	三	沼光	巡查	高久 邦治
一	資積寺	字都宮	一	四	日光	巡查	館野 久治郎
一	字都宮	字都宮	二	一	字都宮	警部補	荒井 彰
一	西那須野	西那須野	二	二	川西	巡查部長	星 敏
一	字都宮	字都宮	二	三	衛生課	巡查部長	鈴木 鶴壽
一	字都宮	字都宮	二	四	日光	巡查	渡邊 新太郎
二	小山	小山	三	一	岡野	警部	齋藤 直
一	栃木	佐野	三	二	野野	警部補	菊地 七郎
一	栃木	字都宮	三	三	木	巡查部長	矢板 庄五郎
二	小幡	小山	四	四	岡	巡查	見目 照真
二	小幡	小山	四	一	山	警部	吉村 角三郎
二	小幡	木	四	二	木	警部補	大島 喜一郎
二	小幡	木	四	三	木	巡查部長	水沼 正治

第一中隊	
第四小隊 (日光) 館野久次郎 巡査	第三小隊 (鹿沼) 高久邦治 巡査
宇都宮 寶積寺	寶積寺 氏家 矢板
水山益境 計 橋前子	那武大大下七向馬烏 山江 珂茂内田川合田頭山
一〇四 一一七四二九	一〇四 一一二九 一一八二二三 一一九八一
第二中隊	
第二小隊 (川西) 星敏 巡査部長	第一小隊 (宇都宮) 荒井彰 警部補
宇都宮	宇都宮
逆茂祖南物眞清田久大 計 川木井澤部岡原野田内	橫篠古絹瑞姿雀富國城宇 計 川井里島野川宮屋木山宮
一〇〇 一一〇二八九一二二九五二	一〇四 一一二三五八九〇二八四一一

第一中隊	
第一小隊 (大田原) 警部 大貫隣四	乘車驛 西那須野 東那須野 黑磯 黑田原 豐原
計 金西大 鍋高東 那黑 伊那芦 那 那須野 田那 掛那 須磯 野野 野須 野原 野原 林野 野磯 野野 野須	組名 那須野 須野 野須 磯野 林野 野原 野原
一〇四 二一〇二七 一一七三二 七六 一九九 一	人員 一〇四 二一〇二七 一一七三二 七六 一九九 一
第二中隊	
第二小隊 (日光) 警部補 手塚要 手塚要	乘車驛 矢野 西那須野
計 片野泉矢 親佐 湯須兩黑川幕獵狩 岡崎 板 園山 上川郷羽西根原野	組合 片野泉矢 親佐 湯須兩黑川幕獵狩 岡崎 板 園山 上川郷羽西根原野
一〇二 九〇一九 二九 一一二 一一一 七八	人員 一〇二 九〇一九 二九 一一二 一一一 七八

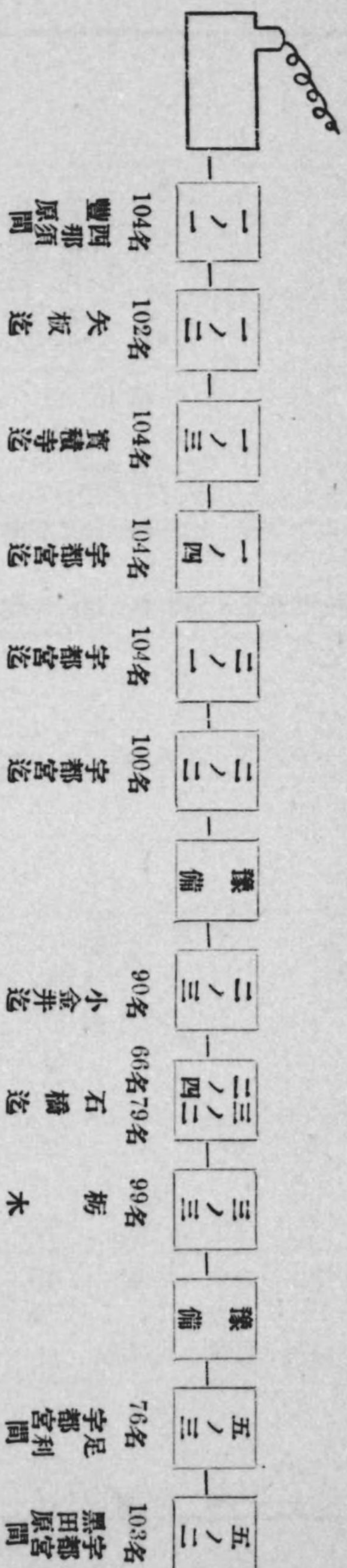
各部隊乘車驛別人員表

一	二	二	二
黑田原	先着	栃木	小山
宇都宮	宇都宮	栃木	小山
五	五	五	四
三	二	一	四
鹿沼	保安課	鹿沼	小山
巡査部長	警部補	警部補	巡査
太平	渡邊	佐山	高田
幸一	一男	要三	直藏

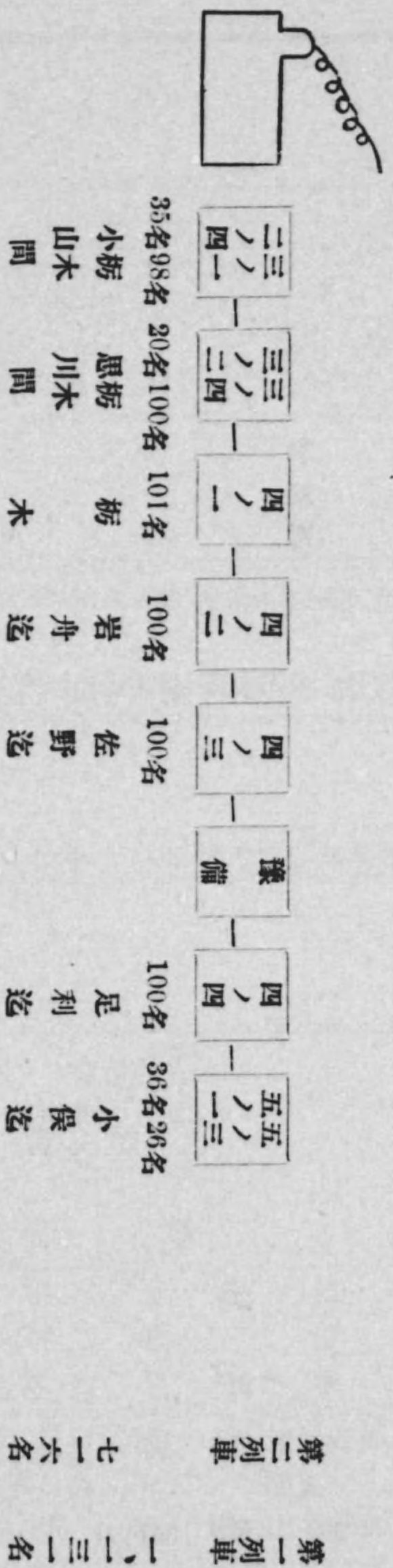
備考 小山驛乘車ハ小山始發列車ニテ桐生著集會所ニ於テ 編成ニ入ル	第二中隊	
	第四小隊 巡査(日光) 渡邊新太郎	第三小隊 (衛生) 巡査部長 鈴木 鶴壽
	小山 石橋 小金井	宇都宮 石橋 小金井 (前夜) 桐生市泊
	計 間々 石橋 小山 上藥明本 吉 田 橋 山 川寺治郷 田	計 足長(中) 須小市七 尾沼(真岡) 川藤貝羽合
一〇一	二〇六	九八
第三中隊		
第二小隊 (佐野) 警部補 菊地 七郎	第一小隊 (真岡) 警部 齋藤 直	
栃 思 川	小 山	
計 家大南稻壬栃豐 中宮飼業生木田	計 野大姿國絹桑穂 木谷寺積	
九	一	二
〇	二	〇
九	二	〇
九	二	〇

第三中隊	
第四小隊 (真岡) 巡査 見目 照真	第三小隊 (茂木) 巡査部長 矢板庄五郎
栃 木	栃 木
計 菊南板清北西柏栗鹿眞永 押大 名 野沼子野	計 國生中(栃木) 瑞皆寺吹赤 府井 穂川尾上津
一〇〇	九
〇	九
〇	九
〇	九
第四中隊	
第二小隊 (栃木) 警部補 大島喜一郎	第一小隊 (小山) 警部 吉村角三郎
岩 大 栃 舟 平 木 下 木	栃 木
計 赤三藤 水富 三栗藤大豐落 麻鴨岡 代山 依山原澤岡合	計 小今日加南北東西 來 押犬大 川市光蘇原飼芦方
一〇〇	一〇
〇	〇
〇	〇
〇	〇

第一號列車(3.102號列車) 13輛



第二號列車(3.604號列車) 8輛



列車指定表

御親閲拜受消防組員ノ豫行演習實施

御親閲拜受消防組員ニ對シ左記順序ニヨリ豫行演習ヲ行ヒ、同時ニ御親閲拜受上ノ注意ヲ訓示セリ。

- 一、日時場所
- 二、執行順序
- 三、點檢者
- 四、召集スヘキ者

豫行演習日割

日	時	場	所	集	合	區	域	集	合	人	員
十月二十日	午前九時 午後一時	宇都宮市	上三川町	宇都宮警察署管内	宇都宮警察署管内	宇都宮警察署管内	宇都宮警察署管内	一八〇	一	八〇	六四
十月二十一日	午前九時 午後一時	栃木町	小山市	栃木警察署管内	栃木警察署管内	栃木警察署管内	栃木警察署管内	二九三	一	三三	四
十月二十四日	午前九時	佐野町	佐野町	佐野警察署管内	佐野警察署管内	佐野警察署管内	佐野警察署管内	一〇四	一	〇	四
十月二十二日	午前九時	足利市	足利市	足利警察署管内	足利警察署管内	足利警察署管内	足利警察署管内	一一〇	一	〇	四
十月二十五日	午前九時 午後一時	日光町	日光町	日光警察署管内	日光警察署管内	日光警察署管内	日光警察署管内	一六〇	一	〇	〇
省略				足尾警察署管内	足尾警察署管内	足尾警察署管内	足尾警察署管内	一〇			

十月二十六日	午前九時 午後一時	矢板町	黒磯町	喜連川町	烏山町	大田原町	川西町	眞岡町	茂木町	管内	七 六 四
十月二十七日	午前九時 午後一時	矢板町	黒磯町	喜連川町	烏山町	大田原町	川西町	眞岡町	茂木町	管内	七 五 八
十月二十八日	午前九時 午後一時	矢板町	黒磯町	喜連川町	烏山町	大田原町	川西町	眞岡町	茂木町	管内	八 四 六
十月二十九日	午前九時 午後一時	矢板町	黒磯町	喜連川町	烏山町	大田原町	川西町	眞岡町	茂木町	管内	八 五 六

演保第一二二號

御親閲當日ニ於ケル部隊編成及輸送

各 警 察 署 長

消防組御親閲ニ關スル件

標記ノ件ニ關シ其ノ署所屬警察官ニシテ中、小隊長タルヘキ者及受閱消防組員ニ對シ左記事項周知セシメ受閱上遺憾ナキヲ期セラルヘシ

昭和九年十一月五日

栃木縣警察部長

一、部隊編成ニ就テ

受閱者ノ部隊編成ハ甲種、乙種ノ服裝別ニヨリ臨時列車乗車標準ニシテ編成シタルヲ以テ警察署管轄ニ據リ得サルモノ多ク部隊長モ警衛配置計畫ノ關係モアリ各署ヨリ平均ニ選任シ得サリシ結果別表ノ通り編成ノ餘儀ナキニ至リタルニ付諒知セラレ度

二、輸送ニ就テ

- (1) 受閱者輸送ハ臨時列車ニ依ルモノトシ發着時刻別紙ノ通り
尙部隊長心得及受閱者注意事項中輸送ニ關スル部分参照ノコト
- (2) 栃木署管内受閱者中栃木驛ヨリ乗車スヘクニ報告アリタル
栃木町、壬生町、稻葉村、南大飼村、大宮村、家中村（以上第三中隊第二小隊所屬）赤津村、吹上村、寺尾村、皆川村、瑞穂村、中村、生井村、國府村（以上第三中隊第三小隊所屬）ノ各消防組員ハ栃木驛ニ於テ第一列車（白河驛始發）ニ乗車スヘキニ付行運ナキ様注意セラレ度
- (3) 賃金ハ三割引トシ割引券ハ別途送付スヘキニ付受閱者ニ交付スルコト
割引券ハ番號順ニ依リ名簿ヲ作製シアルニ付各封筒宛名ノ者ニ交付シ彼此變更セサル様注意スルコト
- (4) 部隊長タル警察官吏ハ役員トシテ割引證ヲ使用支障ナキ旨運輸局ヨリ通牒アリタルニ付關係者ニ周知セシメラレ度
- 三、部隊編成表受閱者心得（公設消防組）
御親閲要領）受閱章（受閱章ノ番號ハ部隊長氏名上部ノ番號トハ一致スルコトヲ要ス汽車割引證ト同セリ）
部隊長胸章受閱者注意事項、部隊長心得等別途送付スヘキニ付夫々交付スルコト
- 四、受閱者心得ハ各受閱者ヲシテ豫メ熟讀セシメ置クコト
- 五、解散ニ就テ解散後各部隊長ハ一定ノ時刻マテニ隊員ヲ集合所ニ集合セシメ順序ヲ正シ乗車セシメ歸路ニ著クモノトス

御親閲記念章交付

御親閲ヲ記念スル爲受閱消防組員並縣下各警察署長、各部隊長、御親閲委員、各警察署消防主任ニ對シ公設消防組員御親閲記念章ヲ交付シタリ。

御親閲記念章

(表)



(裏)



七〇四

第十三節 其ノ他

特別大演習並地方行幸ニ際シ地方警備ニ或ハ車輛ノ借上・配置等ニ盡力セラレタル、消防組・栃木縣自動車協會・市町村長ニ對シ左ノ通り禮狀ヲ發送シタリ。

自動車協會支部役員ニ對スル禮狀

謹啓 時下秋冷ノ候益々御清祥ノ段奉賀候

陳者 今次ノ陸軍特別大演習並地方行幸ニ際シテハ車輛ノ雇上其ノ他關係事務ニ付多大ノ御配慮御盡力ニ預リ御陰ヲ以テ無事保安係トシテノ任務ヲ果シ得タルハ偏ニ各位ノ深厚ナル御援助ノ賜ト深ク感銘仕候
先ハ不取敢書中ヲ以テ御禮申述度如斯御座候 敬具

昭和九年十一月十九日

栃木縣警察部

保安課長 朝比奈太郎

殿

謹啓 時下益々御清穆ノ段奉賀候

陳者 這般ノ陸軍特別大演習並地方行幸ニ際シテハ警衛警備上警察補助トシテ格段ナル御盡力ヲ相煩候處御蔭ヲ以テ諸事些ノ凝滞ナク重任ヲ遂行シ得タル段誠ニ御同慶ニ不堪候之レ偏ニ貴下並貴部下ノ深甚ナル御後援ニ外ナラズ御厚意感謝ノ至リニ候

茲ニ不取敢書中感謝ノ意ヲ表シ度如斯御座候 敬具

追テ組員各位ニ可然御傳達相煩度候

昭和九年十一月二十二日

栃木縣警察部長

各消防組頭殿

謹啓 時下益々御清穆ノ段奉賀候

陳者 這般ノ陸軍特別大演習並地方行幸ニ際シテハ警衛警備上格段ナル御盡力ヲ相煩尙各種補助員ノ選任、地方警備ニ付テハ又格別ナル御配慮ヲ忝フシ以御蔭些ノ凝滞ナク完了致候段誠ニ御同慶ニ不堪候
茲ニ不取敢書中ヲ以テ感謝ノ意ヲ表シ度如斯御座候 敬具

昭和九年十一月十二日

栃木縣警察部長

各市町村長殿

七〇五

第四章 衛生救護關係

地方行幸並ニ陸軍特別大演習ニ關シテハ、之等關係ノ傳染病豫防其ノ他衛生ノ萬全ヲ期スルコト極メテ緊要ナルニ依リ、三月八日制定セル特別大演習事務取扱規定中ニ衛生救護ノ條章ヲ設ケ、該事務ヲシテ衛生課長ニ分掌セシメ、同課員中ヨリ衛生救護係委員ヲ命セリ。而シテ關係地ハ、地方行幸地トシテ、足利市縣立足利工業學校並ニ同市上水道配水池ノ二ヶ所、大演習地トシテ、演習第一日ニ御統監アラセラレシ足利郡富田村岡崎山ノ一ヶ所ナリシガ、大演習地ハ野外統監部ヲ中心トシテ安蘇郡及下都賀郡ノ一部ニ亘リタルニ依リ、地方行幸地及野外統監部ノ所在地並ニ當該附近ノ地方ニ重點ヲ置キ、必要ノ事項ハ縣下一般ニ亘リテ執行セル等、萬遺策ナキニ努メタリ。

衛生諸般ノ主ナル事項左ノ如シ。

- 一、地方行幸地、野外統監部及御道筋附近ノ衛生
 - 1 地方行幸地、野外統監部ニ出入スル縣、市町村係員其ノ他關係者ノ健康診斷、排泄物細菌検査、豫防注射、同豫防内服藥服用
 - 2 御道筋附近ノ清潔保持、消毒方法、檢病の戸口調査
 - 3 地方行幸地及野外統監部ノ必要ナル場所、物件並御道筋ヨリ三百三十メートル以内ノ清潔保持、消毒方法、惡臭發散防遏
- 二、献上品天覽ノ衛生

- 1 製作、取扱、栽培、運搬其ノ他從事者、上納者家人ノ健康診斷、豫防注射、同豫防内服藥服用、排泄物細菌検査、健康視察

- 2 献上並天覽豫定品及製作若ハ取扱場所ノ清潔方法及消毒方法

三、御使差遣所ノ衛生

- 1 差遣所關係者ノ健康診斷、排泄物ノ細菌検査等

- 2 必要ナル場所ノ消毒

四、一般衛生

- 1 急性傳染病豫防

イ、檢病の戸口調査 ロ、病原体保有者檢索 ハ、豫防注射 ニ、清潔方法 ホ、蠅及鼠族ノ驅除 ヘ、下水溝渠ノ浚渫及改善 ト、衛生組合ノ活動 チ、石油乳劑ノ撒布 リ、隔離病舎ノ整備

- 2 慢性傳染病豫防

イ、結核豫防及トラホーム豫防 ロ、癩豫防及同患者取締 ハ、地方病ノ豫防 ニ、寄生蟲ノ驅除

- 3 保健衛生

イ、飲食物ノ取締 ロ、飲用水(井水)水質検査及改善 ハ、清潔飲料水ノ取締 ニ、牛乳搾取場ノ改善及牛乳検査
ホ、屠場ノ改善取締 ヘ、獸肉魚介販賣業者取締

- 4 獸疫豫防

- イ、狂犬病豫防注射及野犬掃蕩
- ロ、畜犬ノ繫留及取締
- ハ、炭疽豫防注射
- 5 救 護
- イ、地方行幸地及野外統監部ノ附近ニ救護所ノ設置
- ロ、前記ノ該當地及大演習地域ニ軍馬救護所落鐵護蹄救護所ノ設置
- 6 其ノ他必要ノ事項

第一節 施設計畫

衛生事務ノ圓滑ナル連絡ト統一ヲ圖リ執行ノ徹底ヲ期スル爲、先ツ三月ニ左ノ衛生事務取扱心得ヲ制定シ、更ニ各般ノ衛生事務月別施行豫定計畫ヲ作製シ、各衛生救護係員、關係市町村長並ニ警察署長ニ示達シ、實施ノ萬全ヲ期セシメタリ。尙宮内省及參謀本部ヨリ三月指示セラレタル衛生事項ヲ爲念附記ス。

昭和九年陸軍特別大演習並地方行幸衛生事務取扱心得

第一章 總 則

- 第一條 行幸及大演習ニ關スル衛生事務ハ各關係法規ニ依ルノ外本取扱心得ニ依リ之ヲ處理スヘシ
 - 第二條 衛生係員ハ其ノ主管事務ニシテ急速ヲ要スルモノアルトキハ便宜ノ方法ニ依リ衛生救護係長ニ即報シ指揮ヲ承ケ處理シ時機ヲ失セサル様注意スヘシ
 - 第三條 警察官吏、衛生官吏其ノ他衛生係員ハ其ノ主管事務ニ付取締ヲ爲ストキハ懇切丁寧ヲ旨トスヘシ
- 第二章 行幸衛生ニ關スル事項
- 第一節 清潔方法及消毒方法ニ關スル事項

第四條 野外統監部、地方行幸地、御昇降驛等ノ消毒ヲ委託セラレタル場合ハ衛生技術員ニ於テ大正二年宮内次官及内務次官ノ通牒ニ基キ之ヲ行フヘシ

第五條 天覽ニ供シ、献納スヘキ物品ハ總テ衛生係員ノ清潔方法、消毒方法ノ施行ヲ受クヘシ

第六條 御用ノ自動車、人力車、荷車等ハ衛生係員ノ清潔方法及消毒方法ノ施行ヲ受クヘシ

第七條 野外統監部、地方行幸地、御昇降驛等ノ周圍三百三十メートル以内並御道筋兩側三百三十メートル以内ノ民衆ニ對シ左ノ事項ヲ施行セシムヘシ

- 一、行幸前日迄ニ豫メ臨時清潔方法ヲ行フコト
 - 二、下水、溝渠、厠間、汚物溜、肥料置場、其ノ他ノ不潔ノ場所ハ浚深ヲ行ヒ清潔ヲ保持シ且惡臭ノ發散防止ノ方法ヲ講ツルコト
 - 三、御道筋兩側三百三十メートル以内ノ耕地ニハ行幸五日前ヨリ御還幸迄ノ間糞尿ヲ施肥セサルコト
- 第八條 足利及佐野警察署長ハ關係土木區主幹並市町村長其ノ他ト協議ノ上御道筋ノ清掃ニ努ムヘシ

第二節 健康診斷及排泄物検査ニ關スル事項

第九條 行幸二十日前ヨリ行幸當日迄左ノ該當者ニ對シ衛生係員ハ健康診斷、排泄物検査ヲ行フヘシ

- 一、野外統監部ノ用務ニ従事スル者
- 二、天覽品、献上品其ノ他器容ノ製作者ハ取扱ニ従事スル者並其ノ家族、同居者
- 三、地方行幸地ニ於テ行幸事務ニ直接關係アル従業員
- 四、御雇上自動車ノ運轉者
- 五、御警衛ニ従事スル警察官吏
- 六、侍從御差遣所ニ於ケル従業員
- 七、其ノ他必要ト認ムル者

第三節 檢病の戸口調査ニ關スル事項

第十條 野外統監部、地方行幸地、御昇降驛等ノ周圍三百三十メートル以内及御道筋兩側三百三十メートル以内ノ住民ニ對シ所轄警察署長ハ行幸二週日前ヨリ行幸當日迄檢病の戸口調査ヲ勵行スヘシ

第十一條 前條ノ地域内又ハ其ノ附近ニ宮内傳染病豫防令第一條第一類及第二類ノ傳染病者ハ其ノ疑アル患者ヲ發見シタルトキハ所轄警察署長ハ迅速ニ適當ナル措置ヲ爲シ警察部長ニ即報スヘシ

第十二條 警察署長ハ献上品、天寶品、竝容器製作、栽培、採取、漁撈、其ノ他取扱ニ從事スル者、及其ノ家族、同居者ノ健康状態ヲ時々視察シ傳染病ノ疑アル患者ヲ發見シタルトキハ警察部長ニ即報スヘシ

第三章 大演習衛生ニ關スル事項

第一節 軍隊宿舎、料理屋、飲食店等ニ關スル事項

第十三條 軍隊宿舎、宿屋、料理屋、飲食店、食座等ニ關スル衛生上ノ心得ハ別ニ定ムル所ニ依ル

第十四條 演習地域關係警察署長ハ軍隊宿舎、宿屋、料理屋、飲食店、食座等ニ豫メ第十三條ノ心得書ヲ配布シ之ヲ遵守セシメ衛生上ノ施設其ノ指導取締ヲ行フヘシ

第十五條 昭和九年八月以降ニ於テ傳染病患者發生シタル家又ハ病原体保有者、癩若ハ結核等ノ患者アル家ヲ軍隊宿舎ニ充テサル様注意スヘシ

第二節 飲食物及飲食用器具等ノ取締

第十六條 演習地域内ニ於ケル宿屋、料理屋、飲食店其ノ他ノ飲食物營業者ニ對スル取締ハ各關係法令ニ從ヒ嚴重ニ之ヲ行フヘシ

第十七條 市町村長ハ其ノ地域ニ於ケル飲料井水ノ水質検査ヲ受ケシムヘシ

前項検査ノ結果必要ト認ムルモノニ對シ井戸ノ改善若ハ改善方法ヲ講セシムヘシ

第十八條 市町村ニ於ケル飲料水ハ水質検査ノ成績ニ基キ其ノ良否ヲ識別シ得ラルル様標識スヘシ

第十九條 屠場及牛乳營業取締ニ付テハ各關係法規ニ從ヒ營業者ヲ指導督勵シ特ニ牛乳搾取場ノ臨檢ハ之ヲ時々行フヘシ

第三節 傳染病豫防ニ關スル事項

第二十條 市町村長ハ其ノ市町村住民ニ對シ成ルヘク十月末日迄ニ「腸チフス」、「バラチフス」豫防注射ヲ施行スヘシ

第二十一條 警察署長ハ昭和九年八月十六日付衛發第一一、七一二號通牒ニ基キ管内住民ニ對シ檢病の戸口調査ヲ勵行シ傳染病患者ノ早期發見ニ努ムヘシ

第二十二條 警察署長及市町村長ハ病原体保有者ニ對シ傳染病豫防法施行規則第十一條ノ當該事項ヲ特ニ勵行セシムヘシ

第二十三條 演習地域内ノ警察署長並市町村長ハ警察部長ノ指示ニ依リ病原体保有者ノ檢案ヲ行フヘシ

第二十四條 演習關係地域内ノ市町村長ハ十月末日迄ニ其ノ市町村住民ヲシテ臨時清潔方法ヲ施行セシメ居宅ノ周圍、便所、便池、溝渠、下水、汚物溜、汚水溜、肥料置場、其ノ他不潔ナル場所ノ浚深若ハ消毒の清潔方法ヲ行ハシムヘシ

第二十五條 演習地域内ノ市町村長ハ昭和九年八月以降ニ於テ傳染病患者發生シ又ハ現ニ傳染病患者若ハ病原体保有者在ルトキハ市町村ノ入口其ノ他見易キ場所ニ病名、發生、並現在患者數、最終發生月日及患者ノ現在セル位置等ヲ標示スヘシ

第二十六條 市町村長ハ傳染病患者ヲ收容又ハ隔離中ノ病院、病舎其ノ他ノ場所ニ對シ其ノ門戸、見易キ箇所ニ病名及患者數ヲ標示スヘシ

第二十七條 市町村長ハ其ノ市町村内ニ於ケル本年ノ傳染病患者統計表ヲ作製シ置キ軍隊其ノ他ヨリ要求アリタルトキハ之ヲ交付スヘシ

第四節 救護ニ關スル事項

第二十八條 救護所若ハ救護班ハ固定及移動ノ二種トシ縣及郡市醫師會其ノ他ノ團體ニ於テ之ヲ設置シ演習陪觀者、演習係員、拜觀者其ノ他ノ傷病者ヲ救護スヘシ

第二十九條 救護所及救護班ニハ「何々救護所」又ハ「何々救護班」ト記セル標識ヲ掲ケ夜間ハ同一文字ヲ記セル大提灯ヲ掲揚スヘシ

第三十條 救護所及救護班ニハ日誌ヲ備ヘ傷病者ノ住所、氏名、年齢及傷病名其ノ他必要ナル事項ヲ記載スヘシ

第三十一條 被救護者重症ナルトキハ應急手當ヲ爲シ速ニ救護所又ハ救護班所在地ノ警察官吏若ハ市町村長等ト協議ノ上親族、知人其ノ

他ノ引取人ニ引渡ス等適宜ノ措置ヲ講スヘシ
 被救護者軍人又ハ演習係員ナルトキハ其ノ所屬部隊長若ハ演習關係ノ係長ニ急報シ傳染病患者ナルトキハ直ニ患者所在地ノ市町村長ニ
 之ヲ引渡スヘシ

第五節 獸疫豫防ニ關スル事項

第三十二條 演習地域ニ於ケル獸疫豫防ノ爲警察官吏ハ常ニ家畜ノ健康狀態ヲ觀察シ異狀ヲ認メタルトキハ速ニ獸醫師タル家畜防疫委員
 又ハ獸醫師ノ診斷ヲ受ケシムル等早期發見ニ努ムヘシ
 第三十三條 警察署長又ハ家畜防疫委員ニ於テ炭疽、腺疫、狂犬病若ハ其ノ疑アル病畜ヲ發見シ又ハ届出ヲ受ケタルトキハ速ニ警務部長
 ニ報告スヘシ
 第三十四條 市町村吏員ニ於テ炭疽、腺疫並ニ狂犬病若ハ其ノ疑アルモノヲ發見シ又ハ届出ヲ受ケタルトキハ速ニ警察官吏若ハ家畜防疫委
 員ニ通報スヘシ
 第三十五條 演習地域内ニ昭和九年八月以降ニ於テ炭疽、腺疫又ハ狂犬病等ノ病畜アリタルトキハ當該市町村長ハ其ノ市町村ノ入口其ノ
 他適當ノ場所ニ其ノ病名、發生月日、病畜數並病畜現在ノ位置等ヲ標示スヘシ

衛生救護係行事月次豫定計畫

第	月	執行期		行	事	豫	定	備	考
		月次	班別						
四	疫防班	一、種痘督勵	二、赤痢、疫痢豫防内服藥服用獎勵	三、腸「チフス」「パラチフス」豫防注射督勵	一、家畜現在數調査	二、斃獸調査			
五	御衛生班	一、警察官(全員)ノ健康診斷、腸「チフス」「パラチフス」豫防注射並保菌者検査	二、赤痢、疫痢豫防内服藥服用獎勵	三、種痘督勵	四、蠅鼠族驅除獎勵	五、衛生救護事務取扱手續ノ制定	六、大演習衛生事務打合會議開催	七、清潔方法獎勵	八、傳染病關係統計並圖面作製

一	月	五		六	
		御衛生班	疫防班	御衛生班	疫防班
五	御衛生班	一、警察官(全員)ノ健康診斷、腸「チフス」「パラチフス」豫防注射並保菌者検査	二、赤痢、疫痢豫防内服藥服用獎勵	三、種痘督勵	四、蠅鼠族驅除獎勵
五	疫防班	一、種痘督勵	二、赤痢、疫痢豫防内服藥服用獎勵	三、腸「チフス」「パラチフス」豫防注射督勵	四、清潔方法ノ督勵
六	御衛生班	一、警察官(全員)ノ健康診斷、腸「チフス」「パラチフス」豫防注射並保菌者検査	二、赤痢、疫痢豫防内服藥服用獎勵	三、種痘督勵	四、蠅鼠族驅除獎勵
六	疫防班	一、種痘督勵	二、赤痢、疫痢豫防内服藥服用獎勵	三、腸「チフス」「パラチフス」豫防注射督勵	四、清潔方法ノ督勵

期	二		第		
	月	九	月	八	
御	班疫防畜家	班健保	班疫防衛警御	畜家班健保	班疫
	一、狂犬豫防注射 二、炭疽豫防注射 三、野犬掃蕩 四、斃獸調查 五、家畜ノ健康狀態調查	一、檢病ノ戶口調査 二、消毒ノ清潔方法督勵 一、飲食物及飲食用器具檢査並取締 二、宿屋、料理屋、飲食店等ノ庖厨衛生檢査取締 三、飲料(井戸)改善並井水消毒勸奨 四、宿屋、料理屋、飲食店等衛生上ノ心得制定	一、檢病ノ戶口調査 二、野外統監部並御道筋附近三丁以内各戸ノ檢病ノ戶口調査 三、野外統監部並御道筋附近三丁以内各戸ノ周圍並下水溝等ノ清潔保持並蠅驅除督勵	一、斃獸調查 二、獸肉並牛乳檢査取締	一、飲料(井戸)水水質檢査 二、檢病ノ戶口調査 三、保菌者檢査
	一、行幸關係地町村長ヲ會同シ衛生打合會議 二、野外統監部並地方行幸地及其ノ御道筋附近三丁以内民家ノ				

期	七		月		
	月	七	月	七	
防	畜家班健保	班疫防	班護救	畜家班健保	班健保
	一、斃獸調查 二、家畜ノ健康狀態調査、野犬掃蕩、狂犬病豫防注射等ニ關シ關係警察署、市町村長へ通牒	一、飲料(井戸)水水質檢査 二、飲食物檢査、飲食用器具檢査並宿屋等ノ庖厨檢査方關係警察署長へ通牒 一、腸「チフス」「パラチフス」豫防注射督勵 二、蠅並鼠族驅除獎勵 三、軍隊宿舍心得書作製 四、本縣トノ接壤地ノ傳染病患者發生狀況通報方茨城、群馬、埼玉、各縣警察部長宛照會 五、保菌者檢査 六、檢病ノ戶口調査其ノ他防疫事務ニ關シ關係警察署並市町村長へ通牒	一、臨時救護所設置場所ノ豫定 二、臨時救護所所用品ノ整備着手 三、臨時救護班員服務規程ノ制定	一、飲料(井戸)水水質檢査 二、飲料井戸ノ改修並浚深督勵 一、斃獸調查	一、飲料(井戸)水水質檢査 二、檢病ノ戶口調査 三、保菌者檢査

御 警 衛 直

十 月

疫 防 畜 家	班 健 保	班 疫 防	班 生 々 衛 警
<p>一、狂犬病豫防注射 二、野 犬 掃 蕪 三、炭疽豫防注射 四、家畜健康状態調査</p>	<p>一、飲食物及飲食用器具検査並取締 二、宿屋、料理屋、飲食店等ノ庖厨ノ衛生検査並取締 三、飲料(井戸)水消毒獎勵 四、飲料(井戸)水ノ飲料適否標示方市町村長へ通牒</p>	<p>一、檢病の戸口調査 二、消毒の清潔方法督勵 三、軍隊宿舍心得配布方警察署長及市町村長へ通牒 四、傳染病患者發生數其ノ他標示方市町村長へ通牒 五、傳染病豫防ニ關シ大演習並地方行幸地關係郡市醫師會長へ通牒 六、防疫事務勵行方大演習並地方行幸關係地衛生組合長へ通牒</p>	<p>周圍及下水溝等ノ清潔保持並蠅驅除督勵 三、野外統監部並地方行幸地及其ノ御道筋附近三丁以内ノ民家ノ檢病の戸口調査 四、獻上品、天覽品並容器製作者取扱者及其ノ家族雇入等ノ健康診斷並保菌者検査 五、侍從御差遣所直接從業者ノ健康診斷 六、傳染病發生狀況ヲ宮内、内務兩省並參謀本部へ日報々告(二十七日ヨリ)</p>

接 衛 生 實

十 月

疫 防	班 生 々 衛 警 御	班 護 救	班
<p>一、足利市及佐野町並附近町村ニ於ケル傳染病院、隔離病舎視察取締 二、前號市町村ノ清潔保持督勵</p>	<p>一、野外統監部並御道筋附近三丁以内民家ニ對スル檢病の戸口調査 二、前記第一號地域ニ於ケル清潔保持並蠅驅除督勵 三、御通過路面ノ清掃 四、佐野町及富田村附近八ヶ町村並足利市、外ニ附近三ヶ村ニ於ケル畜犬緊留方督勵 五、獻上品、天覽品、製作者取扱者其ノ他必要ナル者ノ健康診斷及保菌者検査 六、野外統監部地方行幸地其ノ他御警衛々生上必要ナル場所並獻上品、天覽品等ノ消毒 七、野外統監部並御道筋附近ニ於ケル塵芥其ノ他汚物ノ運搬撤布汲取等ノ制限 八、傳染病發生狀況ヲ宮内省、内務省、參謀本部へ日報々告 九、衛生救護係事務所ヲ佐野町及足利市ニ設置 一〇、臨時消毒所開設</p>	<p>一、臨時救護所開設豫定地ノ實査 二、臨時救護所々要品ノ整備並配給 三、臨時救護所開設ニ關シ關係警察署長、市町村長、醫師會長等へ通牒</p>	<p>五、斃 獸 調 査 六、家畜傳染病發生數等標示方市町村長へ通牒</p>

第三號ハ關係當局ト連絡實施

便池ハ石灰乳ヲ投入シテ消毒ス

ロ、消毒ニ關スル注意

消毒後室ハ責任者ヲシテ毎日晝間開放シ、臭氣ヲ發散セシメ、夜間ハ密閉ス

消毒後ノ室及廊下ハ其ノ入口ニ「消毒濟」、「出入禁止」ノ揭示ヲナシ出入ヲ禁止ス

什器、器物ノ類ハ消毒後、消毒シタル白布ニテ被覆シ置ク

机掛、覆布、地圖其ノ他圖書ノ類ハ消毒後硫酸紙ニテ被覆シ置ク

便所ハ第一回消毒後使用ヲ禁止ス

便池ハ消毒後「過マンガン酸カリ」溶液ヲ撒布シ脱臭ス

II 縣立足利工業學校

イ、消毒方法

御座所ハ第一回「ホルムアルデヒド」瓦斯消毒ヲナシ、第二回ハ「アルコール」ニテ擦拭ス

校舍ハ第一回ハ「カリ石鹼水」ニテ擦拭シ、昇水ヲ以テ擦拭消毒シ、後清水ニテ擦拭シ、第二回ハ「アルコール」ニテ擦拭ス

但シ土間ハ第一回第二回共ニ「アルコール」ヲ噴霧ス

机、椅子ノ類ハ校舍ノ消毒方法ニ準ス

机掛、覆布ノ類ハ「ホルムアルデヒド」瓦斯消毒ヲナス

花卉、盆栽ハ日光消毒ヲナシ、鉢、瓶ノ類ハ「アルコール」ニテ擦拭シ、土ノ部分ハ消毒砂ヲ以テ覆フ

砂ハ焙燒シ消毒ヲナス

便所及便器ハ「カリ石鹼水」ニテ擦拭シ、昇水ヲ以テ校舍ニ準シ消毒ヲナス

便池ハ石灰乳ヲ投入シテ消毒ス

ロ、消毒ニ關スル注意

消毒後御座所及校舍ハ責任者ヲシテ毎日晝間開放シ、臭氣ヲ發散セシメ、夜間ハ密閉ス

消毒後ノ室及廊下ハ其ノ入口ニ「消毒濟」、「出入禁止」ノ揭示ヲナシ出入ヲ禁止ス

机、椅子ノ類ハ消毒シタル白布ニテ被覆シ置ク

机掛、覆布ノ類ハ消毒後硫酸紙ニテ被覆シ置ク

織機室ニ隣シ 御通路ニ沿ヘル便所ハ使用ヲ禁止シ、汲取ラシメ、消毒後「過マンガン酸カリ」溶液ヲ撒布シ、脱臭シ、出入口

ハ硝子戸ノ内方ニ白布ヲ張ラシム

2 献 上 品

イ、消毒方法

織物、大麻類ハ「ホルムアルデヒド」瓦斯消毒ヲナス

圖書類、右ニ同シ

果實類ハ「アルコール」ヲ以テ清拭ス。但シ葡萄ハ「クロール石灰水」ニ浸漬シ滅菌水ニテ清洗ス

野菜類(栗)ハ「クロール石灰水」ニ浸漬シ、後滅菌水ニテ清洗ス

罐詰、罐詰ノ食料品ハ外装ヲ「アルコール」ニテ清拭ス

漆器、陶器ノ類ハ「アルコール」ニテ清拭ス

ロ、消毒ニ關スル注意

係員ハ消毒着手前手ヲ消毒シ、消毒セル白衣ヲ着シ「マスク」ヲ掛ク

消毒シタル物品ハ消毒セル硫酸紙又ハ白布ヲ以テ被覆ス

3 天 覽 品

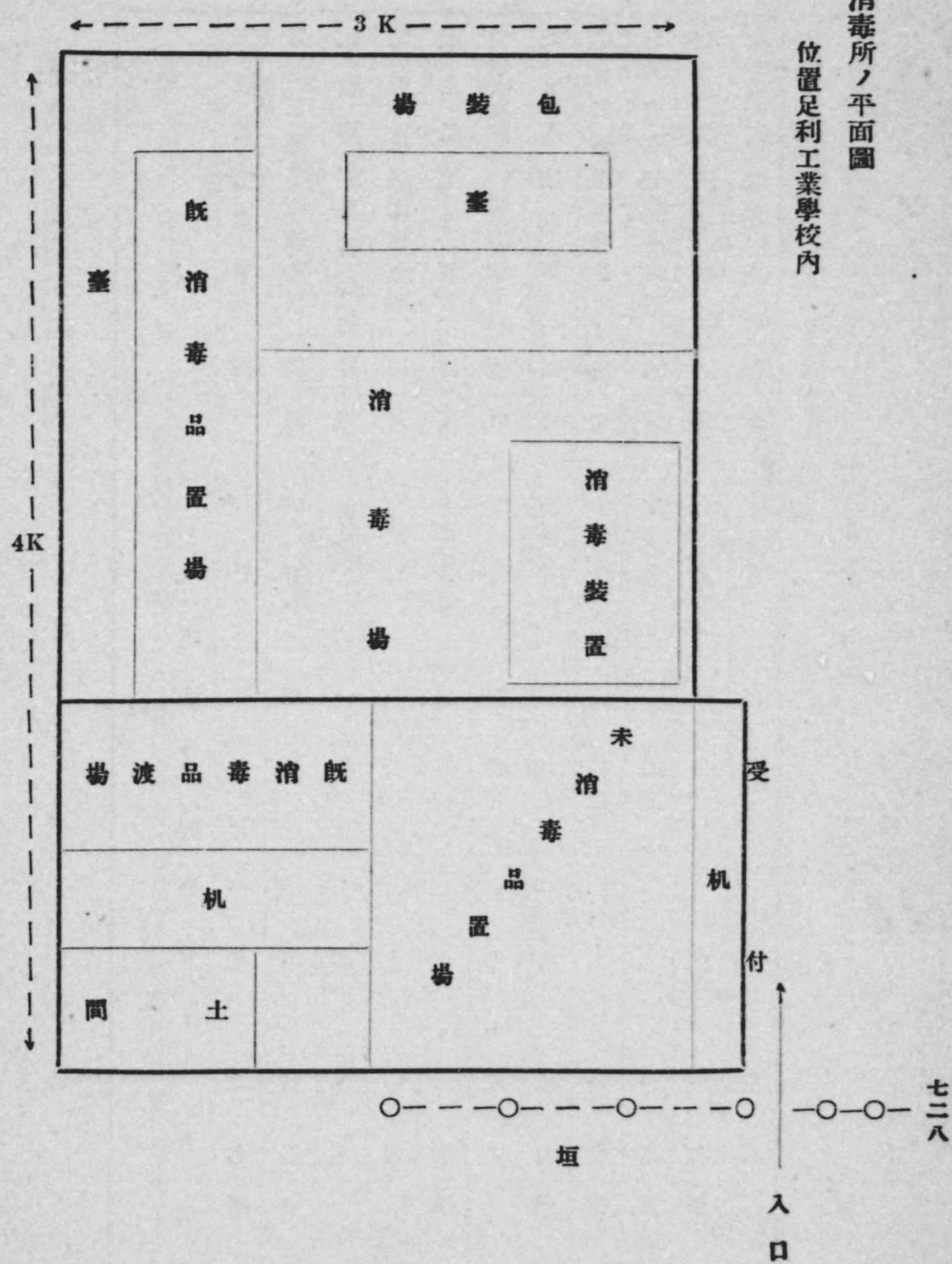
イ、消毒方法

織物ノ類ハ「ホルムアルデヒド」瓦斯消毒チナス
 陶器、漆器ノ類ハ「アルコール」ニテ清拭ス
 紙ノ類ハ「ホルムアルデヒド」瓦斯消毒チナス
 木製品ハ右ニ準シ消毒チナス
 罐詰、罐詰ノ食料品、清酒、醬油ノ類ハ外装ヲ「アルコール」ニテ清拭ス
 野菜ノ類ハ「クロール」石灰水ニ浸漬シ後滅菌水ニテ洗滌ス
 大麻製品、生糸、及ヒ真綿製品ハ「ホルムアルデヒド」瓦斯消毒チナス
 瓢製品、鑽石、金屬材料見本、煙草葉、黍葉ノ類ハ「ホルムアルデヒド」瓦斯消毒チナス
 石製品ハ「アルコール」ニテ清拭ス
 書畫、手工製作品ハ「ホルムアルデヒド」瓦斯消毒チナス
 消毒ニ關スル注意
 係員ハ消毒着手前手ヲ消毒シ、消毒セル白衣ヲ着シ「マスク」ヲ掛ク
 消毒シタル物品ハ消毒セル硫酸紙又ハ白布ヲ以テ被覆ス
 東武鐵道足利市驛
 消毒ニ關スル注意
 建物ノ御通路ニ當ル内壁、窓、柱、扉等ハ「カリ石鹼水」ニテ清拭シ、昇水ヲ以テ擦拭消毒シ後清水ニテ清拭ス
 但シ床面ハ「アルコール」ヲ噴霧ス
 消毒ニ關スル注意
 消毒後ハ出入ヲ禁止ス

大演習並地方行幸消毒日程

摘	要	消毒施行月日	係				員
			技術官	警察官	人	夫	
天覽品消毒第一回		十一月七、六日	二名	一名	二名	夫其ノ他	
足利工業學校消毒第一回		九、八日	四名	一名	四名	學生一〇名	
統監部所要材料消毒		九日(早朝)	一名	一名	二名		
足利市水道配水池第一回		九日(午後)	一名	一名	一名	足利市役所吏員二名	
献上品消毒第一回		十日	二名	一名	二名	學生一〇名	
佐野町及富田村履上自動車其ノ他		十一日	四名	一名	五名		
天覽品消毒第二回		十四日	三名	一名	三名	學生一五名	
足利工業學校消毒第二回		十五日	一名	一名	一名	同三名	
足利市水道配水池第二回		十六日	一名	一名	一名	市吏員三名	
献上品消毒第二回		十四、十五日	一名	一名	一名	學生三名	
東武鐵道足利市驛		十六日	二名	一名	三名		

消毒所ノ平面圖
位置足利工業學校内



第四款 御道筋ノ衛生

御道筋ヨリ三町以内ノ地域ニ對シテハ特ニ左ノ施設ヲ爲シ、衛生ノ完璧ヲ期セリ。

- イ、御通過二週日前ヨリ住民ニ對シ、毎日檢病的戸口調査ヲ行フコト
- ロ、家屋ノ内外下水溝渠塵芥溜等ヲ清掃スルコト
- ハ、便池ハ御通過ノ五日前迄ニ汲取臭氣ノ發散セザル様措置スルコト
- ニ、耕地等ニハ尿尿ヲ御通過五日前ヨリ撒布セザルコト

第三節 勅使御差遣地ノ衛生施設

勅使御差遣地ハ十一月三日ニ御決定相成タルニ依リ、御差遣場所ノ首長並ニ家族、御差遣ノ事務ニ直接關係スル者、御用飲食物ヲ納入スル者及御給仕等ニ對スル健康診斷ヲ別表日割ニ依リ縣技術官ヲシテ施行セシメ、併セテ保菌者檢査ヲ施行セリ。

尙、同場所ノ必要ナル箇所ニ對スル消毒ヲ、御差遣前日若クハ當日實施セリ。

御使御差遣地關係健康診斷並消毒施行計畫

出張月日	勅使御差遣先	所在地市町村名	技術官
十一月五日	一、別格官幣社唐澤山神社 二、旗川村青年團 三、日本縮緬製織株式会社	田沼町 旗川村 佐野町	佐野診療院 山口(治)技師

十一月五日	一、別格官幣社東照宮 二、國幣中社二荒山神社	日光町	山口(喜)技師
十一月五日	一、上野原農學寮 二、保證責任埴谷郡南部購買販賣利用組合氏家支庫 三、埴谷郡喜連川町 一、國幣中社二荒山神社	祖母井町 氏家町 喜連川町	高部防疫醫
十一月五日	二、財團法人三樂園 三、栃木縣師範學校 四、宇都宮中學校	宇都宮市 委川村	上澤防疫醫 櫻井防疫醫
十一月六日	一、木村絹織物工場 二、殿岡利助工場 三、山保毛織株式會社 四、足利織物同業組合	足利市 足利市 三重村 足利市	高部防疫醫
十一月六日	一、栃木婦人協會 二、上都賀郡南押原村下都賀郡稻葉村小藪耕地整理組合 三、栃木高等女學校	栃木町 稻葉村 栃木町	山口防疫醫
十一月七日	一、古河續業合名會社足尾鐵業所	足尾町	高部防疫醫

第四節 地方行幸地出入者等ノ衛生

地方行幸地タル足利市ノ足利工業學校及水道配水池關係職員及縣ノ關係職員ニ對シ、左ノ事項ヲ施行セリ。

1 施行範圍

工業學校長及家族、學校職員、生徒、賄人、水道配水池係員、足利市長及家族、同市助役、關係縣職員其ノ他ノ出入從業員

2 施行事項

イ、健康診斷
ロ、保菌者検査
ハ、「チフス」豫防注射(若ハ同豫防内服藥)ニ、寄宿舍賄人及入舍生徒ノ健康視察
(行幸二週日前ヨリ當日迄) ホ、校長及市長ハ喀痰ノ検査

第五節 防疫

第一款 檢病的戸口調査

一般傳染病患者早期發見ノ爲、隨時縣下必要ノ地域ニ對シ檢病的戸口調査ヲ行ヒ、特ニ八月ヨリ十月迄ノ間警察署、市町村當局、衛生組合等協力シ、縣下一齊ニ同調査ヲ反復施行セリ。殊ニ地方行幸地、御昇降驛、野外統監部並ニ御道筋ヨリ三町以内ノ住民ニ對シテハ最モ重キヲ置キ、其ノ他大演習地域ニ對シテモ周到ノ注意ヲ拂ヘリ。其ノ調査延人員三百五

十七万六千四百二十人、發見容疑者數百二人、内腸「チフス」ト決定セルモノ三十八人「バラチフス」ト決定セルモノ六人ニ及ビ、之等ハ速ニ防疫措置ヲ爲シ、豫防ニ一段ノ注意ヲ拂ヒタリ。該檢病的戸口調査ノ成績左ノ如シ。

昭和九年八月一日檢病的戸口調査成績表

備考	八月		九月		十月		計	人口万對發見患者率
	調査人員	發見容疑者數	調査人員	發見容疑者數	調査人員	發見容疑者數		
縣下一圓	一、九二、四〇〇	二五	一、五三、一四〇	二六	一、九二、一四〇	一三	三、五七、四〇〇	一〇三
發見容疑者欄右側ハ容疑者數左側ハ其内腸チフス、バラチフス患者ト決定シタル人員ヲ示ス								〇、八七

第二款 病原體保有者檢索

獻上品・天覽品ノ上納者・謹製者・取扱者・行幸地並ニ野外統監部出入ノ縣係員・關係市町村吏員等ヲ始メ、前一年以降縣下ニ於ケル消化器系傳染病ニ罹リ全治セル者、特殊飲食物營業者其ノ他必要ト認ムル者ノ排泄物ニ對シ細菌檢査ヲ行ヒタルニ、左ノ病原體保有者ヲ發見（内一名ハ足利市内腸「チフス」保菌者）シ、夫々法規ニ依リ取締ヲ嚴行シテ遺憾ナキヲ期セリ。尙野外統監部ニ至ル御昇降驛所在地ニシテ、主タル御道筋ニ方ル安蘇郡佐野町及隣接界村ニ於ケル御道筋附近ニハ、十月下旬ヨリ十一月月上旬ニ亘リ「チフテリア」ノ流行ヲ見タル爲、嚴密ナル防疫措置ヲ施シ、殊ニ御統監日間近ニ至リテ界村ノ御沿道ニ同患者發生シタルニ依リ、其ノ家人雇人三十五名ニ對シ病原體保有ノ有無檢査ヲ施行シタルニ、保菌者ヲ發見セズ。

昭和九年十一月一日保菌者檢査成績表

檢査人員	菌別		赤痢者數	檢査人員萬對保菌者發見率
	腸チフス	バラチフス		
二六、二八	四	三	一	八
				三、〇七

第三款 豫防注射（同豫防内服藥）

地方行幸地及野外統監部並ニ御道筋關係ノ十一ヶ市町村住民ニ對シテハ、特ニ腸「チフス」「バラチフス」豫防注射ヲ施行シ、事情ノ爲注射スル能ハザル者ニハ同豫防内服藥ヲ服用セシメ、其ノ他縣下一般ニ同豫防注射ヲ勸奨シ、一面同豫防内服藥及赤痢・疫痢豫防内服藥ノ服用ヲ奨勵シ、本縣豫防ノ實績ヲ舉クルニ努メタリ、注射並豫防内服藥服用人員左ノ如シ。

昭和九年十一月一日豫防注射及内服藥服用成績表

「チフス」豫防注射施行人員	同上豫防内服藥服用人員	計	赤痢豫防内服藥服用人員
一三八、〇二六	一三、二五〇	一五一、二七六	一〇四、三二三

備考 本表計上人員ハ注射者ハ内服藥服用ノ完了者ヲ示ス尙縣下一般施行分成績ナリ

第四款 一般清潔方法

縣下一般ニ定期清潔方法ノ勵行ヲ通牒シ、特ニ地方行幸地並ニ大演習地域タルベキ足利郡市及安蘇下都賀ノ兩郡内各町村ニ對シテハ、十月ニ於テ臨時清潔施行ヲ指示シ、實施セシメタリ。

第五款 麻疹、流行性感胃預防

宮内傳染病ノ豫防ニ關シテハ格段ノ考慮ヲ拂ヒテ警戒ニ努メ、地方行幸地並ニ野外統監部附近ニ於ケル關係醫師ニハ診察セル場合ノ届出、關係警察署長・市町村長ニハ同患者發見ノ際ノ報告方ヲ通牒スル等手段ヲ講ジタルガ、幸ニシテ該當地方ニハ麻疹・流行性感胃等ノ患者ノ發生ヲ見ザリキ。

第六節 保健衛生

第一款 井水水質検査及改善

地方行幸地及野外統監部附近ヲ始メ、大演習關係地タル下都賀・安蘇・足利各市郡、各町村ノ井水水質検査ヲ施行セリ殊ニ軍隊宿營地ニ對シテハ其ノ不適ノモノ、改善ヲ指導シ、飲用上支障ナカラシムルニ努メタリ。検査成績左ノ如シ。

大演習關係地方飲料井水水質検査一覽表

關係警察署別	検査開始終了別		検査市町村數	検査總數	飲料適數	飲料不適數	適不適歩合
	検査開始	検査終了					
足利署	七月二五日開始 八月三〇日終了		一五ヶ市町村外	九、五五三	六、三五一	三、二〇二	不適 〇〇、六六
栃木署	八月一〇日開始 九月一四日終了		一四ヶ市町村外	八、八五一	七、二一七	一、六三四	不適 〇〇、八一
佐野署	六月一日開始 八月二六日終了		七ヶ市町村外	七、二七〇	四、二六四	二、〇〇六	不適 〇〇、四一
小山署	九月一日開始 九月一九日終了		七ヶ市町村外	四、二九六	三、二一九	一、〇七七	不適 〇〇、二五
合計			四七	二九、九七〇	二一、〇五一	八、九一九	不適 〇〇、七一

宿營地關係地方井水消毒及澆灌實施成績表

(昭和九年十月十六日現在)

郡市別	町村名	澆灌實施個數	消毒實施個數	郡市別		澆灌實施個數	消毒實施個數	
				澆灌	消毒			
安蘇郡ノ内	佐野町	二、〇〇六	二、一〇〇	赤麻村	三〇〇	六〇〇		
	界野村	五〇〇	四五〇	岩舟村	三〇〇			
	植野村	一五〇	一、二〇〇	静和村	五〇	二〇〇		
	旗川村		一、二〇〇	富山村	二〇〇	三〇		
	田沼村		一、二〇〇	小代村	二〇〇	三〇		
	堀米町		八〇〇	水代村	二〇〇	三〇		
	大伏町		八〇〇	富山町	二〇〇	三〇		
	計	二、六五六	六、八五〇	同	一、三〇〇			
	栃木町	四〇〇	二〇〇	大谷村	七〇〇	一、三〇〇		
	大宮村	五〇	一〇〇	桑谷村	八六〇	同		
	瑞穂村	一五	一〇	穂積村	九四	同		
	中岡村			計	一、一九	六、八〇九	三、六四〇	
	三嶋村		六〇〇	合計	二、二六	九、四六五	一〇、四九〇	

第二款 飲食物検査

大演習地域ト認ムル前項各市町村ニ於ケル販賣用ノ飲食物ヲ検査シ、其ノ不適ノ物ハ、廢棄其ノ他衛生上無害ノ措置ヲ講ゼシメタリ。其ノ成績左ノ如シ。

大演習地域飲食物並飲食用器具検査成績表

検査品名	足利市			同市中			不適件			不適理由
	件数	割合	備考	件数	割合	備考	件数	割合	備考	
ラムネ	3	100		1	100		1	100	沈澱濁	
サイダー類	21	100		186	100		186	100	右	
果實蜜	11	100		3	100		45	100	同右	
陶磁器	7	100		7	100		9	100	鉛溶出	
菓子類	1	100		1	100		2	100		
罐詰塩詰	39	100		3	100		7	100	變敗	
醬油	13	100		44	100		1	100		
酢及酢ノ素	61	100		150	100		3	100	雜酸含有	
ソース	32	100		75	100		1	100	防腐劑サリチール酸含有	
清酒	149	100		418	100		19	100	防腐劑サリチール酸許容量超過含有	
ビール	249	100		62	100		29	100		
葡萄酒	35	100		36	100					
味淋	9	100		21	100					
直シ	48	100		48	100					
焼酒	26	100		87	100					
計	631	100		1,928	100		280	100		

第七節 豫防衛生

慢性傳染病豫防ノ爲、地方行幸地並大演習地域ノ各市町村ニ於ケル、飲食物營業者及接客業者ニ對スル結核、トラホームノ檢診ヲ八月迄ニ完了シ、發見セル患者ニ對シテハ、警察署ヲシテ取締ヲ嚴重ニ施行セリ。
又八月中、癩患者ノ取締方ヲ各警察署長ニ通牒シ、一面隣接府縣ニ照會シテ、地方行幸地並ニ大演習地域ニ癩患者ヲ旅行徘徊セシメサル様取締ヲ勵行セリ。

第八節 獸疫豫防

主トシテ地方行幸地並ニ野外統監附近ノ市町村ヲ目標トシ、其ノ部内ノ家畜傳染病豫防ノ爲、九月ヨリ十月迄ニ左ノ事業ヲ行ヒタリ。

1 狂犬病豫防注射

佐野町外附近ノ九ヶ町村二百六十一頭足利市外附近ノ十五ヶ町村八百三十頭計千九十一頭ノ犬ニ狂犬病豫防注射ス。

2 佐野町外附近七ヶ町村九百九十七頭足利市外附近十四ヶ町村二千五十七頭計三千五十四頭ノ馬ニ對シ炭疽豫防注射ヲ行フ。

3 野犬掃蕩

前記關係町村ニ於ケル野犬ノ掃蕩ヲ施行セリ。

第九節 救護

地方行幸地並ニ野外統監部附近ニ於テハ、行幸並ニ御統監當日タル大演習第一日ノ接戰地域ニ民衆ノ蟻集スル關係上、傷病者ノ發生ニ備ヘテ救護スルコト、セリ。其ノ計畫左ノ如シ。

尙他ニ軍馬ノ救護・軍馬落鐵蹄救護ノ爲、關係郡市獸醫師會並ニ蹄鐵工組合ヲ督勵シテ要所ニ救護所ヲ設ケ、相當ノ成績ヲ收メタリ。

臨時救護事務計畫

- 一、陸軍特別大演習ニ於テ設置スヘキ臨時救護所ハ之ヲ六班ニ分チ、第一班(本部)ヨリ第三班並御野立所附近栃木縣詰所及第六班ハ警察部關係員ヲ以テ組織シ、第四班第五班ハ安蘇郡醫師會員ニ囑託シ之ヲ組織ス。
- イ、第一班(本部)ハ佐野警察署ニ、第二班ハ足利郡富田村寺岡地内(元山大師入口附近)ニ、第三班ハ佐野商業學校々庭ニ、第四班ハ植野村秋田工場東ニ、第五班ハ界村馬門ニ、第六班ハ旗川村免鳥ニ設置ス。
- 別ニ日本赤十字栃木縣支部ニ於テ佐野町大橋町地内ニ、佐野町ニ於テ同町役場内ニ設置ス
附表第二號略圖ノ通り。
- ロ、救護班本部ハ十一月十日午前八時開始シ午後十時閉鎖シ、其他ノ各般ハ午後一時開始シ午後四時閉鎖ス。十一月十一日ハ各班共午
前四時開始シ午後二時之ヲ閉鎖ス。

ハ、配置人員ハ附表第一號ノ通り。

二、地方行幸ノ際ニ於テ設置スヘキ臨時救護所ハ之ヲ六班ニ分チ、第一班(本部)ヨリ第三班迄ハ警察部關係員ヲ以テ組織シ、第四班ヨリ第六班迄ハ足利郡市醫師會ニ囑託シ之ヲ設置ス。

イ、第一班(本部)ハ足利警察署ニ、第二班ハ渡良瀬川原ニ、第三班ハ渡良瀬橋入口ニ、第四班ハ兩毛線驛前ニ、第五班ハ足利市水道配水池入口ニ、第六班ハ足利市西側ニ之ヲ設置ス。第四號略圖ノ通り。

ロ、救護班本部ハ十一月十五日午後一時開始シ同十時閉鎖ス。十一月十六日ハ各班共午前八時ニ開始シ午後四時閉鎖ス。

ハ、配置人員ハ附表第三號ノ通り。

三、御親閱關係者ニ對スル臨時救護所ハ之ヲ三班ニ分チ、第一班ハ宇都宮市醫師會員ニ、第二班第三班ハ下都賀郡醫師會員ニ囑託シ之ヲ組織ス。

イ、第一班ハ十一月十八日午後四時ヨリ同六時迄宇都宮驛前ニ、第二班ハ十一月十七日午後八時ヨリ同十時迄同月十八日午後四時ヨリ同六時迄小山驛前ニ、第三班ハ十一月十六日午前八時ヨリ同九時三十分迄同月十七日午前八時ヨリ同四時迄栃木驛前ニ設置ス。

臨時救護所開設場所一覽

開設月日	開設時間	閉鎖時間	班別	開設場所	配置區分
十 大)	午前八時	午後十時	本部	佐野警察署	縣直營
	同	同	第一班	同所	
	午後一時	午後四時	第二班	足利郡富田村寺岡(元山大師入口)	
	同	同	第三班	佐野商業學校々庭	
	同	同	同	同	
	同	同	同	同	

縣ヨリ衛生課長以下各關係係員出張セリ。打合事項左ノ如シ。

指 示 事 項

- 一、傳染病豫防ニ關スル件
- 二、飲料水ノ改善ニ關スル件

注 意 事 項

- 一、患家ノ消毒方法
- 二、細菌検査材料送付方ノ件

- 三、家畜傳染病豫防ニ關スル件
- 四、特別衛生施設ニ關スル件

- 三、豫防注射成績報告方ノ件

第 二 款 衛 生 宣 傳

大演習地ノ宿屋料理店等營業者ノ衛生心得並ニ軍隊宿舍ノ衛生等遺策ナカラムル爲、別紙ノ如キ印刷物ヲ作製シ、警察署ヲシテ當事者ニ配布シ之カ遵守方ヲ督勵セリ。

陸軍特別大演習ニ際シ宿屋、料理屋、飲食店、其ノ他ノ飲食物營業者衛生上ノ心得

- 一、家屋ノ内外ヲ清掃シ、食物ノ殘渣其ノ他ノ廢棄物ハ覆蓋アル一定ノ容器ニ投棄スルコト。
- 二、飲食用器具ヲ拭淨スル布片ハ清潔ナル白布ヲ用ヒ時々煮沸消毒スルコト。
- 三、飲食物ニハ塵埃若クハ蠅等ノ附着セサル様完全ナル覆蓋ヲ爲スコト。
- 四、飲食用器具ハ珪瑯ノ剝離セルモノ又ハ銅製ニシテ鍍錫ナキモノ若クハ鍍錫ノ剝離シタルモノ等ヲ使用セサルコト。
- 五、腐敗シ易キ物、不熟ノ果物、炮煮ノ不充分ナル物、其ノ他中毒ノ虞アル寄物等。
- 六、色素、香料等ヲ使用スル場合ハ粗惡品ヲ用ヒサル様注意スルコト。

- 七、客ニ供スル飲食用器具ハ使用ノ都度清洗シ常ニ清潔ナルモノヲ用フルコト。
- 八、寢具、枕、被服類ハ清潔ナルモノヲ用ヒ、毎日日光消毒ヲ爲シ且敷布、襪掛ニ用フル白布、浴衣等ハ一客毎ニ洗濯シタルモノヲ用フルコト。
- 九、湯殿、井戸ノ周圍、流シ溜、排水溝等ハ特ニ掃除ヲ嚴重ニ行ヒ、清潔ヲ保持スルコト。
- 一〇、客室ニハ必ズ唾壺ヲ備ヘ壺中ニハ二十倍ノ石炭酸水ヲ容レ置クコト。
- 一一、便所ハ特ニ清潔ニシ殺蟲、防臭劑ヲ撒布スルコト。
- 一二、便所ノ手洗水ハ流水裝置ノ容器ヲ使用シ、常ニ清水ヲ充滿シテ置クコト。
- 一三、家族中ニ發熱、下痢等身體ニ異常ヲ呈シタル者アルトキハ速ニ醫師ノ診察ヲ受クルコト。

昭和九年十月

栃 木 縣 衛 生 課
警 察 署

軍隊宿舍衛生上ノ心得

- 一、家族ニ病人アルトキハ速ニ醫師ノ診察ヲ受ケ治療ニ努メ、若シ傳染病ノ疑アル場合ハ直ニ警察署又ハ市町村役場ニ申告スルコト。
- 二、飲食物ノ調理若ハ給仕ニ従事スル者ハ、身体及衣服ヲ不潔ナラサル様注意スルコト。
- 三、炊事場ハ常ニ清掃シ、調理セル食物ニ塵芥及蠅等ノ附着セサル様注意スルコト。
- 四、飲食用器具ハ珪瑯ノ剝離セルモノ、又ハ銅製ニシテ鍍錫ノ剝離セルモノ等ヲ使用セサルコト。
- 五、飲食用器具ハ使用ノ都度淨水ニテ洗滌シ、常ニ清潔ナルモノヲ使用スルコト。
- 六、辨當ヲ盛ルトキハ温氣ノ去リタル後ニ副食物ヲ容レルコト。
- 七、腐敗シ易キ物、不熟ノ果物、炮煮不充分ナル物、中毒ノ虞アル寄物類ハ一切提供セサルコト。

- 八、飲用井戸ハ清潔ヲ保持シ可成軍人ノ投宿ニ、三日前ニ「コロル」石灰水（晒粉）ニテ消毒スルコト。
- 九、軍隊ハ生水ヲ飲用セサルニ依リ煮沸水ヲ提供シ、尙出發ノ際携帯スヘキ煮沸水ヲ一人ニツキ三合以上ツツ準備スルコト。
- 一〇、傳染病疾患アルモノヲシテ飲食物ノ調理並給仕其ノ他ノ取扱ヲ爲サシメサルコト。
- 一一、家屋ノ内外（特に下水、溝渠、塵芥溜等）ハ清潔ニ掃除シ、屋内ノ採光、換氣ヲ充分ナラシムルコト。
- 一二、便池、汚水溜等ハ軍人ノ投宿四、五日前ニ成ルヘク之ヲ汲取り、便池ニ石灰末（若ハ木灰ヲ多量ニ）ヲ撒布スルコト。
- 一三、便所ノ手洗水ハ成ルヘク流水装置ト爲シ、然ラサルモノハ淨水ヲ毎日取替フルコト。
- 一四、塵具類、敷物等ハ清潔ナルモノヲ用ヒ、且投宿ニ、三日前ニ之ヲ日光ニ乾燥スルコト。
- 一五、雨天ノ場合ハ軍人着泊ノ際、被服類ヲ乾燥シ得ル機準備シ置クコト。

昭和九年十月

栃木縣警察部衛生課

第三款 衛生組合ノ活動

地方行幸並ニ御統監期日ノ切迫ニ伴ヒ、特殊ノ衛生施設増加シ、一面各受持巡查ハ殆ド不在トナレルヲ以テ、特に重要ナル地域内衛生事務ノ措置ニ協力セシムル爲、足利市及附近二ヶ村、佐野町外附近七ヶ町村ノ衛生組合ニ通牒シ、防疫、保健其ノ他ノ衛生事務ヲ執掌セシメテ警察官ノ手不足ヲ補ハシメ、遺漏ナカラシムル様手配セリ。各組合ニ於テハ夫々役員ノ出動ヲ促シテ相當ノ活動ヲナセリ。

第五編 餘 録

聖蹟保存及行幸記念事業

今次ノ陸軍特別大演習ニ際シ、皇軍ノ精銳五萬ノ貔貅ヲ御統監遊バサレタル足利郡富田村ノ岡崎山御野立所跡ニ行幸記念碑ヲ建立シ、將來記念公園トシテ開放スルコトニ決定シタルヲ初メ、臨幸ノ光榮ニ浴セシ足利市水道配水池及縣立足利工業學校ニアリテモ夫々關係當局ニ於テ聖蹟ヲ永久ニ保存シ、且光榮ノ日ヲ記念シ奉ルノ施設ニ努メツ、アリ。

一、足利市ノ施設

一、行幸地及關係建物等ノ保存施設

御臨幸地タル水道配水池ノ地域並御座所、御晝餐室ニ充テ參ラセタル水道配水池事務所建物ハ可成之ヲ當時ノ原型ノ儘保存シ此ノ光榮ヲ永久ニ記念シ奉ルコト、セリ。尙御座所ニ充テ參ラセタル貴賓室ハ今次行幸ニ付新ニ増築セルモノトス。

二、行幸記念事業

(イ) 行幸記念碑建設

行幸記念碑ハ畏クモ行幸ノ御砌リ親シク市勢ヲ御展望アラセラレタル地點ニ之ヲ建設、昭和十年十一月十六日ノ記念日ヲ期シテ除幕式ヲ舉行シ、不滅ノ榮光ヲ後世ニ貽シ市民瞻仰ノ標識タラシム。

記念碑ハ配水池北側ノ芝生上ニ於ケル第一御展望地點及同南側突端ノ第二御展望地點ノ二個所ニ建立セルモノニシテ、碑文ハ足利郡御厨町出身ノ前宮内次官貴族院議員關屋貞三郎、上都賀郡南摩村出身ノ前侍從武官長陸軍大將男爵奈良武次

ノ揮毫ニ係ル。

(ロ) 國旗掲揚塔建設

水道配水池接合井ノ西方ニ國旗掲揚塔ヲ建設シ昭和十年十一月十六日最初ノ國旗掲揚式ヲ舉行、今後ノ祝祭日並毎年十一月十六日ノ行幸記念祝日等ニハ國旗ヲ掲揚シ國體觀念ノ振作ニ資シ此ノ光榮ヲ永久ニ記念シ奉ラムトスルモノナリ。

(ハ) 記念植樹

記念植樹ハ水道配水池内ノ御座所ニ充テサセラレタル貴賓室ノ北方ニ適地ヲ選定シテ昭和十年十一月十六日久保市長ニ依リ「樺」ヲ植樹シタリ。皇室ノ彌榮ト共ニ之ノ記念樹ノ繁茂ガ至榮ヲ永遠ニ象徴スルニ至ルベシ。

(ニ) 市歌制定並市旗樹立

行幸ヲ記念シ奉ル施設ノ一トシテ新ニ市歌制定並市旗樹立ヲナシ昭和十年十一月十六日此ノ爲ノ式ヲ舉行セリ。

(ホ) 行幸記念祝日制定

今後毎年十一月十六日ヲ同市ニ於ケル行幸記念祝日ト定メ、水道配水池ニ於テ行幸記念式ノ舉行其ノ他適當ナル行事ヲ實施シテ聖恩感戴ノ念ヲ新ナラシメ、光榮ヲ永久ニ記念シ奉リテ益々忠誠奉公ノ念ヲ振作養成スルニ努メムトスルモノナリ。昭和十年十一月十六日其ノ第一回ヲ實施セリ。

(ヘ) 恩賜基金設置

昭和九年十一月十七日拜受セル御下賜金ハ、市會ノ議決ニ依リ之ヲ恩賜基金トシテ積立増殖ヲ圖リ、基金ヨリ生スル收入ハ之ヲ各種功勞者並篤行者等ノ頌賞及産業教育其ノ他社會各方面ノ公益事業獎勵ノ費途ニ充ツルコト、セリ。

二、縣立足利工業學校ノ施設

一、御座所ノ保存施設

御座所並當日御用ヲ仰ギシ御椅子・花臺・花籠・衝立ハ當時ノマ、永久保存トシ、猶當日謹寫セル御寫眞五點、献上品受書一、天覽ヲ賜ハリタル同校織物標本八點、實習製作品十九點、生徒成績品七點ヲ同室ニ陳列保存ス。

二、行幸記念事業

一、御座所御椅子

御座所ヲ賜ハリタル名譽ヲ記念スル爲御座所用御椅子ヲ昭和九年十一月東京白木屋ニ依頼新調シ當日御用ヲ仰ギ永久保存トス。

二、御臨幸紀念碑

前庭中庭ヲ改築シ中央ニ御臨幸紀念碑ヲ建テ永久記念トナス。紀念碑ハ一尺七寸角高サ九尺ノ本小松石トシ揮毫ヲ侍從武官長本庄繁ニ依頼ス。文字ハ正面「臨幸紀念」側面「陸軍大將本庄繁謹書」裏面「昭和九年十一月十六日」ニシテ、昭和十年十月十三日竣工除幕式ヲ行フ。

三、鐵骨國旗掲揚裝置

生徒ヲシテ國家觀念ヲ一層強調セシムル爲、御臨幸紀念碑ノ後方ニ鋼鐵管ヲ以テ高サ約十二間ノ永久的國旗掲揚裝置ヲ施設ス。右ハ同校機械科ニテ製作シ御臨幸當日掲揚ヲ開始セリ。

四、校旗新調

從來ノ校旗ハ約二十ヶ年ヲ閱シ生地甚ダ脆弱ニナリシヲ以テ、記念ノタメ昭和九年十一月東京高島屋ニ依頼新調シ、御臨幸並御親閱ヲ奉迎シ意義アラシメタリ。

五、御臨幸フィルム

當時ノ狀況ヲ年々ノ生徒ニ拜觀セシメ、同校ノ名譽觀念ヲ強調セシムルタメ本校御臨幸フィルムヲ製作ス。
右ハ宇都宮市松屋映畫部ニ依頼シ、昭和十年六月栃木縣廳保管ノモノヲ複寫完了ス。

昭和十一年三月二十八日印刷
昭和十一年三月三十一日發行

栃 木 縣

宇都宮市旭町二丁目三、四三三
株式會社 三共社印刷所代表者

印刷者 秋 山 錦 次 郎



